

ITU-R SG5関連会合報告書

資料番号	題 名
資料地8-2-1	ITU-R SG5 WP5A 第3回会合報告書(案)
資料地8-2-2	ITU-R SG5 WP5B 第3回会合報告書(案)
資料地8-2-3	ITU-R SG5 WP5C 第3回会合報告書(案)
資料地8-2-4	ITU-R SG5 第3回会合報告書(案)

第3回 Working Party 5A会合 報告書 (案)

1 WP5A

WP5AはIMTを除く陸上移動業務、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。なお、今回より前回会合時のWP5Cとの合意に基づき一部のFWAについても所掌内となり寄与文書に基づき審議が開始された。

1.1 会議の概要

第3回WP5A会合は、2009年5月18日から5月27日までの8日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には33カ国、52団体から約144名が参加し、日本からは別紙のとおり14名が出席した。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、Working Partyのもとに5 Working Groupを設置し、136件の寄与文書(日本からの寄与文書9件)について審議が行われた。また、FWAに関し5A・5Cアドホック合同会合が開催された。

表1 WP5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP5A		Jose Costa (カナダ)
WG-1	Amateur services	Paul Rinaldo ¹ (米国)
WG-2	Wireless Access System	Lang Baozhen (中国)
WG-3	Public protection and trunking	Amy Sanders (米国)
WG-4	Interference and sharing	Bruno Espinosa (フランス)
WG-5	New technology and systems	吉野 仁 (日本)
SWG-1	SDR & CRS	吉野 仁 (日本)
SWG-2	ITS	小山 敏 (日本)
SWG-3	Sensor actuator network system	吉野 仁 (日本)

¹次回よりDr. Ken Pulfer (Canada)

2 審議の内容

2.1 WG1 (アマチュア及びアマチュア衛星業務)

入力文書 : 5A/178 (WP5B), 5A/180 (WP5B), 5A/183 (WP5B), 5A/205 (WP1A),
5A/220 (IARU), 5A/236 (CAN), 5A/237 (CAN), 5A/244 (CHN), 5A/248 (CAN)
5A/261 (USA), 5A/285 (D), 5A/293 (WP6A), 5A/294 (WP6A), 5A/295 (WP6A)

出力文書 : 5A/TEMP/87, 5A/TEMP/94, 5A/TEMP/95, 5A/TEMP/108 Rev. 1, 5A/TEMP/115,
5A/TEMP/116, 5A/TEMP/117, 5A/TEMP/123

出席者 Paul Rinaldo (議長, USA)、James K. Pulfer、Bryan Rawlings (CAN)、Yin Hu、Yu Gan (CHN)、Ulrich Mueller (D)、Pekka Lansman (FIN)、Jinane Karam (LBN)、Anna Sadilova (RUS)、Brennan Price、Alexander Roytblat (USA)、Larry Price、James K. Pulfer (IARU)、西室、岡(日本)などの約計15名であった。

WG1では、Paul Rinaldo (米)が議長を担当し、入力文書17件の審議を行い8件の出力文書を作成した。今回の会合では、WRC-11議題のうちWP5Aが主担当となっている議題1.23に関する検討のうちCPMテキスト素案への作業文書の充実化、新暫定報告書案への作業文書の作成、関連グループとなっている議題1.15 (短波海洋レーダー)に関する検討、モールス符号に関するITU-R勧告M.1677の改訂作業などを行った。

2.1.1 WRC-11議題1.23に関する検討

入力文書 : 5A/180 (WP5B), 5A/236 (CAN), 5A/237 (CAN), 5A/244 (CHN), 5A/248 (CAN),
5A/285 (D), 5A/295 (WP6A)

出力文書 : 5A/TEMP/87, 5A/TEMP/108 Rev. 1, 5A/TEMP/116, 5A/TEMP/117

- ・ WP5B からのリエゾン文書(5A/180)に対して、既存及び将来予想されるシステムについての特性など、更なる詳細情報の提供を WP5B に求めるリエゾン文書案(5A/236)がカナダより提案され、特段の議論もなく承認された。(5A/TEMP/87)
- ・ ドイツからのヨーロッパ地域一部における NDB に関する情報について(5A/285)、WB5B で検討されていないこと、及び WP5B の一般的な見解を求めるリエゾン文書(5A/TEMP/108Rev. 1)を送付することが承認された。
- ・ カナダからの CPM テキスト案への作業文書(5A/237)は、WP6A からの修正提案と共に審議され、作業文書の充実が行われた。この文書は、プレナリで 5A/TEMP/117 として承認され、議長報告に添付し(5A/305/Annex 4)、次回会合へキャリーフォワードされた。
- ・ カナダからの 500 kHz 帯に関する暫定新報告書案に向けた作業文書(5A/248)につい

ては、City lot の語を分かり易くするため Limited Space Assumption に修正した。また、AMTOR や PACTOR 2/3 システムについての説明の必要性について多少議論があったが、次回会合までに検討しておくよう要請され、議長報告に添付し (5A/305/Annex 5)、次回会合へキャリーフォワードされた。

- ・ なお、中国からの当該周波数帯をモニターした結果の情報については、現在も引き続き継続してモニター中であることから、結論ではなく議長報告の一部に記されることとされた。

2.1.2 WRC-11議題1.15に関する検討

入力文書：5A/178 (WP5B), 5A/183 (WP5B), 5A/293 (WP6A), 5A/294 (WP6A)

出力文書：なし

- ・ 全ての入力文書は take note されたのみであった。

2.1.3 モールス符号に関するITU-R勧告M.1677改訂の検討

入力文書：5A/261 (USA)

出力文書：5A/TEMP/95

- ・ 現行のモールス符号に関する ITU-R 勧告 M. 1677 は、今では使われていない古い形式のメッセージ・フォーマットが含まれており、これらを削除する提案が米国よりされた。これを元に改版のサマリーを追加し、若干のエディトリアルな修正を加え SG5 に提出することが承認された。

2.1.4 アマチュア無線の国際運用に関する検討

入力文書：5A/220 (IARU)

出力文書：5A/TEMP/94, 5A/TEMP/115

- ・ IARU から提案された「他国におけるアマチュア局の臨時運用に関する暫定新研究課題案」は、災害援助活動に関連し Res. 644/646/647/53/55 等の議論もあるというシリアのプレナリでの指摘により、本 PDNQ (5A/TEMP/94) は議長報告に添付し (5A/305/Annex 6)、次回会合へキャリーフォワードすることとされた。
- ・ 上記により、ITU-D SG2 からの情報を求めるリエゾン文書 (5A/TEMP/115) が作成され、5A/305/Annex 6 を添付し送付することが承認された。

2.1.5 PLCに関する検討

入力文書：5A/205 (WP1A)

出力文書：なし

- ・ 入力文書は take note されたのみであった。なお、本件について意見のある主管庁は、WP1Aに奇書を提出するよう WG1 議長より要請された。

2.1.6 その他

1990年よりWG1の議長を務めてきたPaul Rinaldo (米)が今回会合をもって辞任し、次回会合より Ken Pulfer (加)が WG1 議長を務めることになった。なお、Rinaldo氏には感謝の辞と ITU の時計が贈られた。

2.2 WG2 (無線LANを含むワイヤレスアクセス)

- (1) 議長：. Lang Baozhen (中国)
(2) 主要メンバー：Jose Costa (カナダ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Amy Sanders (USA)、Jim Ragsdale (エリクソン)、Bruno Espinosa (フランス)、西室、上村、山崎、小川、他など約30名

(3) 入力文書

BWA M. 1801	188R1 (IEEE); 213 (IEEE); 227 (ATIS); 229 (TIA TR-45.5); 231 (ETSI); 250 (XPG Forum); 255 (TTA); 256 (3GPP TSG RAN)
Handbook Vol. 5 (BWA)	251 (WiMAX Forum); 284 (E-Plus); 288 (Editor)
Q. 101/5 (QoS)	184 (ITU-T SG15), 193 (ITU-T SG16); 215 (ITU-T SG12); 219 (BR); 239 (Canada)
RLANs M. 1450& F. 1244	211 (IEEE); 274 (Japan)
ANTS	184, 185, 186, 299, 300 (ITU-T SG15); 195 (WP5D)
Q. 215/5 (FWA)	275, 276 (Japan)
Update of Recs. / Other	216 (BR); 228 (WP4B)
Contact person for multimedia	5/127
Review document of WP5A	252

(4) 出力文書

(4-1) Plenaryでの承認を必要とする出力文書

- a) 勧告改定案M. 1450-3のARIB, ETSIへのリエゾン文 5A/TEMP/100r1

- | | | |
|-------|-------------------------|-------------|
| b) | SG12, 15, 16へのリエゾン文書 | 5A/TEMP/102 |
| c) | SG15へのANTSに関するリエゾン文書 | 5A/TEMP/118 |
| (4-2) | WP5A議長報告添付文書 | |
| a) | 勧告M. 1801の暫定改定草案 | 5A/TEMP/101 |
| b) | 新勧告草案M. [WAS. QoS]の作業文書 | 5A/TEMP/103 |
| (4-3) | SG5での採択を必要とする文書 | |
| a) | 勧告のアップデート | 5A/TEMP/99 |
| b) | 勧告F. 1244の削除 | 5A/274 |

(5) 審議概要

WG2は、無線LAN(RLAN: Radio Local Area Network)を含むBWA(Broadband Wireless Access)高速ワイヤレスアクセスシステムについて審議するWGである。本WGは今会合中5回開催され、30件の入力文書を審議し、5件の出力文書を作成した。ただし、日本からの入力文書は直接SG5へ送付されることになっているので、上記(4-3)のSG5での採択案件としてあげているが、出力文書には含まれていない。

WG2では、下記の3つのドラフティンググループ(DG)を設置し、BWAに関する勧告M.1801の改訂のための暫定改訂草案の作成、ワイヤレスアクセスのQoSに対する要求に関する勧告の作業文書の作成、LMHのアップデートなどを行った。

- ①DG5A2-1 (議長: Ms. Gabrielle Owen) 勧告M. 1801の改定
- ②DG5A2-2 (議長: Mr. Jose Costa) 勧告M. [WAS. QoS]作業文書とリエゾン文書
- ③DG5A2-3 (議長: Ms. Gabrielle Owen) LMHのアップデート

2.2.1 BWAに関する勧告M.1801の改訂の検討

入力文書: 5A/188R1 (IEEE)、5A/213 (IEEE)、5A/227 (ATIS)、5A/229 (TIA TR-45.5)、
5A/231 (ETSI)、5A/250 (XPG Forum)、5A/255 (TTA)、5A/256 (3GPP TSG RAN)

出力文書: 5A/TEMP/101

前回の会合では、本会合でファイナライズするとの予定であったが、5A-2議長はキャリアフォワードを主張したこと、さらに韓国からのWP5DでのM. 1457の改訂に従ってM. 1801の改訂も必要という提案が行われ、次回に寄与文書を出す意向であること、また、エリクソンからは、CDMA MCの追加は3GPP2でもWP5Dでもまだ承認されておらず、盛り込むことについて懸念が示されたこと、ドラフティンググループの議論でもブラケットが挿入されたために、最終的にはキャリアフォワードされることになった。日本からはPHS MoUからXGPへの名称変更をM. 1801の改訂に反映させる提案を行い、反映することができた。

ドラフティンググループでは、Annex1の文書に関してエリクソンから標準化されてい

ない事項については本文のRecommendsに整合できていないとの理由で削除すべきとの意見がでたために、一部ブラケットつきになった。ただし、標準として承認された後にはその文章はアップデートされるとの議長コメントがテンタティブに文中に記載された。また、これに関連して表6の一部もブラケットつきになった。なお、この議論の決定事項としてコメントが「Decision: When draft M.1801 is considered by SG5 for adoption, the standards in the draft M.1801 should have already been approved by the SDOs」がDG議長ノートされた。5A議長からは、M.1801をWP5Dに送付する時期はM.1450と同時期ないしは早いほうが好ましいとのコメントが出されている。

2.2.2 M.1450-3の改定に関する検討

入力文書：5A/211 (IEEE)

出力文書：5A/TEMP/100r1

IEEE から M.1450-3 に新たに IEEE P802.11n の特性を表 2 に追加してアップデートした文書の提案があった。この表には ETSI BRAN HYPERLAN2 と ARIB HISWANa も含まれているため、ETSI, ARIB にリエゾン文書を送付し次回会合までに最新情報の提供を求めることにした。M.1450-3 の改定案については次々回の会合で承認を得る予定。IEEE がリエゾン文書のドラフトを担当し、最終プレナリーで承認された。

2.2.3 F.1244の削除

入力文書：5A/274 (日本)

日本から勧告 F.1244 ”Radio Local Area Networks (RLANs)” の削除提案があり、プレナリーで承認にされ、5A 議長レポートで SG5 に報告される予定。

2.2.4 5 F-series and 1 M-series勧告のアップデート

入力文書：5A/216 (BR), 5A/275 (日本)、5A/276 (日本)

出力文書：5A/TEMP/99r1

日本から、勧告 F.1401-1、勧告 F.1488、勧告 F.1489 のスコープの追加、勧告 F.757-3 のスコープ追加および considering と recognizing のテキストの一部改定、勧告 F.1567 のスコープ追加および considering と recognizing のテキストの一部改定、提案を行った。また WP5A 議長から BR 要請 (5A/216) に従い勧告 M.1074 の一部改定提案が出された。これらはいずれも正規の改版手続きを要しない Editorial 修正としての提案である。審議の結果、勧告 F.1401-1、勧告 F.1489、勧告 M.1074 の件については「更に検討時間が必要」とのシリアの意見によりキャリアフォーワード、勧告 F.1488、F.1567 は SG5 への送付が決定された。勧告 F.757-3 については一度 SG5 への送付が決定されたが、WP5A 議長が「テキスト全体の更新が必要と思われる」と提案したためキャリアフォーワードになった。なお、勧告 F.1567 は、WP5A/5C の共同責任となっている勧告の一つである

が、今回の修正提案については 5A-5C の合同会合で 5A において審議することが決定された勧告である。

2.2.5 Q.101/5 (QoS)に関する勧告に向けた作業文書

入力文書：5A/184 (ITU-T SG15), 5A/193 (ITU-T SG16), 5A/215 (ITU-T SG12),
5A/219 (BR), 5A/239 (Canada)

出力文書：5A/TEMP/102, 5A/TEMP/103

ITU-T SG12、SG15、SG16 の各 SG より前回情報提供した暫定勧告草案に向けた作業文書 ITU-R M. [WAS. QOS] に対するリエゾン文書が送付されてきており、この内容を盛り込んだ改定案を再度リエゾン文書に添付して送付することになった。リエゾン文書案に関しては 5A-2 議長がドラフティングを担当し、勧告 ITU-R M. [WAS. QOS] の改定については 5A 議長による DG でドラフティング作業を行うことになった。

ドラフティンググループではカナダからの寄与文書 239 をベースに審議を進め、目次の見直し、参考文献として ITU-T Y-seires 勧告の追加、ITU-R 勧告 F. 1400, F. 1490, M. 1079 の追加、さらには今回の ITU-T からのリエゾン文書で示された図面の紹介等を行った原案を勧告 ITU-R M. [WAS. QOS] に向けた作業文書の改定版とし、リエゾン文書に添付されて送付された。

2.2.6 ANTS (Access Network Transport Standards) に関するリエゾン文書

入力文書：5A/184, 5A/185, 5A/186, 5A/299, 5A/300 (ITU-T SG15), 5A/195 (WP5D)

出力文書：5A/TEMP/118

ITU-T SG15 から 5 件、WP5D から 1 件のリエゾン文書が入力され、5A 議長がリエゾン文書のドラフティングを担当することになったが、エリクソンよりどの分野に関しては回答するのかとの質問に対して、5A はワイヤレスアクセスの担当であるためこの分野に関するリエゾンバックになるとの議論があった。また、オランダからすでに本内容 (5A/185) に関して ITU-T の SG 議長の 1 人にすでにコンタクトしているとの情報提供もあった。今回の最新の情報を各 SG に提供するため、勧告 ITU-RM. 1801 の改定案、勧告 M. 1450 の改定案、勧告 ITU-R M. [WAS. QOS] の作業文書等の情報をリエゾン文書に記載した。なお、WP5D にはこのコピーが情報とし送付される予定である。

2.2.7 Land Mobile Handbook (LMH)の改定

入力文書：5A/251 (WiMAX Forum), 5A/284 (E-Plus), 5A/288 (Editor)

「オーバービュー」パートを「メインボディ」とし、「メインボディ」と「アネックス」の位置づけを明確化し、レビューを行った。「メインボディ」中の全ての部分に対して、テクノロジーニュートラルにてより一般化しての記載とすることを確認し、「3G」, 「WiMAX」, 「CDMA2000」などの記載は「Mobile Broadband」といった一般名称に改め、

必要の無い固有システム名称は削除するなどした。また、エディター（今回は WP5A 議長）より現時点では全ての記述はオープンステータスで承認されたものではないので、後日修正可能との確認コメントが行われた。更に直近の情報として時期を書き込んだテキストはリリース時に情報が古くなるのでそぐわないとのコメントもなされた。また、今回、決めきれない部分はスクエアブラケットを残して、引き続きコレスポネンスグループで作業を続けることとした。アネックスでは、いくつかのエディトリアル修正、勧告の追加（M. 1801, M. 2126, M. 2039）、削除（M. 1457）等が行われた。

Draft Message for LMH Rapporteur Group Reflector の審議が行われ、外部機関に出すための Editorial な変更および Invitation に関する記述、期限（At the WP5A meeting of WP5A at the latest）などの追加が行われた。さらに、カナダからの文書「4.6 Guidance on Regulatory Issues_CAN.doc」に対する DG での議論の結果をコレスポネンスグループで継続議論してもらうべく、項目の抽出と整理を行った。

2.2.8 勧告の見直し及びその他

BR からの入力文書 (5A/216) により、勧告 M. 1074, M. 1652 についてはアップデートの要請が確認された (M. 1074 については 2.2.4 参照。RR で引用参照されている M. 1652 については今会合で no action)。

WP4B からのリエゾン文書による “Integrated MSS System” および “Hybrid Satellite/Terrestrial System” に関する定義の照会は WP5D にも周知されるのが有効とのコメントがあり、個別にこのような LS が発出されていることを WP5D にも知らせることとなった

ITU-T SG16からのマルチメディア規格の調整・統一化のためのコンタクトパーソンとしてWP5Aからは議長のCosta氏を推薦することになった。

2.3 WG3（公共保安、トランキング）

WG3では、「公共保安及び災害救援（PPDR）のための調和の取れた周波数チャネル計画」に関する検討を扱い、Res. 644/646/647、Q. 37-5、Q. 204-5、Res ITU-R 53/55について検討を行い、入力文書5件の審議、技術検討などを行った。

出席者は、IBARRA Dante, SANDERS Amy、BAUM Kimberly (米)、JAMIESON Alan (ニュージーランド)、AVEROCHKINA Yulia (露)、GORIA Paolo (伊)、WHARRAM Jennifer、NDI Michel Olivier (加)、COSTA Jose M (加 Notel)、ESINOSA Bruno (仏)、LANGTRY Colin (BR)、K. Michael (独)、RUSH Charls (米 Qualcomm)、RAGSDALE Jim (スウェーデン)、HASSAN Saad (アラブ)、MCDONALD Bill (豪)、WiMax Forum、西室、山崎、小山、上村、酒井原 (日) など、WG3議長を含めて合計30名強であった。

入力文書 : 233 (Russian Federation), 265 (USA),
5A/214 (IEEE), 5A/226 (ATIS), 5A/245 (China)
5A/224-E (ITU-T SG2), 5A/235-E (ITU-D SG2)
Doc. 5A/45 Annexes 7 and 8 (WP5A議長報告)

出力文書 : 5A/TEMP/96, 5A/TEMP/97, 5A/TEMP/98, 5A/TEMP/121,
5A/TEMP/124 (WG3議長報告)

参考文書 : India-5A_draft_version.doc (印) (具体紹介無)

他、オープニングプレナリーで紹介された文書を幾つかWG3内で紹介

「公共保安及び災害救援 (PPDR) のための調和の取れた周波数チャンネル計画」に関するして、勧告とテクニカルレポート及びリエゾンバックの作成、Amy Sanders (米) が担当し、審議を行った。

チャンネル案としては、①タイトルの変更 (米国、インド)、②Region2のチャンネル案の追加 (米国) ③recognizingの変更 (ロシア) ④recommendの変更 (ロシア、インド) について議論された。

タイトルの変更に関しては、インド案にオーストラリアが修正した案で確定。チャンネル案の追加に関しては、エディトリアルな修正で確定。Recommendの修正はもっともシンプルなひとつに確定した。

Recognizingに関しては、ロシアがGE-06 (2006年ジュネーブ合意による、モンゴルを除くRegion1における移動体向け放送サービス周波数活用 (174-230 MHz and 470-862 MHz)) とPPDRの干渉などの検討が不足しており、検討が必要である旨の記載を強硬に主張した。WG3内ではGE-06に関する事実の記載のみを承認し、検討の必要性のなどについては削除し、議長レポートにロシアの懸念を記載し、勧告案は議長報告に添付されて (TEMP/121) キャリーフォワードされることで合意されたことで終了した。

しかし、ロシアがクロージングプレナリーで121のrecommends を [] とし、次回審議とすることを提案し、反対なく承認された。

テクニカルレポートに関しては、議長が入力文書を元にマージ案を作り、その文書を議論することで進められた。大きな議論は無く、WORKING DOCUMENTのまま議長報告に添付されて (TEMP/96) キャリーフォワードされることで合意された。

外部機関からのリエゾン2通に関しては、5A/TEMP/97 (ITU-T SG2)、5A/TEMP/98 (ITU-D SG2) のリエゾンバックを作成し、中間プレナリーにて承認されて、出力されることとなった。

WP5AのオープニングプレナリーにてPPDRとWG1活動の連携をシリアが指摘したが特にアクションはなかった。クロージングプレナリーにて、PPDR Rapporteur であり、WG1の議長を兼任するPaul L. Rinaldoが退任となった。担当していたPPDR ラポータはWG3の議長との兼任と決まった。

また、各RegionのRapporteur ReportにてPPDR関連の活動の一部が報告され、

また、WG4においてもPPDR関連の周波数に関する議論が始まっている旨の連絡がWG4担当よりアナウンスがあった。

2.3.1 新勧告案「公共保安及び災害救援（PPDR）のための調和の取れた周波数チャンネル計画」の審議

入力文書： 233 (Russian Federation), 265 (USA),

Doc. 5A/45 Annexes 7 and 8 (WP5A議長報告)

出力文書： 5A/TEMP/121, 5A/TEMP/124 (WG3議長報告)

参考文書： India-5A_draft_version.doc (印) (具体紹介無)

- ・ 審議米国 (S. Amy) を議長として継続的に進められた。
- ・ 入力文書である、ロシア (5A/233)、米国 (5A/265) からの寄書をベースとして、議長がマージ案を作り審議を行った。
- ・ 米国の提案はRegion2における、タイトルにあるRegionと周波数の列記をbelow 1GHzにするなどの、エディトリアルな修正とナローバンド規格チャンネル案の追記。ロシアからの提案は、GE-06 (2006年ジュネーブ合意による、モンゴルを除くRegion1における移動体向け放送サービス周波数活用 (174-230 MHz and 470-862 MHz)) と連携するrecognizing f, g, hの追加とrecommendsの1の修正。
- ・ 米国の変更に関しては、特に課題なく承認された。ただし、widebandに関する文言の定義については、今回の提案とことなる説明がITU-Rにあることをフットノートに残すこととした。
- ・ タイトルに関しては、インドが周波数の列記などをせず全体にすべきと提案したが、すでに4.9GHzの勧告があるので全体を包括するタイトルは承認できないとし議長が反対、オーストラリアの提案によりin UHF Bandとすることとした。
- ・ recommend1に関しては、GE-06との検証他、種々の提案があったが、今回の勧告案の目的がチャンネル案であるので記述を明確にシンプルにすべきとのNZLの提案があり、これにて合意され、ひとつのrecommendとなった。
- ・ 途中recognizing aについて、インドからRes646の記載の追記と旧aのbとしての修正する提案があり、冗長であるという意見が、オーストラリア・ニュージーランドからあったが、承認された。これにより以降の番号がひとつ増えることとなった。(4.9GHzの勧告では直接関係しない周波数の記載は無い)
- ・ recognizing fに関してはGE-06に関する記載であり、GE-06への参加者がいないため、記載・周波数の範囲などについて確認が滞ったが、記載についてはGE-06と同一にエディトリアルな修正をされて (BRがドキュメントを所有) 承認された。前述のaの追加によりこれはgとなった。
- ・ recognizing hに関しては、上記干渉などの懸念を今後studyすべきというもの

だったが、studyの追加はここで議論すべき内容ではなく、新しいQuestionとすべき内容であるとのNZLの提案により、削除された。

- ・ recognizing gに関しては、GE-06に関する特に800MHz帯域での周波数とPPDRの周波数が干渉する可能性があり検討が必要であるとするものだった。ロシアは記載を強要し、米国がRegionを明確に（Region2は干渉しないのでRegion3）、Region3の国はそもそも記載を望まなかったがロシアが強行に要望を続けた。
- ・ WG3議長判断により、記載を要望しているのはロシア一国であるとして、削除しロシアの懸念を議長報告に記載することを提案し、日本とオーストラリアがこれに賛同。結論としてrecognizing g（新h1/h2）は削除され、ロシアの懸念を議長報告に記載し添付されて（TEMP/121）キャリアフォワードされることでWG3では合意された。
- ・ インドから会期中に提出された、改定案に関しては、内容がAPTの合意と異なること、入力がルール外であること、既にAPTからの入力がAPT内で採択中であり、審議する必要なしとして、オーストリア、日本などの反対によって、議論自体が見送りとなった。（インドがオフラインで、米国、NZLなどの別個に調整作業をしたが、これも懸念のひとつではあった）
- ・ クローキングプレナリーで、これに更にロシアの発言があり、TEMP121の recommends を[]として次回議論すべきと発言し、この内容にて完了となった。

2.3. 新レポート案「公共保安及び災害救援（PPDR）のための746-806 MHz帯における技術規格候補」の審議

入力文書： 5A/214 (IEEE), 5A/226 (ATIS), 5A/245 (China)
5A/168 Annexes 7 and 8 (WP5A議長報告)

出力文書： 5A/TEMP/96, 5A/TEMP/124 (WG3議長報告)

- ・ 前回の会合で、外部SDOに対して、本周波数及び用途にあった技術規格の提出を求めるリエゾンを送っており、これに回答した形の三つの入力を審議。
（5A/214 (IEEE)からはエディトリアルな修正, 5A/226 (ATIS)からは Technology “D” としてのTDMA-SCの追加, 5A/245 (China)からは同じく Technology “D” としてCDMA TDDの追加)
- ・ 議長がマージ案を作って審議を行ったが特に、コメントもなく承認された。
- ・ ドキュメントとしてはWorking Documentとして議長レポートに添付してキャリアフォワードするが、議長から次回で完了を目標としたい旨の発言があった。
- ・ ロシアの申し入れで、上記Working Documentの文言は残すこととなったが、5A議長はそのタイトルでも次回の完了の制約にならないとした。

- ・ また、チャンネル案がFDDのシステムに対して、前回・今回とTDDシステムの規格が掲載されることとなったが、特に異論は発生しなかった。

2.3.3 PPDRに関連する外部機関に対するリエゾンバック

入力文書：5A/224-E (ITU-T SG2), 5A/235-E (ITU-D SG2)

出力文書：5A/TEMP/97 (ITU-T SG2)、5A/TEMP/98 (ITU-D SG2)

- ・ 5A/224-E はITU-T SG2からのリエゾンであり、出力5A/TEMP/97はリエゾンバック。議長案で特に課題無く承認された。
- ・ 5A/235-E はITU-D SG2からのリエゾンであり、出力5A/TEMP/98はリエゾンバック。議長自信が素案を作り、WGのミーティングにて議論された。PPDRと関連する単語に記述に関して、いくつかのエディトリアルな修正の上、承認された。
- ・

2.3.4 WG3の活動範囲に関する審議

入力文書：5A/252-E (WP5A Chairman' s Report Annex-1)、
ROA060000010001MSWE (Guide).doc

プレナリーにて、作業担当の確認を依頼された事項等に関する議論。特段の議論無く、議長の提案通りに了承された。

- ・ ANNEX1 to 5A/168 (Chairman' s Report)
勧告「Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations F.1105-2」の担当をWG3へ変更する。(日本が作成したデジタル同報無線の勧告)
- ・ ガイドブック、Guide to the use of ITU-R texts related to the land mobile service (Chap. 6&9) へ、Res6.4.4 (WRC-03 rev. WRC-07)、Res6.4.6の記載等を追記結果の確認。

2.3.5 その他の報告

入力文書：5A/223-E Section 5 (SG5)

- ・ SG5におけるPPDR活動確認の報告。

入力文書： 5A/289-E (Region1 Rapporteur)

- ・ Region1 Rapporteur の報告文書の中で、ETSIにおける、5GHzにおける、Broad Band Disaster Relief applications (BBDR) のための調和の取れた無線規格案「Harmonized Standard EN 302 625 v1.1.1」が作成され、六月中に採択が完了するだろう旨の紹介がなされた。
- ・ ETSIにおいて、2008年の11月に876-880 MHz and 921-925 MHz (873-876 MHz / 918-921 MHzは将来拡張用途) のペアバンドが、鉄道用途としてGSM-R方式の規格化を行い「TR 102 627 v1.1.1」が作成されたことが紹介された。
- ・ また、将来におけるセーフティとセキュリティに関しての300~400MHz帯における検討が進められており、UHF帯における将来の追加周波数スペクトラム要望に関するドラフトドキュメント「Draft ETSI TR 102 628 v1.1.1」が2009年6月(誤植?)に作成された旨報告された。

.

入力文書： 5A/286-E (Region3 Rapporteur)

- ・ Region3 Rapporteur の報告文書の中で、AWF及びASTAPIにおける最新の会合の報告と、次回の会合の日程紹介と、今後の活動の予定の報告があった。
- ・ AWFにおいてはPPDR周波数に関する勧告改定案が作成され、ITU-R入力に向けて投票作業中である旨の紹介があった。
- ・ ASTAPIに関しては、DMGS-EG (Disaster Management Communication System- Expert Group) にて、勧告の改訂が完了し、投票中である旨の報告があった。

入力文書： 5A/287-E (PPDR Liason Rapporteur)

- ・ PPDR Rapporteur の報告文書の中で、2009年2月のオーストラリアにおけるアマチュア無線会議における災害対応通信の報告、及び、2009年4月イタリアで起こった地震の際のアマチュア無線の活用について紹介があった。
- ・ 今回でWG1の議長を兼任するPaul L. Rinaldoが退任となった。
- ・ 担当していたPPDRラポータは決まっておらず、継続選定作業を行はずだったが、プレナリー内でWG3の議長との兼任と決まった。

- ・ WG4の会合の中で、PPDRの周波数に関する議論がされた。138-174MHzの周波数帯は、現在VHF帯の跡地利用のバンドに関連しており、ウォッチングが必要である。特に、公共バンドとして割り当てられている170-205MHz帯は移動業務利用を想定しており、今後の対策も考慮すべきと思われる。

2.4 WG4（干渉保護条件及び共用研究）

WG4は、干渉保護条件及び共用研究について審議するWGである。本WGでは以下に示す入力文書についてWG4全体会合（7回）及び数回のドラフティンググループにて審議した。

- (1) 議長：Bruno Espinosa（仏）
- (2) 主要メンバー：J. Costa（加）、K. Baum（米）、M. Kraemer（独E-Plus）、J. Ragsdale（米Ericsson）、C. Rush（米Qualcomm）、R. Arefi（米Intel）、西室、小川、樫木、山崎、上村、（日）など約30名。
- (3) 入力文書：
 - 共用検討 197 (WP 5D); 200, 230 (BR); 243 (WiMAX Forum)
 - 698-862MHz関連 182 (Chairman, JTG 5-6); 196, 199 (WP 5D)
 - BWA-FSS関連 198 (WP 5D); 212 (IEEE); 221 (TIA TR-45.5); 242 (WiMAX Forum); 257 (3GPP TSG RAN); 258 (WP 4A); 263 (USA)
 - 無線LAN共用検討 283 (France)
 - FWA関連 169, 175 (WP 5C)
 - Coordination 174 (WP5C), 234 (Russian F.)
 - AI 1.5 ENG – Res. 954 170 (WP 5C); 181 (WP 6B); 292 (WP 6A); 296 (WP 6B);
 - AI 1.11 – Res. 753 203, 207 (WP 7B)
 - AI 1.12 – Res. 754 204 (WP 7B)
 - AI 1.13 – Res. 551 291 (WP 4A);
 - AI 1.14 – Res. 611 171 (WP 5C); 176, 177, 179 (WP 5B); 232 (Russian F.); 238 (Canada); 266 (USA);
 - AI 1.18 – Res. 613 172 (WP 5C); 268 (Japan);
 - AI 1.20 HAPS – Res. 734 173 (WP 5C)
 - AI 1.24 – Res. 672 202 (WP 7B)
 - AI 1.25 MSS – Res. 231 290 (WP 4C);
 - 機上無線LAN関連 5A/302 (WP 5B)

(4) 出力文書：出力文書:5A/TEMP/91,92,93,106,107,109,110,111,114,119,120

(5) 審議概要

3つのDG(DG1:BWA-FSS、DG2:M.2116、DG3:AI1.14)を設置し、それらのDG及びWG4プレナリ会議にて審議を実施し、以下の結果を得た。3.4-4.2GHz帯でのFSS-BWAの共用検討レポートについて関係外部機関からの入力文書を元に、WP4AIに対してBWAの暫定パラメータの検討内容を報告するリエゾンを作成。また、3.4-4.2GHz帯のBWAの無線特性値を新たに追加記載してレポートITU-R M.2116のリバイズを開始した。関連外部機関にはレポートITU-R M.2116をリバイズする上でのレビューを依頼するリエゾンを作成。また、VHS地上移動業務のアンテナのアイソレーションに関するPDNReportがWP5Aの承認を受けてSG5に入力された。その他、WRC11の各アジェンダアイテムに関連して、必要なWPに向けて、WP5Aでの作業の開始を伝えるリエゾンを作成した。

2.4.1 共用検討 (ITU-R M.2116)

(1) 入力文書

197 (WP 5D); 200, 230 (BR); 243 (WiMAX Forum)

(2) 出力文書

5A/TEMP/110; 111

(3) 審議概要

- ・WiMAXのM.2116のパラメータが、WP5Dで扱うM.2039で記載されている内容と異なることが、議論となった。WiMAX Forumには次回会合までに説明の入力を期待する。
- ・レポートITU-R M.2116は3.4GHz-4.2GHzのBWA-FSSの共用検討への反映も期待して、3.4GHz-4.2GHzの共用検討パラメータを含んでリバイズすることとし、作業を開始した。
- ・EO(外部関連機関:BWA関連)にM.2116のリバイズ案についての入力を期待するリエゾンを作成した。WP5A承認。

2.4.2 698-862MHz関連

(1) 入力文書

182 (Chairman, JTG 5-6); 196, 199 (WP 5D)

(2) 出力文書

なし

(3) 審議概要

- ・各リエゾン共、WP5Aへのリクエストは無く、現時点ではノーアクション。

2.4.3 BWA-FSS関連

(1) 入力文書

198 (WP 5D); 212 (IEEE); 221 (TIA TR-45.5); 242 (WiMAX Forum); 257 (3GPP TSG RAN); 258 (WP 4A); 263 (USA)

(2) 出力文書

5A/TEMP/109

(3) 審議概要

- ・ BWA-FSSに関する、各方面からのリエゾンバックと、USからのWP4Aへのリエゾン案が入力。
- ・ WP4Aに対して、リエゾンバックで入力された情報をまとめたBWAパラメータを含めてリエゾンを作成。WP5A承認。
- ・ また、本件に関して、以前に作業文書を作成して第1回WP5A会合の議長報告(5A/45)の添付(Annex9)としていたが、WP4Aでの作業に協力していく体制となり、WP5Aのドキュメントは不要ということでサプレスすることとした。

2.4.4 無線LAN共用検討

(1) 入力文書

283 (France)

(2) 出力文書

5A/TEMP/93

(3) 審議概要

- ・ DFSのテスト手順についてのPDNレポートの修正提案(ヨーロッパのパート)が入力されたが、本件については次回の完成を目指してキャリアフォワードすることとした。

2.4.5 FWA関連

(1) 入力文書

169, 175 (WP 5C)

(2) 出力文書

なし

(3) 審議概要

- ・ WP5Cより勧告リバイズの情報などがリエゾンにて入力されたが、情報提供のみであるため、ノーアクション。

2.4.6 Coordination

(1) 入力文書

174 (WP5C), 234 (Russian F.)

(2) 出力文書

5A/TEMP/107R1

(3) 審議概要

- ・隣接国との固定／移動業務の共用調整に関して今回の会合では議論は実施しないが、オフラインでWP5Cに対するリエゾンを作成。
- ・WP5Aプレナリにて、UAEより元々のドキュメント前回WP5A議長報告Annex10についての懸念が示され、コーヒープレイクの間にUAE、WG4議長にて修正案をドラフトした。修正案では、(development、Report)といった具体的な語句について(activity、work、study、outcome)といった抽象的な語句に修正し、更に脚注として「いくつかの国は本件に対し強く反対している」と付記された上で承認された。

2.4.7 AI 1.5関連

(1) 入力文書

170 (WP 5C); 181 (WP 6B); 292 (WP 6A); 296 (WP 6B)

(2) 出力文書

なし。

(3) 審議概要

- ・次回WP5A会合には作業が必要だが今回は必要無しとしてノーアクション。

2.4.8 AI 1.11関連

(1) 入力文書

203, 207 (WP 7B)

(2) 出力文書

5A/TEMP/92

(3) 審議概要

- ・WG4議長にてリエゾン案を作成。コメントあればWG4議長へ連絡することとした。WP5A承認。

2.4.9 AI 1.12関連

(1) 入力文書

204 (WP 7B)

(2) 出力文書

なし

(3) 審議概要

- ・今回はアクション不要としてノーアクション。

2.4.10 AI 1.13関連

(1) 入力文書

291 (WP 4A);

(2) 出力文書

5A/TEMP/114R1

(3) 審議概要

・WP4Aに対して、コンタクト先をイラン・アラステ氏としてリエゾンを作成した。WP5A承認。

2.4.11 AI 1.14関連

(1) 入力文書

171 (WP 5C); 176, 177, 179 (WP 5B); 232 (Russian F.); 238 (Canada); 266 (USA);

(2) 出力文書

5A/TEMP/119R1

(3) 審議概要

・米、加、露を中心にリエゾンドラフトを議論。WP5Bに向けて、リエゾン文書を作成。
・WA5Aプレナリにて、UAEよりprotection criteriaの部分で対象となる帯域幅が抜けている等の指摘で（帯域=25kHz、in the application in the recommendation ITU-R ?1546-3）を追記して承認。

2.4.12 AI 1.18関連

(1) 入力文書

172 (WP 5C); 268 (Japan)

(2) 出力文書

5A/TEMP/106

(3) 審議概要

・日本よりVICSの情報提供のリエゾン文書が入力され、日本の入力文書をベースにWP4Cに対して情報提供のリエゾンを作成。コンタクト先を小山氏(日本)としてWP5A承認。

2.4.13 AI 1.20関連

(1) 入力文書

173 (WP 5C)

(2) 出力文書

なし。

(3) 審議概要

・今回WP5Aからの新情報が無いのでノーアクションとする。

2.4.14 AI 1.24関連

(1)入力文書

202 (WP 7B)

(2)出力文書

なし。

(3)審議概要

・今回アクションの必要なく、ノートするのみ。

2.4.15 AI 1.25関連

(1)入力文書

290 (WP 4C)

(2)出力文書

5A/TEMP/120

(3)審議概要

・現時点でWP5Aに追加の情報を来ていないが、勧告ITU-R M. 1450に4 900-5 000 MHzにおける無線LANに利用について記載されている旨を伝えるリエゾン WP4Cに向けて作成。WP5A承認。

2.4.16 機上無線LAN関連

(1)入力文書

5A/302 (WP 5B)

(2)出力文書

なし。

(3)審議概要

・会合中での入力文書があったが、情報提供であり、ノートするのみとした。

2.4.17 Isolation

(1)入力文書

なし。

(2)出力文書

5A/TEMP/91

(3)審議概要

・前回WP5A議長報告のAnnex10となっていたPDNReport ITU-R M. [LMS, VHF-ISOLATION]について米、加の主張により今回での完成を目指してSG5承認にかけることとした。WP5A承認。

2.5 WG5 (New technology and systems)

- (1) 議長：吉野 仁 (日本)
- (2) 主要メンバー：Jose Costa、Michel Ndi、Adrian Floren (カナダ)、Pekka Ojanen (フィンランド)、Bruno Espinosa(仏)、Gabriel Owen (蘭)、Alexander Kuehn、Bernd Wolf (独)、Haeyoung Lee(韓)、Saad Hassan(アラブ首長国連邦)、Paul Najarian、Dante Ibarra、Stephen Ward、Christine De Lapi (米)、Xavier Hallwell(豪)、Egene Tonkikh (露)、Ashok Chandra (印)、Paolo Goria(テレコム伊)、Kodo Shu(Nokia Corporation)、Eiman Mohyeldin (Nokia Siemens Network)、Jim Ragsdale(エリクソン)、Safwan Zaheer(Alcatel-Lucent USA)、Stanislav FILIN (NiCT)、西室、小坂、檜木、村上、山本、小山、岡、吉野、(日)など約40名
- (3) 入力文書：5A/218 (Convenor - CG), 241 (カナダ), 246 (中), 262 (米), 269 (日), 277 (Alcatel-Lucent France, 中, 仏, France Télécom Orange, 独, 蘭, Telecom Italia), 279, 280, 281, 282 278 (Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks), 5A/209 (WP 1B), 249 (カナダ), 253 (アラブ首長国連邦), 254 (韓), 259, 260 (フィンランド), 267 (米), 270 (日), 301 (WP5B), 303 (WP5C), 5A/240 (カナダ), 264 (米), 273 (日), 297 (Director, TSB), 247 (APSC-Telemov), 289 (Liaison Rapporteur in some countries in Region 1), 5A/187 (ITU-T SG15), 208 (WP 1B), 271, 272 (日), 5A/206 (WP1A)
- (4) 出力文書：5A/88R1(センサーネットワーク作業文書), 89R1(センサーネットワーク新研究課題案), 90R1(WP1A, 1B, 4C, 5B, 5D, ITU-T SG15, ITU-T SG16, ITU-D SG2へのリエゾン), 105R3(勧告M.1452改定案), 112(勧告M.1310改定草案), 113(TSB局長へのノート), 122(WP1Aへのリエゾン), 125R1(WP1Bへのリエゾン), 127R1(ITU外部機関へのCRSレポート関連リエゾン), 129(WG5議長報告), 130(CRSレポート草案作業文書)
- (5) 審議概要

WG5は、コグニティブ無線システム(CRS: Cognitive Radio Systems)、ソフトウェア無線(SDR: Software Defined Radio)、アダプティブアンテナ(AA)等の新技術、および、ITS (Intelligent Transport Systems)、センサーアクチュエータネットワークシステム等の新システムについて審議するWGである。本WGは今会合中8回開催され、32件の入力寄与文書を審議し、11件の出力文書を作成した。

2.5.1 陸上移動業務のコグニティブ無線システム

入力文書：5A/218 (Convenor – CG), 241 (カナダ), 246 (中国), 262 (米), 269 (日), 277 (Alcatel-Lucent France, 中, 仏, France Télécom Orange, 独, 蘭, Telecom Italia), 279, 280, 281, 282 278 (Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks)

出力文書：5A/TEMP/127R1 (ITU外部機関へのCRSレポート関連リエゾン), 5A/TEMP/130 (CRSレポート草案作業文書)

出席者： Jose Costa、Michel Ndi (カナダ)、Pekka Ojanen (フィンランド)、Bruno Espinosa (仏)、Gabriel Owen (蘭)、Alexander Kuehn、Bernd Wolf (独)、Haeyoung Lee (韓)、Saad Hassan (アラブ首長国連邦)、Dante Ibarra、Stephen Ward、Christine De Lapi (米)、Paolo Gorla (テレコム伊)、Kodo Shu (Nokia Corporation)、Eiman Mohyeldin (Nokia Siemens Network)、Jim Ragsdale (エリクソン)、Safwan Zaheer (Alcatel-Lucent USA)、Stanislav FILIN (NiCT)、西室、小坂、榎木、村上、山本、小山、岡、吉野、(日) など約40名

陸上移動無線のコグニティブ無線システムの新レポート草案作業文書の審議は、SWG 1 (議長: 吉野(日本)) で検討された。

今会合では、入力文書に基づき新レポート草案作業文書の更新を行った。まず、研究課題(Q. 241-1/5)をもとに、新レポート草案作業文書の章構成を議論し、新しい章構成で合意した。次回以降の会合で新しい章構成に合わせて、章ごとにその内容を議論することとなった。また、新レポートの作成に際して、ITU-R外部機関に、本作業文書の内容について材料提供を呼びかけるリエゾン文書を作成した。

コグニティブ無線システムの要求条件についての議論を行い、現在作成中の新レポートには要求条件を記述せず、将来、コグニティブ無線システムについての十分な検討が行われてから、別途、ITU-R勧告などを作成し、その中で記述することとした。

2.5.2 SDRとCRSに関するWRC-11議題1.19関連

入力文書：5A/209 (WP 1B), 249 (カナダ), 253 (UAE), 254 (韓国), 259, 260 (フィンランド), 267 (米), 270 (日), 301 (WP5B), 303 (WP5C)

出力文書：5A/TEMP/125R1 (WP1Bへのリエゾン)

出席者： Jose Costa、Michel Ndi (カナダ)、Pekka Ojanen (フィンランド)、Bruno Espinosa (仏)、Gabriel Owen (蘭)、Alexander Kuehn、Bernd Wolf (独)、Haeyoung Lee (韓)、Saad Hassan (アラブ首長国連邦)、Dante Ibarra、Stephen

Ward、Chiristine De Lapi (米)、Paolo Gorla (テレコム伊)、Kodo Shu (Nokia Corporation)、Eiman Mohyeldin (Nokia Siemens Network)、Jim Ragsdale (エリクソン)、Safwan Zaheer (Alcatel-Lucent USA)、Stanislav FILIN (NiCT)、西室、小坂、檜木、村上、山本、小山、岡、吉野、(日) など約40名

SDRとCRSに関するWRC-11議題1.19関連の審議は、SWG 1(議長:吉野(日本))で検討された。WP1Bからのリエゾン文書(5A/209)には、SDRとCRSの導入予定に関する質問と、CRSが周波数利用の効率性と柔軟性を改善する技術的アプローチ、他のシステムとの共存を促進するCRSの無線能力、CRSの導入シナリオ、CRSとSDRの違いに関する質問が記載されている。本会合では、WP1Bからのリエゾンに返答する内容の作成に多くの時間を割いた。特に、コグニティブ無線の導入シナリオに関しては、日本から提案していたヘテロジニアスな無線環境における無線端末の再構成に関するシナリオと、公共と自営無線の間の協調を可能にするシナリオが採用された。WP1Bへのリエゾンには、WP5BおよびWP5Cからの回答内容(5A/301, 303)を併記してWP5Aがとりまとめ返答した。WP5Dに対して本件に関するリエゾンをWP5Aから送付すべきという入力寄書が審議されたが、(1) WP5AとWP5Dは会合の開催時期(開催周期)が異なる、(2) WP5Dが独立してWP1Bに返答すればよいなどの意見が出され、WP5Dに対しては特段リエゾンを送る必要がないことを確認した。しかしながら、WP5AでとりまとめWP1Bへ送付されるリエゾン文書をWP5Dへも参考としてCCすることで合意した。

2.5.3 ITS (Intelligent Transport Systems)

入力文書: 5A/240 (カナダ)、5A/264 (米国)、5A/273 (日本)、5A/297 (TSB局長)、5A/247 (APSC/TELEMOV リエゾンラポータ)

出力文書: 5A/TEMP/105R3, 5A/TEMP/112, 5A/TEMP/113

出席者 Paul Najarian(米国)、Bernd Wolf(独)、Heyoung Lee(韓国)、Gabriel Owen(蘭)、Xavier Hallwell(豪)、Michel Oliver Ndi、Adrian Floren(カナダ)、Egene Tonkikh(露)、Ashok Chandra(印)、小坂、小山(日本)などの約計12名であった。

ITS関係の審議は前回会合ではWG2として独立していたが、今回からWG5の中のSWG2 ITSとして運営されることになった。SWG議長には小山が指名され、ミリ波ITS通信システム、ITSの目的と要件、TSB局長からのFully Networked Car Workshopに関する文書について審議を行った。

2.5.3.1 ミリ波ITS通信システムに関する検討

入力文書：5A/240（カナダ）、5A/264（米国）

出力文書：5A/TEMP/105R3

- ・ カナダと米国から入力文書について説明があった。内容は既存の勧告 M. 1452 と、前回会合まで審議を進めてきた日本からの提案が基になっているミリ波 ITS 通信 [ITS-MM] について、ミリ波 ITS 全般を包含できるアンブレラ勧告を作り、ANNEX A としてミリ波レーダーを、ANNEX B としてミリ波通信を記載するもの。
- ・ カナダと米国からの入力文書を基に PDRevision の完成を目指すことに合意した。
- ・ ドイツから 24-29GHz における高精度車載レーダーが欧州では広く使われていることから当該勧告に含めるべきとの意見が出されたが、その後ドイツは提案を取り下げた。結論として、24-29GHz についてはミリ波帯に含まれないことから当勧告には含めず、considering に追記し、脚注に SARA (Strategic Automotive Radar frequency Allocation) に記載することとした。
- ・ WP5A Plenary で Summary of revision (Recommendation には記載されない) が不適切との指摘があり、修正した。
- ・ M. 1452 に関して WP5A カウンセラーからの指示を受け、関係者と協議の結果、TEMP 文書の noting に記載されていた ASTAP 関係の記述を削除した。削除理由は、ASTAP では 2000 年の M. 1452 勧告化に向け、WP8A（当時）への入力文書を作成したが ASTAP としては現時点で有効な勧告等は作成していないことから、勧告改訂にあたりこの項を削除することとした。
- ・ TEMP 文書はエディトリアルな修正を加え Revision 3 として WP5A の審議に付された。
- ・ WP5A で承認され、SG5 へ送られることになった。

2.5.3.2 ITSの目的と要件に関する検討

入力文書：5A/273（日本）、

出力文書：5A/TEMP/112

- ・ この勧告 M. 1310 は制定されてから既に 10 年以上を経過したことから、見直しが必要とされている。
- ・ 前々回会合（2008 年 2 月）でカナダから勧告の見直し提案がなされ、審議がはじまった。前回会合（2008 年 10 月）には日本からも追加提案を行った。今回会合でも各国からの改訂提案が求められていた。
- ・ 審議の結果、日本からの入力文書に Editorial Note を追記することになった。
- ・ Editorial Note への記載内容は新勧告の策定、または現在の勧告 M. 1310 を改訂するかを含めて検討が必要というもの。

- ・ 審議の結果、TEMP 文書は WP5A 議長報告に添付され、次回会合で再審議することになった。

2.5.3.3 Fully Networked Car Workshopに関する文書

入力文書：5A/297 (TSB局長)

出力文書：5A/TEMP/113

- ・ TSB 局長からの文書に対する返信案を TEMP 文書として作成し承認された。
- ・ 主旨は「協力する用意はあるが、ITU-R として対応が必要となる要請としてもらいたい」と言うもの。
- ・ コンタクト先として小山 (日)、Najarian (米) を併記した。

2.5.4 センサー・アクチュエーターネットワークシステム

入力文書：5A/187 (ITU-T SG15), 208 (WP1B), 271, 272 (日本)

出力文書：5A/88R1 (センサーネットワーク作業文書), 89R1 (センサーネットワーク新研究課題案), 90R1 (WP1A, 1B, 4C, 5B, 5D, ITU-T SG15, ITU-T SG16, ITU-D SG2へのリエゾン)

出席者： 西室、榎木、村上、山本、吉野 (日)

- ・ センサー・アクチュエーターネットワークシステムに関する新研究課題案、勧告/レポート作業文書の審議は、SWG 3 (議長: 吉野 (日本)) で検討された。新研究課題案については、日本寄書をもとに修正が加えられ、特段の反対なく承認された。また、勧告/レポート作業文書については日本寄書をもとに内容の更新が行われたが、日本の提案する新勧告案作業文書とすることには米国から反対を受けた。その結果、今後、作業文書の内容を見て、勧告とするかレポートとするかを定めることとなった。

2.5.5 短距離デバイスに関するWRC-11議題1.22と決議953関連

入力文書：5A/206 (WP1A)

出力文書：5A/122 (WP1Aへのリエゾン)

出席者： Jose Costa、Michel Ndi (カナダ)、Bruno Espinosa (仏)、Gabriel Owen (蘭)、Alexander Kuehn、Bernd Wolf (独)、Haeyoung Lee (韓)、Saad Hassan (アラブ首長国連邦)、Kimberly Baum (米)、Jim Ragsdale (エリクソン)、Safwan Zaheer (Alcatel-Lucent USA)、西室、榎木、村上、山本、吉野、(日) など約20名

WP5A所掌の無線システムに関する干渉保護条件に関する情報提供を求めるWP1Aからのリエゾン(5A/206)に対して、WP5Aが前回の会合で情報提供した既存勧告およびレポート(1A/86)に追加して、勧告ITU-R M. 1739(5GHz帯ワイヤレスアクセスシステムの保護基準)、M. 1767(V・UHF帯における地上波デジタル放送からの陸上移動通信システムの保護)、M. 1823(共用検討のためのデジタル陸上移動システムの技術上・運用上の特性)に関する情報を提供するリエゾンを作成した。

2.6 その他

プレナリーにおいて、WP5Aの関連文章のステータス(議長レポート Annex. 1)として5A/TEMP/126が紹介された。特にFシリーズの見直しが必要であり、次回会合までに見て置くようにとのコメントが議長よりあった。

Disaster Reliefのリエゾンラポーターは、Amy Sanders(米国)がとなった。

3 今後の予定

WP5Aの次回会合の各WGの主な審議事項は以下のとおり。

3.1 WG1

- (1) アマチュアが使用する可能性があるシステム特性に関する新報告書案の作成を含み、WRC-11議題1. 23の検討を引き続き行うこと。
- (2) WRC-11議題1. 15に関する継続検討を引き続き行うこと。
- (3) 他国におけるアマチュア局の臨時運用に関する検討を引き続き行うこと。

3.2 WG2

- (1) 勧告ITU-R M. 1801勧告の改定のための検討を行うこと。
- (2) 勧告ITU-R M. [WAS. QOS]暫定勧告草案に向けた作業文書の検討を行うこと。
- (3) 勧告UTI-R M. 1450勧告の改定のための検討を行うこと。

3.3 WG3

- (1) 今回含め継続されるPPDRにおける周波数計画の勧告化、及び連携するテクニカルレポートに関する審議。
- (2) 決議646(WRC-03)に記載されている、今後のPPDR通信システムに関する技術的研究。
- (3) 議決(WRC-07)に記載されている、今後のデータベース構築に関する審議

3.4 WG4

- (1) 3.4-4.2GHzにおけるBWA-FSS共用検討の継続
- (2) Report ITU-R M.2116 (BWA共用検討レポート)のリバース作業の継続
- (3) Report M.2115 on the Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection in 5 GHz WAS/RLANs のリバース作業継続
- (4) Agenda Items 1.5, 1.11, 1.12, 1.13, 1.14, 1.18, 1.20, 1.24, 1.25. に関して必要な情報の収集と適切なガイダンスの作成
- (5) WP5AのWG4関連事項に関する適切なアクションの検討

3.5 WG5

3.5.1 陸上移動業務のコグニティブ無線システム

- (1) 今会合中にWG5議長より、今後の作業スケジュールに関するコメントがあった。WRC-11議題1.19に関連して必要な技術情報をレポートとして速やかにまとめる必要があるため、GPMテキストが完成する前に、本レポートを完成させることが重要であるとのコメント。これに対しては、レポート作成参加者からも異論がなく、今後、2009年秋のWP5A会合で内容についてほぼ合意し、2010年春のWP5A会合でエディトリアルな精査を経て完了する方向性が確認された。
- (2) 次回会合では、上記の方向性に沿って、陸上移動業務のコグニティブ無線システムに関する新レポート草案作業文書の作成が継続される。今会合で新たな章構成で合意されたことから、合意された章構成に沿ったコンテンツの再割り当て、内容の統合精査、必要に応じてあらたなコンテンツの提案の議論が行われる予定。現在の作業文書の内容を精査し、提案を行う必要がある。

3.5.2 ITS

- (1) 勧告M.1310 「ITSの目的と要件」に関して新勧告の作成、または勧告改訂を行うこと。

3.5.3 センサー・アクチュエータネットワークシステム

- (1) センサー・アクチュエータネットワークシステムに関する新研究課題が承認されたことから、新研究課題をもとに、センサー・アクチュエータネットワークシステムに関する新勧告/レポート草案作業文書の作成が引き続き行われる予定である。日本からの新勧告草案作成の提案に関しては、現在の作業文書の内容を判断して勧告にふさわしい内容であれば勧告化を行うべきであり、現時点で判断すべきではないとの意見が出された。勧告化を目標にするのであれば、内容の一層の充実が求められている。また、本件に関する入力寄書が日本以外

にはないことから、今後も継続的に日本が積極的に貢献する必要がある。

4. 次回会合のスケジュール

次回(第4回)WP5A会合は、2009年11月23日-12月4日、ジュネーブ(スイス)にて開催される予定。

また、それ以降の暫定スケジュールは次のとおり。

2010年 5月10日- 5月21日

2010年11月 8日-11月19日

2011年 5月30日- 6月10日

表2 日本入力文書の審議結果

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
5A/268	Proposed draft reply to Working Party 4C – WRC-11 Agenda item 1.18	プレナリで WP4Cへ送付を承認、	TEMP/106 (議長報告Annex2)
5A/269	Proposed modification to the working document towards a preliminary draft new Report on cognitive radio system in the land mobile service	CRSLレポート草案作業文書に含まれ議長添付。キャリアフォワード	TEMP/130, (議長報告Annex15)
5A/270	Proposed draft reply to Working Party 1B – Concerning the study on cognitive radio systems	他国の入力共に1Bのリエゾンに反映	TEMP/125R1 (1B/96)
5A/271	Revised working document towards a preliminary draft new Recommendation – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service	勧告/レポート作業文書として議長添付。キャリアフォワード	TEMP/88R1 (議長報告Annex13)
5A/272	Draft new Question ITU-R [LMS.SAC]/5 – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service	クエスチョンとして承認、SG5へ送付。	TEMP/89R1 (5/134)
5A/273	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1310 – Intelligent transport systems (ITS) – Objectives and requirements	勧告改訂案を議長添付としてキャリアフォワード	TEMP/112 (議長報告Annex14)
5A/274	Suppression of Recommendation ITU-R F.1244 – Radio local area networks (RLANs)	プレナリで承認、SG5へ提案	特段のTEMP文章の作成は無し。 5A/ADM/47に審議事項として削除提案が記載されている。 SG5への送付文章案は議長が別途作成
5A/275	Review of certain F-series Recommendations developed by the former Working Party 9D	5A-5C合同会合で勧告F.1567の5Aでの審議を決定	(5A所掌の勧告は議長報告Annex1参照)
5A/276	Review of the F-series Recommendations in Document 5/114, which are under the responsibility of Working Party 5A or the joint responsibility of Working Parties 5A and 5C	勧告F.757-3、勧告F.1401-1、勧告F.1489、勧告M.1074の件についてはキャリアフォワード、勧告F.1488、F.1567はSG5へ送付	TEMP/99r1 (議長報告Annex2)

表3 WP5A入力文書の分類一覧表

WP 5A Plenary (Chairman: José Costa, Canada)	
Reports	168 (Acting Chairman, WP 5A); 223 (Chairman, WP 5A); 286 (Liaison Rapporteur #3); 287 (Liaison Rapporteur - Disaster Relief); 289 (Liaison Rapporteur - CEPT); 298 (List of documents)
General	189 (Chairman, CPM-11); 190 , 191 (ITU-T SG 13); 192 (Chairman, SG 5); 194 (Chairman ITU-T SG 13); 201 (Chairman, SG 5); 210 (CCV); 217 (Chairman ITU-T FG ICTs & CC); 222 (ITU-T SG 2); 225 (Chairmen, WP 5A and WP 5C); 252 (Chairman, WP 5A)
Working Group 1: Amateur Services (Chairman: Paul Rinaldo, USA)	
Characteristics	248 (Canada); 261 (USA)
AI 1.23 Amateur	180 (WP 5B); 236 , 237 (Canada); 244 (China); 285 (Germany); 295 (WP 6A)
AI (1.15) – Res. 612	178 , 183 (WP 5B); 293 , 294 (WP 6A)
Power Line Comm.	205 (WP 1A)
Temporary operation	220 (IARU)
Working Group 2: Wireless access, including RLANs (Chairman: Lang Baozhen, China)	
Q. 215/5 (FWA)	275 , 276 (Japan)
Q.101/5 (QoS)	184 (ITU-T SG 15); 193 (ITU-T SG 16); 215 (ITU-T SG 12); 219 (BR); 239 (Canada)
RLANs M.1450 & F.1244	211 (IEEE); 274 (Japan)
BWA M.1801	188R1 (IEEE); 213 (IEEE); 227 (ATIS); 229 (TIA TR-45.5); 231 (ETSI); 250 (XPG Forum); 255 (TTA); 256 (3GPP TSG RAN)
ANTS	185 , 186 (ITU-T SG 15); 195 (WP 5D); 299 , 300 (ITU-T SG 15)
Update of Recs. / Other	216 (BR); 228 (WP 4B)
Handbook Vol. 5 (BWA)	251 (WiMAX Forum); 284 (E-Plus); 288 (Editor)
Working Group 3: Public protection and trunking (Chairman: Amy Sanders, USA)	
PPDR	214 (IEEE); 224 (ITU-T SG 2); 226 (ATIS); 233 (Russian F.); 235 (ITU-D SG 2); 245 (China); 265 (USA)
Working Group 4: Interference and sharing (Chairman: Bruno Espinosa, France)	
Sharing (general)	197 (WP 5D); 200 , 230 (BR); 243 (WiMAX Forum)
698-862 MHz sharing	182 (Chairman, JTG 5-6); 196 , 199 (WP 5D)
FSS sharing	198 (WP 5D); 212 (IEEE); 221 (TIA TR-45.5); 242 (WiMAX Forum); 257 (3GPP TSG RAN);

	258 (WP 4A); 263 (USA)
FWA sharing	169 , 174 , 175 (WP 5C)
RLANs sharing – Res. 229	283 (France); 302 (WP 5B)
Coordination	234 (Russian F.)
AI 1.2 – Res. 951	
AI 1.5 ENG – Res. 954	170 (WP 5C); 181 (WP 6B); 292 (WP 6A); 296 (WP 6B)
AI (1.10) – Res. 357	
AI (1.11) – Res. 753	203 , 207 (WP 7B)
AI (1.12) – Res. 754	204 (WP 7B)
AI (1.13) – Res. 551	291 (WP 4A)
AI (1.14) – Res. 611	171 (WP 5C); 176 , 177 , 179 (WP 5B); 232 (Russian F.); 238 (Canada); 266 (USA)
AI 1.18 – Res. 613	172 (WP 4C); 268 (Japan)
AI (1.20) HAPS – Res. 734	173 (WP 5C)
AI (1.24) – Res. 672	202 (WP 7B)
AI 1.25 MSS – Res. 231	290 (WP 4C)
Working Group 5: New technology and systems (Chairman: Hitoshi Yoshino, Japan)	
SDR and CRS	218 (Convenor - Correspondence Activity); 241 (Canada); 246 (China); 262 (USA); 269 (Japan); 277 (Alcatel-Lucent et al. / Project E ³); 279 , 280 , 281 , 282 (Nokia, NSN)
AI 1.19 SDR & CRS R. 956	209 (WP 1B); 249 (Canada); 253 (UAE); 254 (Korea); 259 , 260 (Finland); 267 (USA); 270 (Japan); 278 (Nokia, NSN); 301 (WP5B); 303 (WP5C)
AI 1.22 RFID – Res. 953	206 (WP 1A)
Sensor networks	187 (ITU-T SG 15); 208 (WP 1B); 271 , 272 (Japan)
ITS	240 (Canada); 247 (Liaison Rapporteur – APSC Telemov); 264 (USA); 273 (Japan); 297 (Director, TSB)

表4-1 WP5A出力文章

Number	Source	Title	As agreed
[87]	WP 5A, WG 1	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	Annex 2
[88] (Rev. 1)	WP 5A (WG 5)	Working document towards a PDN Recommendation – Mobile wireless access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service	Annex 13
[89] (Rev. 1)	WP 5A (WG 5)	Draft new Question ITU-R[LMS.SAC]/5 – Mobile wireless access systems providing telecommunications for a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service	Annex 2
[90] (Rev. 1)	WP 5A (SG 5)	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A and 1B, ITU-T SG 15 and ITU-D SG 2 Question 14/2 – The study of mobile access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	Annex 2
[91]	WP 5A-WG4	Draft new Report ITU-R M. [LMS.VHF-ISOLATION] – Study of the isolation between VHF land mobile radio antennas in close proximity	Annex 2
[92]	WP 5A-WG4	Liaison statement to Working Party 7B – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55-23.15 GHz (WRC-11 Agenda item 1.11)	Annex 2
[93]	WP 5A, WG4	Preliminary draft revision of Report ITU-R M. 2115 – Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection	Annex 11

Number	Source	Title	As agreed
[94]	WP 5A	Preliminary draft new Question ITU-R [AM-TEMP OP] - Amateur service temporary operation in other countries	Annex 6
[95]	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1677	Annex 2
[96]	WP 5A	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M. [LMS.PPDR.UHF TECH] - Radio interface standards that could be used for public protection and disaster relief operations in the 746-806 MHz band in Region 2 and some countries in Region 3	Annex 10
[97]	WP 5A (WG 3)	Liaison statement to ITU-T Study Group 2 - Draft ITU-T Recommendation on requirements for land mobile alerting broadcast capabilities for civic purposes	Annex 2
[98]	WP 5A (WG 3)	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 (copy to CCV) - Draft list of terminology on emergency telecommunications	Annex 2
[99] (Rev. 1)	WP 5A	Note to Study Group 5 - Editorial update of 3 F-Series Recommendations	Annex 2
[100] (Rev. 1)	WP 5A (WG 2)	Liaison statement to ARIB and ETSI regarding revision Recommendation ITU-R M.1450-3	Annex 2
[101]	WP 5A, DG 5A-2	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1801 - Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 6 GHz	Annex 7

Number	Source	Title	As agreed
[102]	WP 5A	Liaison statement to ITU-T Study Groups 12, 15 and 16 on the development of a draft new Recommendation on performance and availability requirements and objectives for wireless access systems (Copy to WP 6B for information)	Annex 2
[103]	WP 5A, DG 5-2-2	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [WAS.QoS] - Performance and availability requirements and objectives for wireless access systems	Annex 8
[104]	WPs 5A and 5C	Agreed distribution of actions related to texts that are the joint responsibility of WP 5A and WP 5C	5A/30 5
[105] (Rev. 1-3)	WP 5A (WG 5)	Draft revision to Recommendation ITU-R M.1452 - Millimeter wave radiocommunication systems for ITS applications	Annex 2
[106]	WP 5A (WG 4)	Liaison statement to WP 4C - WRC-11 Agenda item 1.18	Annex 2
[107] (Rev. 1)	WP 5A	Liaison statement to WP 5C - Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility and sharing between stations of fixed and/or land mobile services with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries	Annex 2
[108] (Rev. 1)	WP 5A	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	Annex 2
[109] (Rev. 1)	WP 5A (DG 5A4-1)	Liaison statement to WP 4A - Compatibility of broadband wireless access networks and fixed-satellite service networks in the 3 400-4 200 MHz band	Annex 2

Number	Source	Title	As agreed
[110]	WP 5A (WG 4)	Liaison statement to external organizations - Revision of ITU-R Report M.2116 "Characteristics of broadband wireless access systems operating in the land mobile service for use in sharing studies"	Annex 2
[111]	WP 5A (WG 4)	Working document towards a preliminary draft revised Report ITU-R M.2116	Annex 12
[112]	WP 5A (SWG 5A-5-2 ITS)	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1310 - Intelligent transport systems (ITS) - Objectives and requirements	Annex 14
[113]	WP 5A (SWG 5A-5-2 ITS)	Note to the Director, Telecommunication Standardization Bureau - Fully networked car workshop	Annex 2
[114] (Rev. 1)	WP 5A	Liaison statement to Working Party 4A on WRC-11 Agenda item 1.13 (copy to WP 5C and WP 6B)	Annex 2
[115]	WP 5A, WG 1	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 on draft new Question on amateur service temporary operation in other countries [AM-TEMP OP]	Annex 2
[116]	WP 5A, WG 1	Preliminary draft new Report ITU-R M. [AS.500 kHz CHARACTERISTICS] - Transmission characteristics of amateur radio stations in the band 415-526.5 kHz	Annex 5
[117]	WP 5A, WG 1	Working document towards draft CPM text for WRC-11 Agenda item 1.23 - Agenda item 1.23	Annex 4
[118]	WP 5A (WG 2)	Liaison statement to ITU-T SG 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 5D)	Annex 2
[119] (Rev. 1)	WP 5A (WG 4)	Liaison statement to WP 5B copy to WP 5C - WRC-11 Agenda item 1.14	Annex 2
[120] (Rev. 1)	WP 5A (WG 4)	Liaison statement to WP 4C - WRC-11 Agenda item 1.25	Annex 2

Number	Source	Title	As agreed
[121]	WP 5A	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M. [LMS.PPDR.UHF] - Harmonized frequency arrangements for Public Protection and Disaster Relief (PPDR) radiocommunications systems in UHF bands	Annex 9
[122]	WP 5A (WG5)	Liaison statement to WP 1A - WRC-11 Agenda item 1.22	Annex 2
[123]	Chairman, WP 5A, WG 1	Working Group 1 (Amateur services) - Elements of the Chairman's Report	Annex 3
[124]	WP 5A (WG 5A-3)	Meeting Report of Working Group 5A-3 - Public protection and trunking	Annex 3
[125] (Rev. 1)	WP 5A (WG 5)	Liaison statement to Working Party 1B - On the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to WPs 5B, 5C and 5D)	Annex 2
[126]	WP 5A	Section 1 of Annex 1 of the Chairman's Report (status of texts of WP 5A)	Annex 1
[127] (Rev. 1)	WP 5A (WG 5)	Liaison statement to external organizations - Invitation for contributions in the development of an ITU-R Report on cognitive radio systems in the mobile service	Annex 2
[128]	WP 5A, WG 2	Report on the activities of WG 2 - Wireless access systems, including RLANS	Annex 3
[129]	WP 5A, WG 5	Meeting report of Working Group 5A5 - Technology	Annex 3
[130]	WP 5A (WG 5)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R [LMS.CRS] - Cognitive radio systems in the land mobile service	Annex 15

表4-2 WP5Aからの発出されたリエゾン文章

Liaison to	Title/Subject	Document number	Source: 5A/TEMP /...
WP 1A	Liaison statement to WP 1A - WRC-11 Agenda item 1.22	1A/146	122
WP 1A WP 1B ITU-D SG 2 ITU-T SG 15 ITU-T SG 16	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A and 1B, ITU-T SG 15 and ITU-D SG 2 Question 14/2 - The study of mobile access systems providing communications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	1A/150 1B/99	90 (Rev. 1)
WP 1B WP 5B WP 5C WP 5D	Liaison statement to Working Party 1B - On the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to WPs 5B, 5C and 5D)	1B/96 5B/295 5C/221 5D/457	125 (Rev. 1)
WP 4A	Liaison statement to WP 4A - Compatibility of broadband wireless access networks and fixed-satellite service networks in the 3 400-4 200 MHz band	4A/201	109 (Rev. 1)
WP 4A WP 5C WP 6B	Liaison statement to Working Party 4A on WRC-11 Agenda item 1.13 (copy to WP 5C and WP 6B)	4A/206 5C/222 6B/112	114 (Rev. 1)
WP 4C	Liaison statement to WP 4C - WRC-11 Agenda item 1.18	4C/255	106
WP 4C	Liaison statement to WP 4C - WRC-11 Agenda item 1.25	4C/254	120 (Rev. 1)
WP 5B	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5B/290	87

Liaison to	Title/Subject	Document number	Source: 5A/TEMP /...
WP 5B	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5B/292	108 (Rev. 1)
WP 5B WP 5C	Liaison statement to WP 5B copy to WP 5C – WRC-11 Agenda item 1.14	5B/219 5C/218	119 (Rev. 1)
WP 5C	Liaison statement to WP 5C – Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility and sharing between stations of fixed and/or land mobile services with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries	5C/220	107 (Rev. 1)
WP 7B	Liaison statement to Working Party 7B – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55-23.15 GHz (WRC-11 Agenda item 1.11)	7B/132	[92]

Liaison to	Title/Subject	Document number	Source: 5A/TEMP /...
ITU-D SG 2 CCV	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 (copy to CCV) – Draft list of terminology on emergency telecommunications	See Section 4.1 below	98
ITU-D SG 2	Liaison statement to ITU-D Study Group 2 Question 22/2 on draft new Question on amateur service temporary operation in other countries [AM-TEMP OP]	See Section 4.2 below	115
ITU-T SG 2	Liaison statement to ITU-T Study Group 2 – Draft ITU-T Recommendation on requirements for land mobile alerting broadcast capabilities for civic purposes	See Section 4.3 below	97

ITU-T SG 15 WP 5D	Liaison statement to ITU-T SG 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 5D)	5D/460	118
ITU-T SG 12 ITU-T SG 15 ITU-T SG 16 WP 6B	Liaison statement to ITU-T Study Groups 12, 15 and 16 on the development of a draft new Recommendation on performance and availability requirements and objectives for wireless access systems (copy to WP 6B for information)	6B/109	102
TSB	Note to the Director, Telecommunication Standardization Bureau - Fully networked car workshop	See Section 4.4 below	113

ITU-R SG5 WP5A 第2回会合 日本代表団

	氏名	所属
団長	西室 洋介	総務省総合通信基盤局電波部移動通信課係長
	荒木 正治	ドコモ・テクノロジー(株) 知的財産部 担当部長
	小川 博世	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
	岡 誠一	(社)日本アマチュア無線連盟 総務部 部長付 (国際問題担当)
	小山 敏	(株)日立製作所トータルソリューション事業部 道路交通システム部 担当部長
	樫木 勘四郎	(株)KDDI研究所 コグニティブ無線G 主幹研究員
	上村 治	(株)ウィルコム 電波企画部 課長
	小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門 標準化推進グループ
	酒井原 邦彦	パナソニック株式会社(株) システムソリューションズ社 先行 技術センター コア技術開発グループ ネットワーク技術チー ム 主任技師
	橋本 明	(株)NTTドコモ 無線標準化推進室長
	村上 誉	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター ユ ビキタスマバイルグループ 主任研究員
	山崎 高日子	三菱電機(株) 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略 事業推進グループ 専任
	山本 俊明	(株)国際電気通信基礎技術研究所 適応コミュニケーション研究 所 自律システム研究室 研究員
	吉野 仁	ソフトバンクモバイル(株) 技術統括 研究本部 ワイヤレスシス テム研究センター 担当部長

ITU-R SG5 WP5B(第3回)会合報告書(案)

1 WP5B

1.1 所掌

WP5Bは、国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第5研究委員会(SG5:陸上・海上・航空移動業務、無線測位業務、アマチュア・アマチュア衛星業務、固定業務)の1作業部会であり、無線測位業務、航空移動業務及び海上移動業務を扱っている。

1.2 会議の概要

- (1) WP5B第3回会合は、2009年5月19日(火)から5月28日(木)までの8日間、スイス国ジュネーブのITU本部において開催された。本会合には、40以上の主管庁、3つのSIO、3つのROA、3つの地域国際機関及び3つの国連専門機関から、全200名以上が参加、日本からは表1に示す17名が出席した。
- (2) WP5B議長は、Mr. J. Mettrop(英)が担当し、表2に示す3つのWG(5B1、5B2、5B3)及び1つのAd-hocグループを設置し、165件の寄与文書(前回会合からの継続文書8件、5B/175 Annex1-42, 5B/176-290)について審議を行い、改定勧告草案3件、エディトリアル勧告修正5件及び新レポート草案1件の全9件をSG5へ送付した。
- － 改定勧告草案3件: ITU-R M.1730, M.493-12, M.585-4
 - － エディトリアル勧告修正5件:
 - SG5議長から提出されたMシリーズ勧告(M.1177-3, M.1179, M.1460-1, M.1461-1, M.1796)の修正。
 - ※ M.629は、次回WP5B会合で詳細チェックを実施後にSG5へ送付。
 - － 新レポート草案1件: ITU-R M. [FMBC-AM(R)S]
 - リエゾン文書13件を他のWP及び組織あてに送付した。更に次回WP5Bでの草案文書40件(WP5B所管の7つのWRC-11議題のCPMテキスト、作業計画及び日程を含む。)の出力文書を作成した。
 - SG5議長から提出されたMシリーズ勧告リスト(M.1177-3, M.1179, M.1460-1, M.1461-1, M.1796)の見直しについて承認。M.629は次回会合で詳細チェックを実施。
- (3) 覚書(情報)としての寄与文書は、次の9文書のとおり。
Doc. 5B/179, 180, 181, 187, 192, 199, 205, 207, 208
- (4) WP5Bの長期作業日程表は、関連WPでの改正がされなかった。
- (5) コレスポネンスグループ及び他グループとのリエゾンラポーターは次のとおり。

Group	Convenor
Radar WG	Mr. David Reed (米)
Aeronautical WG	Mr. Hugues De Bailliencourt (仏)
Maritime WG	Mr. Stephen Ward (米)
Radar unwanted emissions	Ms. Lisa Clark (加)
Report/Recommendation maintenance	Mr. Martin Weber(独)

WP 6A

Mr. John Shaw (英)

IEC-TC80 on test standards for GMDSS equipment

Mr. Kim Fisher (英)

IALA

Mr. Alan Stewart (英)

(6) キャリーオーバーされた文書は次のとおり。

8B/641 Annex8, 5/87, 5B/147, 149, 175(Annex1, 5, 14, 34), 185, 203, 204, 231, 235, 236, 257, 258, 260, 275, 277, 280

(7) WP5Bから無線通信局に対し、Share Pointの導入について謝辞が伝えられ、さらに関連議長の許可無く暫定作業文書が書き換えられないような構成管理が必要である旨が示された。

なお、表9に入力文書一覧、表10に出力文書一覧を示す。

表1 日本からの出席者

氏名	所属
広瀬 毅	総務省 総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課 国際係長
橋本 明	(株)NTTドコモ 無線標準化推進室長
小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門標準化推進グループ
古川 恵太	国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 海洋環境研究室長
高山 知司	(財)沿岸技術研究センター 理事
川崎 栄久	(財)沿岸技術研究センター 調査部 研究員
藤井 智史	琉球大学 工学部 教授
永松 宏	国際航業(株) コンサルタント事業本部 河川・環境事業部 海洋情報室
藤田 裕一	長野日本無線(株) 基盤技術本部 無線応用技術部 主任
岩間 美樹	(独)情報通信研究機構 電磁波計測研究センター EMCグループ 主任研究員
北沢 弘則	(株)K&A スペクトラムインテグレーション 代表取締役社長
木佐貫 郁朗	新日本無線(株) マイクロ波事業部 事業部長
三留 隆宏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 公共・社会システム本部 公共システム部 主任技師
辻 宏之	(独)情報通信研究機構 第一研究部門 新世代ワイヤレス研究センター 宇宙通信ネットワークグループ 主任研究員
森崎 孝行	(独)情報通信研究機構 第一研究部門 新世代ワイヤレス研究センター 宇宙通信ネットワークグループ 専攻研究員
田北 順二	日本無線(株) 海上機器事業部 海上機器技術部 部長

宮寺 好男	日本無線(株) 海上機器事業部 船用通信グループ主任
-------	----------------------------

表2 WP5Bの審議体制

グループ	担務内容	議長
WP5B	無線測位業務、航空移動業務、海上移動業務	Mr. J. Mettrop(英)
WG5B1	無線測位業務	Mr. D. Reed(米)
DG5B1a	・WRC-11議題1.14関連 30-300MHz宇宙デブリ用レーダー周波数割当	Mr. T. Kadyrov (露)
DG5B1b	・WRC-11議題1.15関連 海洋レーダーの3-50MHzの周波数割当	Ms. L. Clark (加)
DG5B1c	・WRC-11議題1.21関連 15.4-15.7GHz帯無線標定業務一次割当	Mr. M. Lemke(米)
	・レーダー不要輻射に係るRG議長の報告 ・関連議長報告案 ・暫定新勧告案の見直し	Ms. L. Clark (加)
WG5B2	航空移動業務	代理 : Mr. T. Jacob (独) (Mr. Hugues De Bailliencourt (仏))
DG5B2a	WRC-11議題1.4関連その他 112-117.975/960-1164/5000-5030 MHz帯における新たなAM(R)S の利用 87-108 MHz付近の音声放送業務と108-137 MHz帯の新航空業務との両立性	Mr. E. Allaix (仏)
DG5B2b	WRC-11議題1.3関連 無人航空機システム(UAS)のスペクトラム要求	Mr. M. Lewllen (米)
DG5B2c	WAICその他	Mr. J. C. Brien(加)
WG5B3	海上移動業務	Mr. S. Ward (米)
DG5B3a	・WRC-11議題1.9関連 HFデータ通信の導入のためにHF帯周波数分配(RR 附録第17)の見直し ・WRC-11議題1.10関連 船舶及び港湾の安全性向上のための規則と周波数分配の検討	Mr. S. Ward (米)
DG5B3b	AIS及びVHFデータ通信関連	Mr. Kim Fisher (英)
DG5B3c	ITU 刊行物関連	Mr. S. Ward (米)
DG5B3d	DSC関連及びその他	Mr. Calinciuc Aurelian Sorinel(ルーマニア)
Ad-hoc	ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS)	Mr. J. Conner (米)

2 審議の内容

2.1 WG5B1（無線測位業務関係）

WG5B1はMr. M. Lemke 氏（米）が担当し、全体会合を3回開催。WRC-11議題関連の案件は3件(議題1.14, 1.15, 1.21)。扱った入力文書は全50件。出力文書は全18件でSG5会合への提出文章2件、次回会合への繰越文章7件、CPM Text関連の承認後繰越文章4件、承認文章5件。WG5B1では主要事項の検討を行うため、3つのSWGを立上げ、表3に示す議長の下で審議を行い出力文書を作成した。

表3 WG5B1の主要事項の審議体制

グループ	主要事項	議長
SWG5B1a	・WRC-11議題1.14関連 30-300MHz宇宙デブリ用レーダー周波数割当	Mr. T. Kadyrov（露）
SWG5B1b	・WRC-11議題1.15関連 海洋レーダーの3-50MHzの周波数割当	Ms. L. Clark（加）
SWG5B1c	・WRC-11議題1.21関連 15.4-15.7GHz帯無線標定業務一次割当	Mr. M. Lemke（米）
	・レーダー不要輻射に係るRG議長の報告 ・関連議長報告案 ・暫定新勧告案の見直し	Ms. L. Clark（加）

入力文書： Doc.8B/641 Annex8, Doc.5B/45 (Annexes1, 7), 100, 124, 127, 131, 175 (Annexes 2, 6, 7, 8, 9, 26, 27, 28, 29, 30, 31), 176, 178, 182, 184, 187, 194, 195, 197, 198, 201, 203, 204, 216, 220, 221, 222, 223, 224, 226, 228, 229, 230, 235, 236, 237, 238, 239, 250, 251, 252, 253, 254, 256, 257, 258, 259, 262, 271, 272, 280, 281, 285, 286

出力文書： Doc.5B/TEMP/105, 106, 107, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 138, 139, 140, 141

2.1.1 30-300MHz宇宙デブリ用レーダー周波数割り当て関連(DG5B1a)

本件はWRC-07において、WRC-11議題1.14とすることが承認されたもので、議題の内容は、30-300MHz帯宇宙デブリ観測レーダー用無線標定業務の周波数割当について検討すること。

今回、DG5B1a議長のMr. T. Kadyrov（露）のもと、10件の入力文書について審議を行い、最終的に4件の出力文書を作成した。

入力文書： Doc.5B/175 (Annexes 2, 9, 26, 27), 176, 182, 220, 221, 222, 223, 224, 226, 271

出力文書： Doc.5B/175 Annex26, 5B/TEMP/117, 118, 120

5B/175 Annex 27 について、露提案 5B/220 をもとに作成した WRC-11 議題 1.21 改定内

容の作業文書 (5B/TEMP/120)が承認され、次回会合にキャリアフォワードされた。

138-144MHz帯と154-156MHz帯の共用検討の分割調査について、露提案5B/222、5B/224、5B/226と仏提案5B/271をDGでマージし、DNR ITU R M.[RLS 30-300 MHz SHARING] (5B/TEMP/118)を作成した後、次回WP5B会合にキャリアフォワードされた。両周波数帯における移動業務の保護基準値として、ITU-R勧告M.1808に示される12dB(μ V/m)を採用する旨の露提案のリエゾン案(5B/221)もDGで審議されたが、最終的には合意されなかった。

5B/175 Annex2 について露提案 (5B/223) をもとに PDRR ITU-R M.1802 (5B/TEMP/117)を作成し、次回WP5B会合にキャリアフォワードされた。

2.1.2 海洋レーダー周波数割当関連(DG5B1b)

本件はWRC-07において、3-50MHz帯における海洋レーダーに対する周波数分配要求をWRC-11議題1.15とすることが承認されたもの。

第3回WP5Bでは、(1)作業計画(ワークプラン)及びマイルストーン、(2)検討優先周波数帯、(3)CPMテキスト(案)、(4)レーダー特性および保護基準の暫定新報告案、(5)共用条件の暫定新報告案 (6)関連WPとのリエゾンについて検討・審議が行われた。

今回は21件の入力文書について審議が行われ、8件の文書が出力された。

表4にWRC-11議題1.15関連文書を掲載。

入力文書:

Doc.5B/175 Annex28, 253(米): ワークプラン及びマイルストーン
Doc.5B/175 Annex6, 254(米), 272(仏+英): 検討優先周波数帯
Doc.5B/256 (米), 281 (仏): CPMテキスト(案)
Doc.5B/175 Annex8, 229 (UAE), 259 (米): レーダー特性および保護基準
Doc.5B/175 Annex6, 235 (日), 236 (日), 237 (日), 257(米), 258 (米), 280 (仏):
共用条件
Doc.5B/285(WP6Aから返答), 286(WP6Aから返答), 238 (日), 239 (日): リエゾン

出力文書:

Doc.5B/TEMP/138: ワークプランおよびマイルストーン
Doc.5B/TEMP/121: 共用検討の優先周波数帯
Doc.5B/TEMP/140: CPMテキスト(案)
Doc.5B/TEMP/139: レーダー特性および保護基準
Doc.5B/TEMP/116: 共用条件
Doc.5B/TEMP/106, 107, 119: リエゾン

審議の詳細は下記(1)から(6)に示す。共用検討の優先周波数帯(5B/TEMP/121)及び共用条件(5B/TEMP/116)については、今後さらなる検討が必要であり、次回WP5Bへキャリアフォワードされた。

なお今回の会議から、30MHzを超える帯域が短波でないことから、「短波海洋レーダ HF Oceanographic Radar」は、単に「海洋レーダー(Oceanographic Radar)」と呼称されることになった。

表4 WRC-11 議題1.15関連文書

分類	WRC-07	WP5B(第3回)
----	--------	-----------

		入力	出力	議長報告
1 作業計画(ワークプラン)及びマイルストーン	決議第 602	5B/128 (仏) 5B/253 (米)	5B/TEMP/138	5B/296 (Annex 28)
2 検討周波数優先度	研究課題 ITU-R 240/8	5B/127(仏) 5B/254 (米) 5B/272 (仏+英)	5B/TEMP/121	5B/296 (Annex 17)
3 CPMテキスト案		5B/256 (米) 5B/281 (仏)	5B/TEMP/140	5B/296 (Annex 29)
4 レーダー特性および保護基準		5B/229 (UAE) 5B/259 (米)	5B/TEMP/139	5B/296 (Annex 3)
5 共用条件		5B/131 (米) 5B/236(日) 5B/257 (米) 5B/235 (日) 5B/237 (日) 5B/258 (米) 5B/280 (仏)	5B/TEMP/116	5B/296 (Annex 8)
6 リエゾン		5B/286(WP6A) 5B/239 (日) ⇒5B/77(WP3L) への返答 5B/TEMP/119 ⇒WP6A へのリエゾン 5B/TEMP/107 ⇒WP5C へのリエゾン	5B/TEMP/106 ⇒5B/77(WP3L) への返答 5B/TEMP/119 ⇒WP6A へのリエゾン 5B/TEMP/107 ⇒WP5C へのリエゾン	—
		5B/285(WP6A)	5B/TEMP/119 ⇒WP6A へのリエゾン	—

[斜体はWP2からWP3へキャリアフォワードされた文書]

(1) 作業計画(ワークプラン)及びマイルストーン

前回WP5Bで提出されたWRC-11議題1.15の作業計画及びマイルストーン(5B/175 Annex28)の修正提案。米国寄与文書(5B/253)を元に、作業計画の読み安さなどを勘案し、作業計画項目の修正・整理が行われた。また第2回WP5Bの進捗に併せて、第3回WP5B以降のマイルストーンが修正された(あと2回のWPでCPMテキストの完成を目指すもの)。

WP5B議長報告に含め、キャリアフォワードすることとなった。

入力文書: Doc.5B/175 Annex28(仏、WP5B2キャリアフォワード), 253(米)

出力文書: Doc.5B/TEMP/138

(2) 検討周波数優先度

前回WP5Bでは共用条件検討を行う周波数の優先度を3つにカテゴリ分けした(5B/127(仏))。今回、米国(5B/254)、フランス+イギリス(5B/272)は、3カテゴリに各無線業務を分類して、検討すべき帯域を提示してきたものである。DG議長の要請により、米と仏でカテゴリ分類がマージされ、以下に示すものとなった。

- カテゴリA(共用検討をするもの):
 - ◇ 固定業務、移動業務、
- カテゴリB(無線評定業務を導入できそうであるが共用が困難に見えるもの):
 - ◇ アマチュア業務、放送業務、電波天文業務
- カテゴリC(無線通信の安全のために共用ができないもの)
 - ◇ 海上業務、航空業務、標準周波数報時業務

共用条件検討を行う対象サービスは、固定、陸上移動が最優先と審議された。共用条件検討を行う周波数の優先度は、さらなる検討が必要とされ次回WP5B会合にキャリアフォワードされた。

入力文書: Doc.5B/254(米), 272(仏+英)

※ 前回WP5B2でキャリアフォワードされた5B/127 (仏)は、5B/272(仏)で置き換えられた。

出力文書: Doc.5B/TEMP/121

(3) CPMテキスト案

5B/256(米)及び5B/281(仏)を元に、1台の海洋レーダーに要求される帯域幅(FMCWレーダーでの掃引周波数幅は、低周波帯域4.5MHz, 9MHz, 13MHz, 16MHzではバンド幅2*50kHz、高周波数帯域27MHz、42MHzではバンド幅2*150kHz、2*500kHzとした。また対象周波数は、4.5 MHz±1 MHz, 9 MHz±1 MHz, 13 MHz±1 MHz, 16 MHz±1 MHz, 27 MHz±3 MHz, 45 MHz±4 MHzとなった(45 MHz±4 MHzはフランス、日本からの要望による)。

また、フランスから許容I/N比+6.5dBのとき、地上波では最小隔離距離が4.5MHzで115km, 9MHzで57km, 13MHzで46km, 16MHzで30km, 27MHzで25km, 45MHzで20km未満となることが示された。また上空波では、許容I/N比+6.5dBを超えるのは、9MHzの場合のみで、最悪のシナリオの場合で、その発生時間割合は13.3%との検討結果が報告され、出力文章に反映された。5B/237(日)にもとづき、日本の指向性レーダーの共用検討例が反映された。

入力文書: Doc.5B/256(米), 281(仏)

出力文書: Doc.5B/TEMP/140

(4) レーダー特性および保護基準

PDNR ITU-R M.[HF-RADAR] に向け、WP2議長報告5B/175 Annex8の修正という位置づけである。『HF海洋レーダー』が『海洋レーダー』に修正されたほか、5B/236(日)にもとづき、日本の指向性アンテナの特性としてアンテナパターン例を反映させた。今後、レーダーの特性表の精査(特にアンテナ利得など)し、共用条件検討に必要な情報を横並びで整理する必要がある。

なおアラブ首長国連邦からSystem5(40-44MHz)、バンド幅720kHzの海洋レーダー運用例(5B/229)の報告があったが、情報提供のみにとどまったため出力には反映されなかった。

入力文書: Doc.5B/229(アラブ首長国連邦), 259(米)

出力文書: Doc.5B/TEMP/139

(5) 共用条件

共用検討の原案であり、米国案を元に修正。今後さらなる検討が必要であり、共用条件(5B/TEMP/116)は次回WP5Bへキャリアフォワードされた。

入力文書: Doc.5B/235 (日), 236 (日), 237 (日), 257 (米), 258 (米), 280 (仏)

※ 前回WP5B2でキャリアフォワードされた5B/131 (米)は、5B/257(米)に置

き換えられた。

出力文書: Doc.5B/TEMP/116

(6) リエゾン文書

5B/238(日)は、共用検討手法に関する5Cへのリエゾン(5B/TEMP/107)に、WP5Bでの検討例として反映された。なおすべてのサービスについて照会するのは、5B/TEMP/107の返事待ちの状況が考慮され、時期尚早と判断された。

また5B/239(日)は、GRWAVEの指向性アンテナへの適用に関する3Lへのリエゾン(5B/TEMP/106)として反映された。さらにWP6Aに5Bにおける検討状況の報告のリエゾンとして5B/TEMP/119 が出力された。

入力文書: Doc.5B/ 238, 239

出力文書: Doc.5B/TEMP/106, 107, 119

2.1.3 15.4-15.7GHz帯での無線標定業務への一次分配関連(DG5B1c)

本件はWRC-07において、WRC-11議題1.21とすることが承認されたもので、議題の内容は、15.4-15.7GHz帯での無線標定業務への一次分配について検討すること。

今回、Mr. M. Lemke(米)のDG5B1cで6件の入力文書について審議を行い、3件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc. 5B/187, 195, 230, 250, 251, 252

出力文書: Doc.5B/TEMP/122, 124, 123

5B/187は、CPM-11議長からのWRC-11に向けたCPM報告書(案)の第2回日程及び報告書の提出期限に関する連絡。審議中のコメントなし。

5B/195及び5B/230は前会合でWP7D及びWP4Aに送付したリエゾン(5B/TEMP/61, 62)の回答で、5B/195は電波天文業務(RAS)の技術特性について、5B/230は固定衛星業務(FSS)の技術特性について記述。共に審議中の反論なしがノートされた。

5B/45 Annex1 について、米提案 5B/250 をもとに作成した DRR ITU-R M.1730 (5B/TEMP/122)を SG5 に提出する事が了承された。

前回の WP5B 議長報告書 5B/175 Annex7 について、米提案 5B/251 をもとに作成した PDNR ITU-R M.[RLS15.4-15.7GHz] (5B/TEMP/124)の作業文書が、次回 WP5B 会合にキャリアオーバーされた。

5B/45 Annex16 及び 5B/175 Annex31 について、米提案 5B/252 をもとに作成した WRC-11 議題 1.21 改定内容の作業文書(5B/TEMP/123)が承認され、次回 WP5B 会合にキャリアオーバーされた。

2.1.4 無線測位業務で運用されるレーダーの特性及び保護基準(課題226/8)

ウインドプロファイラーレーダー特性(WD-PDNR)

8B/641 Annex8については、今回も寄与文書がなく、次回WP5B会合へキャリアフォワードすることとした。

入力文書: Doc.8B/641 Annex8 (2003-2007会期)

出力文書: なし

2.1.5 1215 – 1300 MHz 帯レーダー 決議 608 (WRC-03), RNSS からのレーダ保護

露提案 5B/100 と米提案 5B/262 をもとに、PDNR ITU-R M.[RNSS-RDS]の作業文書を作成し次回 WP5B 会合にキャリアオーバーされた

入力文書: Doc.5B/45 Annex7, 100, 262

出力文書: Doc.5B/TEMP/115

2.1.6 20kHz未満の気象援助業務の検討(WRC-11議題1.16)に関するリエゾン回答

WRC-11議題1.16である「20 kHz 未満の周波数共用を含む雷の観測のための気象援助業務の検討」に使用するためのWP7Cからの9 kHz to 19.95 kHzで稼動しているサービスの技術特性情報提供に関するリエゾン文書5B/194に対して、露提案 5B/228をもとに回答文書(5B/TEMP/125)を作成し承認された。

入力文書: Doc.5B/194, 228

出力文書: Doc.5B/TEMP/125

2.1.7 無線標定関連のITU-R 勧告についての修正

組織改編などの変更を反映した修正案(5B/TEMP/141)を承認しSG5へ提出。

入力文書: Doc.5B/124

出力文書: Doc.5B/TEMP/141

2.1.8 一次レーダー不要輻射に係るラポーターグループ(RG)からの報告

レーダー不要輻射に係る RG 議長からの報告について、WP5B から WP1A へのリエゾン案(5B/TEMP/105)が承認された。

入力文書: Doc.5B/201

出力文書: Doc.5B/TEMP/105

ITU-R WP5B RG 第3回会合の内容等は次のとおり。

(1) 概要

2009年5月18、19日の2日間、スイスジュネーブのITUにおいてWP5B Rapporteurs Group 第3回会合が開催された。本会合はWP8B(WP5Bの前身)において終了となったJRG会合の後を受け、勧告ITU-R SM.1541-2 Annex8のDesign Objectiveについて検討を行う会合であり、

前回の第2回RG会合の結果をWP5BからオーナーであるWP1Aへ送付した後、WP1Aからのリエゾンを受けて行われた。

今会合への参加は米国、英国、フランス、ドイツ、オーストラリア、ロシアをはじめとする8カ国、約25名であった。日本からは総務省電波部衛星移動通信課国際係の広瀬 毅、独立行政法人情報通信研究機構の岩間美樹、新日本無線株式会社の木佐貫郁朗、株式会社K&Aスペクトラムインテグレーションの北沢弘則、計4名が参加した。

(2) 検討結果

今回は、RGの3回目の会合であり、WP1Aからのリエゾンを受けてWP5Bの直前に行われ、結果をWP5Bに入力してWP5BからWP1Aに報告(リエゾン)することである。具体的には、WP1Aからのリエゾンを受け、レーダーのカテゴリ毎に設計目標(Design Objective)の可能性について可否を決定し、ワークプランの詳細日程を報告することが今回の使命である。

議長はカナダの委員であるMs. Lisa Clarkであり、WP1AからのラポーターとしてMr. ABBASが参加している。

RG会合は都合5回行われ、

1. 入力文書(パルスマグネトロン周波数狭帯域化技術に関する入力文書(日本から入力)及びレーダーの分類に関する入力文書及び LFM パルスレーダーの輻射及び、波形によるレーダーの分類に関する入力文書)の確認とワークプラン(RG-2)の作成
2. レーダーカテゴリとそれぞれの B-40 帯域幅の計算式、ロールオフマスクの適合に関する一覧の作成とそれを含めた ITU-R 勧告 SM.1541 Annex8 の改訂
3. 次回会合のスケジュール検討

を行った。会合内容は

日本からの情報文書に対して、

UK: マリンレーダー用マグネトロンの改善結果をすべての無変調レーダーに適用することは困難。

航空機用のマグネトロンでは20dB/decadeが限界であるとのコメント有であった。

仏: マリンレーダー用マグネトロンの出力に比べて大きな出力を持つマグネトロン(100kW以上)に同じ改良技術を適用でき無い可能性があり(追加フィルタは100kW以上の場合異なる技術とコスト高を発生)考慮する必要があるとのコメントがあった。

FMCWレーダー方式について、前回から更に細かい分類を作成し、それぞれにB-40帯域幅の計算式を採用することがオーストラリアから提案されたが、結果として従来のITU-R勧告 SM.1541 Annex8 による区分に従ってB-40帯域幅の計算式を決定した。

前回同様にLFMパルス方式、FMCW方式に対する実測データが不足しており、抑制マスクに対するマージンをデータから検討できる状況ではない。

この状況下で、WP1Aラポーターから再三ロールオフマスクの数値の決定が必要であることが主張されたが、会議の中では一部のレーダーが-20dB/decadeマスクで限界であると殊更に強調され、-40dB/decadeマスクの採用に抵抗を示した。

このためオフラインでの議論(UK,独USA)が行われ、妥協案としてすべてのレーダー方式が-30dB/decadeの抑制マスクを採用することで合意に至った。

WP5Bにおいて承認された後、WP1Aへのリエゾンバックすることになる。

(3) RG議長報告

RG議長報告としてワークプラン等がWP5Bに提出され、そのRG議長報告が22日(金)のWP5Bプレナリーで承認された。これにより、WP5BからWP1Aへリエゾンバックする事となった。

(4) RG 今後の予定と動向

次回RG会合の開催は次回WP5B(2009年11月23日～12月04日の予定)の直前2日を予定。前回までと同様にWP1Aのメンバーが参加しており、技術的困難さや、さらなる検討の必要性を強調して決定を先送りするような意見に対して警告を発していた。

今回日本からは無変調パルスの代表的かつ主要な発振素子である船用レーダー用マグネトロンについて、技術的観点、量産的観点から-40dB/decadeの実現可能な資料を提出した。

すべてのレーダーシステムの中で狭帯域化に最も効果の上がるマグネトロンで-40dB/decadeが実現できることの重要性を証明したが、RGとしてDesign Objectiveの問いに対して明快な回答を作成するまでに至ることはできなかった。

-30dB/decadeという数字をすべてのレーダー方式に適用することを合意できたことは一定の進歩ではあるが、この内容で1Aが勧告SM.1541Annex8を改訂するかは現在までの検討経緯と1Aの対応から大いに疑問がある。

Design Objectiveが-40dB/decadeの可能性について検討を求めて7年の時間が経過している。このような状況下で-30dB/decadeがこのまま決定されるかは、次回の1A会合(2009年9月)の結果を見るまで樂觀できないところである。(最悪は1Aで-40dB/decadeに変更される可能性がある)

いずれにしても、最低でも-30dB/decadeの抑制マスクが2010年には勧告ITU-R SM.1541Annex8に盛り込まれ効力を発することは確実であり、2012年の既設を含めたすべてのレーダーに対する不要輻射規制を念頭に入れ、各部門での対応を検討することが必要である。

2.2 WG5B2 (航空移動業務関係)

WG5B2議長はMr. Torsten Jacob (独) が担当し、48件の入力文書について審議を行い、23件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/45 Annex8, 175 (Annexes 3, 4, 10, 11, 12, 13, 15, 16, 17,18, 19, 20, 21, 32), 147, 149, 177, 183, 184, 187, 193, 194, 196, 200, 203, 204, 205, 207, 209, 212, 215, 218, 225, 233, 234, 240, 241, 242, 243, 244, 245, 246, 247, 248, 249, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 273, 275, 279, 282, 284, 287, 288

出力文書: Doc.5B/TEMP/108, 109, 113, 130 (111, 112の統合により作成された), 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 144, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159

なお、WG5B2では主要事項の検討を行うために、3つのサブワーキンググループ(SWG)を立上げ、表5に示す議長の下で審議し出力文書を作成した。

表5 WG5B2の主要事項の審議体制

グループ	主要事項	議長
SWG5B2a	航空移動(R)業務(AM(R)S)関連 WRC-11議題1.4	Mr. E. Allaix(仏)
SWG5B2b	無人航空機システム(UAS)関連 WRC-11議題1.3	Mr. M. Lewllen(米)
SWG5B2c	無線航空機内通信(WAIC)関連その他	Mr. J. C. Brien(加)

上記のSWGで審議された以外の文書(5B/184, 194, 203, 204, 207)は情報文書扱いであり、特段のコメントもでなかったため、WG5B2ではノートするのみとした。

2.2.1 航空移動(R)業務(AM(R)S)関連(SWG5B2a)

本件はWRC-07において、新たなAM(R)Sシステム導入のための検討を、WRC-11議題1.4とすることが承認されたもの。議題の内容は、決議第413(WRC-07改)「AM(R)Sによる108-117.975MHz帯の使用」、決議第417(WRC-07)「AM(R)Sによる960-1164MHz帯の使用」及び決議第420(WRC-07)「AM(R)Sの空港内地上アプリケーションのための5000-5030MHz帯の検討」により、新たなAM(R)Sの利用について検討すること。

今回、AM(R)S関連では、17件の入力文書について審議を行い、11件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175(Annexes 11, 12, 13, 15, 16, 17, 20, 21), 187, 193, 196, 209, 215, 225, 244, 245, 246, 247, 268, 269, 270, 282, 284, 288

出力文書: Doc.5B/TEMP/113, 130(111, 112の文書が統合されて作成された), 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 151, 158

WRC-11議題1.4の作業計画については、寄与文書はなかったが、必要な修正が行われて5B/TEMP/151として出力された。

下記の(1)から(3)の審議を反映して、WRC-11議題1.4のCPMテキスト案が5B/TEMP/158として出力された。5GHz帯の周波数需要検討結果に関する事項は合意が得られていないため[]付とし、次回会合で結論を出す方向で審議することとなった。5GHz帯の周波数需要検討の結果として5000-5030MHz帯のAM(R)Sが不要との結論になれば関連した両立性検討は不要になるため、両立性検討に関する記述も[]付として扱いを次回会合にて議論することとなった。

(1) VHF帯

決議413(WRC-07改)において、108-117.975MHz帯AM(R)Sと隣接周波数帯域の放送システムとの両立性検討が要求されている。

VHF帯における両立性検討においては、決議413(WRC-07改)でカバーされていない部分があり、この部分の研究を行うために前回WP5Bにて新研究課題案[COMPAT-VHF]が承認されSG5へあげられたが、採択されずWP5Bへ差し戻し(SG5議長からのノート5B/193参照)になって

いる。

決議413(WRC-07改)でカバーされている部分と、されていない部分の関係が複雑なため、WG5B2議長が次の表6を作成した。

表6 Overview on compatibility issues between broadcasting and both ARNS and AM(R)S in the VHF bands around 108 MHz

	Analog broadcast below 108 MHz (ITU-R BS.412 and ITU-R BS.415 refer)	Digital broadcast below 108 MHz (ITU-R BS.1114 refers)
ARNS 108 – 117.975 MHz	Status: All compatibility issues have been addressed (ITU-R SM.1009 and ITU-R SM.1140 refer)	Status: No compatibility criteria exists (Res. 413 <i>noting d</i>) Outside the scope of Res. 413 Issues to be addressed under DNQ ITU-R [COMPAT-VHF]
AM(R)S ground based system (GBAS), no aircraft transmissions 108 – 117.975 MHz	Status: All compatibility issues have been addressed (Res. 413 (<i>recognizing d</i>) and ITU-R M.1841 refer)	Status: No compatibility criteria exists (Res. 413 <i>noting d</i>) Res. 413 <i>invites ITU-R (2)</i> to study any compatibility issue between digital BC and AM(R)S in the band 108 – 117.975 MHz
AM(R)S with aircraft transmissions 112 – 117.975 MHz	Status: No compatibility criteria exists (Res. 413 <i>noting c</i>) Res. 413 <i>invites ITU-R (1)</i> to study any compatibility issue between BC and AM(R)S in the band 112 – 117.975 MHz	Status: No compatibility criteria exists (Res. 413 <i>noting d</i>) Res. 413 <i>invites ITU-R (2)</i> to study any compatibility issue between digital BC and AM(R)S in the band 108 – 117.975 MHz
AM(R)S above 117.975 MHz	Status: All compatibility issues have been addressed (ITU-R SM.1009 refers)	Status: No compatibility criteria exists Outside the scope of Res. 413 Issues to be addressed under DNQ ITU-R [COMPAT-VHF]

上記の内容がWP5Bプレナリーでも口頭で説明されたが、シリア等が「研究課題がなくともWRC関連事項として審議して必要なレポート等を出力すればよい」として新研究課題の作成を認めなかったため、新研究課題は作成しない方向とした。その後のWG5B2の議論で、念のため新研究課題案をWP5B議長報告内にキャリアフォワードし、次回会合までに新研究課題なしで必要な研究を行うことができるかを再度検討することを議長報告のテキストにつけることとした。また、この関連の新レポート草案に向けた作業文書[COMPAT-VHF]は、特段の寄与文書はなかったものの審議によって修正が行われ、作業文書のステータスのまま5B/TEMP/131として出力された。

また、WP6Aへの連絡文書返信(5B/TEMP/134)が作成され、5B/TEMP/131が添付された。この連絡文書作成にあたっては、この両立性検討をWP5Bで継続するのかWP6Aへ委ねるのかの議論があった。最終的に連絡文書においては、回章CA/180の4.1章に示されているようにWP6Aが放送業務の担当とのため、SG6にてレポートが採択・維持されるとのWP5Bの見解が示され

た。

入力文書: Doc.5B/175 Annexes 12, 193, 284

出力文書: Doc.5B/TEMP/131, 134

決議413(WRC-07改)に関連するDraft New Reportが、5B/TEMP/130として出力され、SG5へあげられることとなった。これは、プレナリーの審議において下記に示す5B/TEMP/111と5B/TEMP/112を統合する方針が出され、編集作業の後に5B/TEMP/130として出力されたもの。112-117.975MHz帯AM(R)Sと隣接周波数帯のFM放送は共存可能との結論になっている。

WG5B2及びSWG5B2aの審議において、WP6Aからの連絡文書5B/282に、WP5Bで作成した新レポート草案M.[AMRS-VHF]に向けた作業文書(5B/175 Annex15)に必要な検討(112-117.975MHz帯AM(R)SからFM放送への干渉検討)は全て含まれていることを確認したとのWP6Aの見解が入力されたことに基づき、新レポート草案としてプレナリーに提出(5B/TEMP/112)し、プレナリーにて内容的に新レポート案として妥当との合意が得られ、新レポート案としてSG5へ上げられることになったもの。同様にFM放送から112-117.975MHz帯AM(R)Sへの干渉検討についても、新レポート草案M.[VHF-AM(R)S]に向けた作業文書(5B/175 Annex13)がそのまま新レポート案(5B/TEMP/111)とすることが妥当としてプレナリーで合意が得られた。

入力文書: Doc.5B/175 (Annex13, 15), 282

出力文書: Doc.5B/TEMP/130 (5B/TEMP/111と112を統合),

(2) 1GHz帯

オランダ(CEPT代表)からの寄与文書5B/215にて、960-1164MHz帯AM(R)SのシステムとしてICAOで検討中のL-DACS1とL-DACS2の特性、及びL-DACS1及びL-DACS2とARNSとの間の共用検討、及びL-DACS1及びL-DACS2から隣接帯域の1164-1215MHz帯のRNSSへの干渉検討結果が入力された。

ロシアからの寄与文書5B/225にて、ロシアのARNSシステム(non-ICAOシステム)に対してAM(R)Sと共用検討を行った結果が入力された。フランスからも寄与文書5B/268にてnon-ICAOシステムのARNSシステムとAM(R)Sと共用検討結果が入力された。いずれの検討結果も、AM(R)S局とARNS局との間に数百kmの隔離距離が必要との結論となっており、共用は周波数計画に依存するとの結論となっている。

これらオランダ、ロシア及びフランスの入力を反映して、新レポート草案ITU-R M.[AM(R)S_1GHz_SHARING]に向けた作業文書が5B/TEMP/132として出力された。

また、WP4CへWP5B内における両立性検討の状況を連絡する連絡文書を5B/TEMP/133として出力し、5B/TEMP/132が添付された。

入力文書: Doc.5B/225, 268

(3) 5GHz帯

決議420(WRC-07)では、5GHz帯のAM(R)Sの周波数需要を検討し、WRC-07にて新規分配がなされた5091-5150MHz帯においてAM(R)Sの周波数需要が満たされないことが明らかになった場合には5000-5030MHz帯における共用・両立性検討によりAM(R)Sの新規周波数分配の可能性を検討することとなっている。

周波数需要について、5B/245(米)と5B/269(仏)から、それぞれ5GHz帯のAM(R)S周波数需要が100-110MHz、32.37MHzと異なる検討結果が示され、議論となった。この2つの検討は同一の検討方法を用いているが、米国がVideo streaming等の固定アプリケーションを入れているのに対し、フランスの検討は固定アプリケーションは入れずに移動アプリケーションのみとしており、この前提条件の違いが周波数需要検討結果の違いとなっている。フランスの検討結果に対しては、ニュージーランド、ドイツが「固定アプリケーションはAM(R)Sという移動分配を使用すべきでない」と支持をした。イランの提案により、両者の検討を併記し、相違点を明確にした文書を取りあえず出力(5B/TEMP/135)し、次回会合にて議論を継続することとした。

米国から、5B/246にて5000-5010MHz帯のAM(R)Sの両立性検討を行った新レポート草案、及び5B/247にて5010-5030MHz帯のAM(R)Sの両立性検討を行った新レポート草案が入力された。上記の周波数需要の議論に関連し、5GHz帯AM(R)Sの周波数需要がWRC-07で分配された5091-5150MHz帯で満たされれば、これら2つのレポートは不要になることがノートされた。WP4Cからの連絡文書5B/288にて5GHz帯RNSSの最新パラメータが入力されているが、米国からの入力にはこの最新パラメータは反映されていない。米国は「RNSSパラメータが固まっておらずその都度変更されるため、最悪ケースを仮定して検討を行った」と言及したが、ドイツから「次回WP4CへGalileoの最終のパラメータを入力する予定であり、それは連絡文書で次回のWP5Bへ入力される」と説明があった。5B/288のコンタクトパーソンの日本から「米国の検討ではapportionmentが考慮されていない」「2つのレポートに分割しているが、5000-5010MHz帯のアップリンクと5010-5030MHz帯のダウンリンクを折り返してトータル評価しないと干渉評価できないRNSSのフィーダーリンク回線もあり、検討に抜けがある」とコメントした。これらのコメントについては、これら新レポート草案をWP4Cへ送付し、WP4Cから連絡文書にてコメントをもらうこととして、今回WP5Bでは詳細議論は行わないこととした。これらのレポートは5B/TEMP/113(5000-5010MHz帯)及び136(5010-5030MHz帯)として出力された。

上記の5B/TEMP/135, 113, 136はWP4Cへの連絡文書返信(5B/TEMP/137)に添付され、WP4CへWP5B内での検討状況の情報提供がなされている。

また、ICAOからの入力5B/209によって、5030-5150MHz帯におけるMLS (Microwave Landing System)の5000-5030MHz帯への不要放射に関する情報提供がなされた。WP4Cへも平行して入力されており、関連検討は既にWP4Cで行われているためノートのみがなされた。

(4) その他

マイクロランディングシステム(MLS)の不要輻射技術関連
情報としてノートされた。

入力文書: Doc.5B/209

出力文書: なし

2.2.2 無人航空機システム(UAS)関連(SWG5B2b)

本件はWRC-07において、UASの運用に関する周波数分配要求をWRC-11議題1.3とすることが承認されたもの。議題の内容は、決議421(WRC-07)「無人航空機システムの運航についての適切な規制上の規定の措置」により、UASの安全な運用を支えるための周波数帯とその必要帯域幅を含む規定について検討すること。

今回、UAS関連では、16件の入力文書について審議を行い、4件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175(Annexes 10, 18, 19), 147, 149, 187, 218, 233, 234, 241, 242, 243, 263, 266, 267, 273, 275, 279

出力文書: Doc.5B/TEMP/152, 155, 156, 159

SWG5B2bにおいては、表5に示すDGが組織され、各事項を審議した。

表7 SWG5B2bの主要事項の審議体制

グループ	主要事項	議長
DG5B2b1	CPMテキスト案	Mr. Nellis (米)
DG5B2b2	衛星系	Mr. Weber (独)
DG5B2b3	周波数需要	Mr. Allaix(仏)

(1) CPMテキスト案

下記の(2)と(3)の審議を反映して、5B/242(米)と5B/279(仏)からの入力に基づき、WRC-11議題1.3のCPMテキスト案が5B/TEMP/156として出力された。

DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[UAS-BANDS]へ向けた枠組が出力文書TEMP/155として出力された。これは、5B/243(米), 267(仏)の2つの入力文書を合わせたものであり、UASの制御に必要な帯域(見通し内では33 MHz、見通し外では45 MHz)や候補周波数帯(960-1164MHz, 1525-1559MHz (space-to-Earth) / 1610-1660MHz (Earth-to-space), 5030-5091MHz)などが議論されたが、ロシアが内容に難色を示した。WG5B2の審議において、ロシアの提案により文書のタイトルの下に「2つの入力文書をあわせただけで内容は議論されていない」とのEdotor's Noteが付加された。

また、WRC-11議題1.3の作業計画として5B/TEMP/152を出力した。

入力文書: Doc.5B/175(Annexes 10, 18, 19), 147, 149, 187, 218, 233, 234, 241, 242, 243, 263, 266, 267, 273, 275, 279

出力文書: Doc.5B/TEMP/152, 155, 156, 159

(2) 衛星系

米国からの入力Doc. 5B/263は、作業文書の枠組みのみの提案であり、検討すべき項目が多いため、ノートとし、今後の入力を待つ。前回からキャリーフォワードされている文書5B/147,149 (AMS(R)S)は対象とする周波数がすでに衛星や航空に割り当てられているため、TEMP文書は作らず審議は継続されることとなった。したがって、衛星系については今回の出力文書は無し。

入力文書: Doc.5B/147, 149, 263

出力文書: 無し

(3) 周波数需要

米国からの入力文書 Doc.5B/275にて提案された DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[UAS-SENSE AND AVOID]に向けた作業文書は検討すべき項目が多く残っているため次回会合へCarried overされることとなった。

Preliminary Draft New Report ITU-R M.[UAS-SPEC]として5B/233(独), 234(独), 266(米), 273(仏)の入力文書等から作成された文書案はEditorialな修正後(Spot beam, Regional beamの定義等)、5B/TEMP/159として出力された。見通し内の地上系として34MHz、衛星系Spot Beamとして49MHz、及び衛星系Regional Beamとして169MHzの周波数需要が記載されている。

入力文書: Doc.5B/218, 233, 234, 241, 266, 273, 275

出力文書: Doc.5B/TEMP/152, 159

(4) その他

5A及び5Cにリエゾンを出すことは時期尚早であるため、今回は見送り。

2.2.3 無線航空機内通信(WAIC)及びその他関連(SWG5B2c)

今回、SWG5B2cでは、12件の入力文書について審議を行い、7件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/45(Annex 8), 175(Annex 32), 177, 183, 187, 200, 212, 240, 248, 249, 264, 265, 287

出力文書: Doc.5B/TEMP/108, 109, 149, 150, 153, 154, 157

(1) 無線航空機内通信(WAIC)

WAICとは、単一の航空機内に限り、2か所以上の短距離のコミュニケーションを提供し、飛行

乗組員、機体内(エンジン等)の無線センサーシステム等、航空機内に閉じた中での情報伝達に利用される無線システムで、空対空や空対地の情報伝達を目的としたシステムではない。

飛行の安全性や飛行無線技術等の利益のため、今後、無線周波数の効率的な使用を考慮に入れた保護評価基準を導くために、新研究課題が策定されており、研究が行われている。

WAICについて、欧州(ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、英国)、米国及びブラジルから入力があり、作業文書が改訂された。WAICは航空機内に限定されず、航空機によっては翼やエンジンに搭載されたセンサと航空機内との通信に用いられること等が追記された。また、WAIC システム通しの共存や他業務やシステムとの間の共用/両立性検討までは議論されていない。また、WAICがAMSS分配を使用すべきかAM(R)S分配を使用すべきかの議論に対する結論は未だ出ていない。

出力文書を勧告に向けた作業文書かレポートに向けた作業文書かが議論され、レポートに向けた作業文書(5B/TEMP/157)にすることとなった。

入力文書: Doc.5B/45 Annex8, 175 Annex32, 200, 212, 240, 248

出力文書: Doc.5B/TEMP/157

(2) 航空機搭載無線LAN

WP5Aから連絡文書5B/183にて、5600-5650MHz帯気象レーダへの航空機搭載無線LANへの干渉を懸念するコメントが入力された。WP5Aへのリエゾン返信(5B/TEMP/108)を出力し、現時点では5600-5650MHz帯における航空機搭載無線LAN導入の予定はないことが説明された。

入力文書: Doc.5B/183, 249, 265

出力文書: Doc.5B/TEMP/108

(3) WRC-11議題1.12関連

WRC-11議題1.12のCPMテキスト案作成の主担当であるWP7Bから連絡文書5B/200が入力されており、WAICに関する情報提供が依頼された。連絡文書返信の審議において、ドイツから「本当に37-38GHz帯におけるWAICを検討しているのか」との質問があり、米国が「候補のひとつ」と回答した。この回答に対してドイツが「WAICがsafety serviceであるなら、検討が不十分である。WRC-11議題1.12により37-38GHz帯のAMSSに制約が課せられるかもしれない。制約のある条件下でsafety serviceを行うのは困難。またWAICの技術パラメータも未だ検討中のものであり、これで共用検討を行うと将来の制約になりかねない」とコメントし、議論がなかなかまとまらなかった。米国は「WAICはひとつしか存在しないアプリケーションではない(このため、必ずWAIC applicationsという表記がしてある)」として、代表的な技術パラメータを提供するという事で問題ないと主張した。議論の結果、「WP5Bでは37-38GHz帯でWAICを使用するかどうかは未だ決めていない」とのテキストが追加され、連絡文書返信(5B/TEMP/153)が出力された。プレナリーにて、ドイツから「37-38GHz帯をWAICにて使用するかどうかは早く決めるべき。でないとWP7Bにおける検討が進まない」とのコメントがあった。

また、WP5Cから37-38GHz帯のFSとAMSの共用検討のために、航空機の機数、高度、及び速度等を含む干渉シナリオに関するコメントを求める連絡文書5B/177が入力された。WP5Cへの連絡文書返信を出力(5B/TEMP/109)し、WP5Bから極力次回のWP5Cへ入力することが回答された。

入力文書: Doc.5B/177, 183, 187, 200, 264

出力文書: Doc.5B/TEMP/109, 153

(4) WRC-11議題1.25関連

WRC-11議題1.25のCPMテキスト案作成の主担当であるWP4Cから連絡文書5B/287の入力があり、WP4Cの検討しているMSSの新規周波数分配可能性のある帯域の内、WP5B担当の業務分配のある周波数帯についての情報提供が求められた。

WP4Cへの連絡文書返信(5B/TEMP/154)において、5030-5150MHz帯(AMS, AM(R)S, AMS(R)S)、10.5-10.6 GHz帯(レーダー)、13.4-13.75 GHz帯(レーダー)及び13.25-13.4 GHz帯(ARNS)においては、MSSとの共用はフィジブルでないとのWP5Bの見解が示された。

入力文書: Doc.5B/287

出力文書: Doc.5B/TEMP/154

(5) WRC-11議題1.11関連

WRC-11議題1.11のCPMテキスト案作成の主担当であるWP7Bから連絡文書5B/205が入力されており、22.55-23.15 GHz帯の航空局に関する情報提供が求められた。

WP7Bへの連絡文書返信(5B/TEMP/150)において、今回のWP5B会合へは本件に関する寄与文書がなかったため、次回のWP5B会合からWP7Bへの情報提供を行うことを連絡した。また、WP7Bで作成中の文書のステータスは未だ作業文書であり、次回WP5Bからの入力でも間に合う可能性があることがノートされている。

入力文書: Doc.5B/205

出力文書: Doc.5B/TEMP/150

(6) PLC(Power Line Communication)関連

WP5BがWP1A議長報告1A/135のAnnex2の新レポート草案に向けた作業文書をレビューし、今回WP5B会合では寄与文書がなかったが、次回WP5B会合からWP1Aへ連絡文書にてコメントを出すことが記載された連絡文書(5B/TEMP/149)が出力された。

入力文書: なし

出力文書: Doc.5B/TEMP/149

(7) 無線通信システムに対する電力線搬送通信システムの影響関連

LF帯、MF帯、HF帯及び80MHz以下のVHF帯を使用する無線通信システムに対する送電線通信システムの影響に係る入力文書(入力文書の議論と出力文書の草稿作り)が寄与された。

しかし、SWG5B-2cにおいて、詳細な論議は行われなかったため、2009年11月に開催予定のWP5B会合に対して寄与文書を提出するよう要請(5B/TEMP/144)した。

入力文書: Doc.5B/203

出力文書: Doc.5B/TEMP/144

2.2.4 その他

航空目的で利用する移動業務の扱いについて、5B/124に記載されている勧告について検討したところ、無線通信規則(RR)関連として組み入れず、WP5B2ではこの課題のさらなる検討を行わないこととした。

入力文書: Doc.5B/175 (Annexes 3, 4)

出力文書: なし

2.3 WG5B3 (海上移動業務関連)

WG5B3議長はMr. S. Ward (米)が担当し、35件の入力文書について審議を行い、15件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/10, 20, 62, 85, 86, 105, 114, 175(Annexes 1, 5, 14, 22, 24, 25, 33, 34, 39, 40), 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 194, 202, 203, 204, 207, 211, 213, 214, 217, 219, 227, 231, 255, 260, 261, 276, 277, 278, 283

出力文書: Doc.5B/175 (Annexes 22, 24), 5B/TEMP/110, 114(Rev.2), 126, 127, 128, 129, 142, 143, 145, 146, 147, 148, 149, 160

WG5B3は更に6つのサブワーキンググループを立上げ、各々表8に示す議長の下で担当議題を審議して出力文書を作成した。

表8 WG5B3の審議体制

グループ	検討事項	議長
SWG 5B3-AIS	AIS関連	Mr. K. Fisher (英)
SWG 5B3-PUB	ITU Service Publication関連	1週目: Mr. S. Ward (米) 2週目: Mr. J. Steenge (蘭)
SWG 5B3-DSC	DSC関連	Mr. C. A. Sorinel (ルーマニア)

SWG 5B3-AI 1.9	議題1.9関連	Mr. S. Ward (米)
SWG 5B3-AI 1.10	議題1.10及びVHFデータ通信関連	Mr. S. Ward (米)
SWG 5B3-Ad-hoc	電力線通信関連等	Mr. S. Ward (米)

2.3.1 AIS関連

AIS関連のSWG議長はMr. K. Fisher (英)が担当し、5件の入力文書について審議を行い、5件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175, 186, 188, 190, 260

出力文書: Doc.5B/TEMP/110 MMSI割当に関するITU-R勧告M.585-4改訂案
Doc.5B/TEMP/114(Rev.2) AISの衛星検出改善に関する暫定新報告書案

Doc.5B/TEMP/128 ITU-R勧告M.1371-3改訂案に関するIALA、IMO、CIRM及びIEC TC80へのリエゾン

Doc.5B/TEMP/145 AIS周波数に関するIMOからのリエゾンに対する回答リエゾン

Doc.5B/TEMP/160 AIS技術特性に関するITU-R勧告M.1371-3改訂案

(1) ITU-R 勧告 M.1371-3 の改訂

ITU-R勧告M.1371-3のAnnex 4にAISのロングレンジ応用としてインマルサット等の衛星経由で長距離伝送する方式に加え、AISメッセージの衛星検出技術特性を追記する改訂提案が米国よりあった(5B/260)。これは、パケット構成、メッセージの構成、Class-AIに限定、RATDMA、AIS基地局カバーエリア内のAIS除外等を規定し、新メッセージ(Message 27)を通報間隔3分で送信する提案であり、CH75とCH76が候補チャンネルにあがっている。仏より、CH75とCH76の使用については、サポートの発言があり、今後も、IMO、IALAとリエゾンして検討することの要求があった。その他の入力文書(5B/186,190)については、特に説明はなかったが、ITU-R勧告M.1371-3の改訂案(5B/TEMP/160, 5B/296 Annex1)に盛り込まれ、次回の会合での継続審議となった。主な改訂内容は下記のとおり。

- ・ Annex 4のAISロングレンジ応用でインマルサットCを使用する例を削除すると共に、AISメッセージの衛星検出技術特性を追記。
- ・ Annex 8のTable 45 Navigational Status 「9」の危険物質、汚染物質カテゴリーの修正、「14」をAIS-SART用に修正。
- ・ Annex8のTable50で決議18(Mob83)の引用を同決議の記述内容に修正、及び危険物質、汚染物質コードの修正。
- ・ Annex 8のMessage14に「SART ACTIVE」と「SART TEST」を追加。

(2) AIS の衛星検出

前回のWP5Bにて、AISの衛星検出の改善について、米及び仏より前回から継続審議になっている暫定新報告書案の修正案(5B/115、5B/129)が検討された。

米提案(5B/115)は、伝搬遅延バッファを長くするための新Message 27、通報間隔3分、Message 27はClass-Aのみ対象、海上移動業務専用チャンネルが必要でCH75、CH76を候補とし、Class-AでもAIS基地局のカバー範囲にいる場合はMessage 27を送信せず、衛星での受信数の削減を図るもの。また、仏提案(5B/129)は、新Message 27の採用、通報間隔、Class-Aのみ対象、専用チャンネルの使用については米提案と同様であるが、最新の処理技術とアンテナ技術の採用で伝搬遅延バッファを米提案程長くする必要はなく、その場合送信情報量をより多くできるとの提案である。

WP5Bプレナリーでの審議で、ノルウェーより、CH16への影響について懸念が示され、これを中国、露が支持したため、本件は、WG5B3に差し戻しになった。WG5B3で再審議をしたが、決着せず、このAIS衛星検出についての暫定新報告書案は、次回のWP5Bでの継続審議となった(5B/TEMP/114 Rev.2, 5B/296 Annex6)。

(3) AIS で使用する周波数

IMOより、無線通信規則(RR)のAppendix 15にAIS1, AIS2の周波数の用途がAIS-SARTとしか記載されていないことについて、船間の衝突予防等の用途をRRに記載することの要求についてのリエゾンが寄与文書として入力された(5B/188)。

AISは本来GMDSS機器でないこと、付録第15号の表題が遭難救助であることから、IMO要求の航海支援やVTS等への用途を付録第15号に記載することは、ITUとして受け入れることは困難ではないかとの結論となり、IMOに再考を要請することになった。また、米国からは、AIS周波数の陸上用の他のサービスからの保護は、特にAIS基地局にとって非常に重要との意見があった。これらの見解について、IMOにリエゾンを送付することになった(5B/TEMP/145)。

(4) ITU-R 勧告 M.585-4 の改訂

前回のWP5B会合で継続審議となっていたIALA(5B/85)及び加(5B/105)からの寄与文書が審議された。IALA寄与文書(5B/85)は、Annex 2の海岸局へのMMSI割当にシステムIDを追記すると共に、Annex 4のAtoN(AIS Aids to Navigation)へのMMSI割当について、AtoN以外の局でもAtoN用メッセージ(Message 21)を送信する場合はAtoN用のMMSI体系を使用する提案で、例えばAIS基地は通常Annex 2のMMSI体系(00MIDXXX)を使用するが、Virtual AtoNとして送信する場合は Annex 4のMMSI体系(99MIDXXX)を使用するというものである。また、加の寄与文書(5B/105)は、Annex 5の母船の付随船に対するMMSI割当について、付随船の各装置毎にMMSIを割当てるとなっているものを、付随船に対して割当てるという提案であり、付随船の各装置が同じMMSIを使用すると修正するものである。

上記IALA及び加からの改訂案と、MMSIの保護と管理に関するガイドラインを定めたAnnex 6について有効でない規則等の削除等の修正が承認され(5B/TEMP/110)、SG5へ上程されることとなった。

2.3.2 ITU Service Publication関連

ITU Service Publication関連のSWG議長は、1週目がMr. S. Ward (米)、2週目がMr. J.

Steenge (蘭)が担当し、3件の入力文書について審議を行い、2件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175 (Annexes 33, 34, 40), 189, 227

出力文書: Doc.5B/TEMP/146 新List VIに含めるデータ項目等の作業文書
Doc.5B/TEMP/147 Maritime Manual の構成案に関する審議状況

(1) 新List V

WRC-07において、ITU Service Publicationの見直しのための決議355が承認されたことを受け、現在のList IV (海岸局リスト)とList VI (特殊業務局リスト)を統合して新List IV (海岸局と特殊業務局リスト)とすること、List V (船舶局リスト)とList VIIA (コールサインリスト)を統合して新List V (船舶局とMMSIリスト)とすることとなっている。

- ・ 新List Vの出版様式は紙媒体と電子媒体(CD-ROM等)となり、インターネットを用いたITU-RのWebサイトからのダウンロードは提供されないこととなった。
- ・ 新List VIに掲載する船舶局リストの対象船舶について、紙媒体の場合はMMSIが発行されている全船舶局からプレジャーボート等を除いた約12万隻となり、想定されるページ数は約1,200となった。電子媒体の場合はITUに通知されている全船舶局のリストがPDF形式で掲載され、検索用データベースも収録されることとなった。
- ・ 出版する船舶局リストの更新周期は1年となった。なお、SAR機関向けには、定期的に更新された情報がITU-RのWebサイトより提供される。

今回審議した新List Vに含めるデータ項目及び審議状況は作業文書として取り纏められ(5B/TEMP/146, 147, 5B/296 Annexes32, 33)、議長報告に添付して次回に持ち越しとなった。

(2) 海上便覧(Maritime Manual)

海上便覧(Maritime Manual)のドラフティンググループ(DG)が、実用的かつユーザーに優しい海上移動業務、海上移動衛星業務のための海上便覧にすべく改訂作業を行った。グループは前回のWP5B会議で作成した便覧の章構成(議長報告5B/45 Anex17)を考慮した。また、事務局(BR)が準備したテキスト例にも配慮した。事務局より、この便覧はIMOに関係するため、次回(2009年6月)のIMO/ITU合同専門家会議に入力文書としてこの海上便覧を提出するとの報告があった。海上便覧は、次のような構成になっている。

VOL I: 将来の船上での実務を目的としたマニュアル

VOL II: 現在の海上便覧の改訂版。官庁関係者、教育機関、(M)RCC、捜索救助機関、海上保安等で使用される。

海上便覧は事務局(BR)とDGの共同作業が更に必要であり、決議355 (WRC-07)で指示された計画により、2009年末までに作業を完了することになった。

2.3.3 DSC関連

DSC関連のSWG議長はMr. C. A. Sorinel (ルーマニア)が担当し、3件の入力文書について審議を行い、1件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/191, 261, 278

出力文書: Doc.5B/TEMP/127 DSCに関するITU-R勧告M.493-12改訂案

ITU-R勧告M.493-12暫定改訂案に向けた作業文書(5B/261)を基に審議し、改訂案が作成された(5B/TEMP/127)。主な改訂内容は下記のとおり。

- ・ Class-D DSCの機能及びハンドヘルド機の要件から遭難中継等の高度な機能を削除した。また、ハンドヘルド機のMMSIは特別な割当を行う必要がある旨の意見が出た。
- ・ DSC可聴警報やMMSI未設定時の動作に関する加からの改訂提案(5B/278)を採用し、遭難・緊急以外すべての可聴警報を無効(消音)にできるようにした。また、MMSI未設定時はDSCの受信も行わないこととした。
- ・ 前回(5B/114)より持ち越されていたAnnex 3(ユーザーインターフェイス)、Annex 4(自動化手順)の扱いについて審議をし、これらを設計例とすることとした。

この改訂案はWP5Bプレナリーで承認され、SG5へ上程されることとなった。

2.3.4 議題1.9関連

議題1.9関連のサブワーキンググループ議長はMr. S. Ward (米)が担当し、7件の入力文書について審議を行い、2件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175 Annex22, 187, 211, 213, 219, 255, 276

出力文書: Doc.5B/175 Annex22 作業計画

Doc.5B/TEMP/142 WRC-11議題1.9に関するCPMテキスト作業文書

議題1.9はHFデータ通信の導入のためにHF帯周波数分配(RR Appendix17)の見直しを行うもので、今回は仏、独、蘭、ルーマニア、スペイン、スウェーデン、英の7ヶ国からの提案(5B/211)と、露からの提案(5B/219)について審議した。7ヶ国提案は、GMDSSで使用するNBDP、DSC及びMSI用の周波数とその近辺をコアバンドとして定義し、これらの帯域には手を付けず、コアバンド以外のNBDP帯域とモールスバンドを新技術に使用可能とすることが骨子である。露提案は、モールス周波数の全てをHFデータ通信に割当ててもののNBDP周波数の割当ては現状どおりとし、GMDSS用周波数を除きNBDP通信はHFデータ通信に対してクレーム申し立てができない旨の脚注の追加と、4、6、8MHzバンドに各2波SSBチャンネルを割当てることが骨子である。審議の結果、7ヶ国提案をMethod A、露提案をMethod Bとして暫定CPMテキスト案に盛り込み(5B/TEMP/142(5B/296 Annex23))、次回継続審議となった。なお、審議において各国から次のようなコメントがあった。

- ・ 英より、露提案のモールスの周波数帯を音声電話に使用することは、国際規則に盛り込むべきでない。
- ・ 蘭より、複数のMethodがあるのは良くない。露は、NBDPの利用状況等を調査して、次回のWP5Bで報告すべきである。
- ・ ノルウェーより、NBDPとデジタルサービスの共用は、データの通信速度は低下するが、実用上問題はない。両者の共用は可能である。
- ・ グローブワイヤレスより、デジタルデータサービスで、他のサービスへの混信によるクレームはない。

2.3.5 議題1.10及びVHFデータ通信関連

議題1.10及びVHFデータ通信関連のSWG議長はMr. S. Ward (米)が担当し、9件の入力文書について審議を行い、4件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/175 (Annex14, 24, 25), 185, 187, 202, 214, 217, 231, 277, 283	
出力文書: Doc.5B/TEMP/126	WRC-11議題1.10に関するISO TC8-1へのリエゾン
Doc.5B/TEMP/129	将来の海上通信にITU-R勧告M.1371-3改訂案に関するIALA、IMO、CIRM及びIEC TC80へのリエゾン
Doc.5B/TEMP/148	WRC-11議題1.10に関するCPMテキスト作業文書
Doc.5B/175 Annex24	作業計画

(1) 議題1.10

議題1.10は船舶および港湾の安全性向上のための規則と周波数分配の検討を行うものである。フィンランド提案のCPMテキスト案に向けた作業用文書(5B/214)について主に審議した結果、保安警報と安全情報の放送のためにHFデータシステムが追加された他、前回までのe-Navigationを含む船舶/港湾の安全・保安通信システムの近代化という項目は、e-Navigationコンセプトの進捗状況モニタリングと決議342(海上移動業務局による156-174MHz帯の使用における効率改善のための新技術)に係るVHFデータシステムに分割され、検討項目を6項目としたCPMテキスト案に向けた作業文書が更新され(5B/TEMP/148, 5B/296 Annex 25)、次回継続審議となった。なお、AISの衛星検出においては、一部の主管庁から混雑した海上交通路では現行のAIS1, AIS2チャンネルを使用した衛星検出では不十分との意見が出された。

(2) VHFデータ通信

今回、ノルウェーのTelenor社による寄与文書(5B/231)により、ITU-R勧告M.1842の見直しが提案された。前回のWP5BでITU-R勧告M.1842の改正案が作成され、SG5へ提出されているため、今回の会合では内容について審議されず、次回のWP5B会合に持ち越しになった(5B/TEMP/129, 5B/296 Annex 35)。

2.3.6 Ad-Hoc関連

Ad-Hoc関連のサブワーキンググループ議長はMr. S. Ward (米)が担当し、6件の入力文書について審議を行った。

入力文書: Doc.5B/184, 194, 203, 204, 207, 213

出力文書: Doc.5B/TEMP/143, 149

議長より入力文書の紹介があったが、入力文書毎の具体的な審議は行われなかった。電力線通信関連の入力文書(5B/203)について英より、固定サービスは電力線通信の影響を受けるが、海上と航空は関係ないのではないかとのコメントがあったが、海上については将来の影響が懸念されるので今後も継続審議するとの説明が議長よりあった。

2.4 Ad-hoc SDR/CRS (ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS))

Ad-hoc SDR/CRS 議長はMr. J. Conner (米)が担当し、6件の入力文書について審議を行い、1件の出力文書を作成した。

入力文書: Doc.5B/180, 206, 210, 232, 270, 274

出力文書: Doc.5B/Ad-hoc SDR 1

Ad-hoc SDRグループを2回開催し、WP5Aに対してリエゾン文書(5A/301)を送付した。本グループは、WRC-11議題1.19に関連した、ソフトウェア無線(SDR)及びコグニティブ無線(CRS)に係る5入力文書を検討した。文書5B/180は、本議題に関するWP5Bの見解を含んだ、SG5会合の最終ラウンドに提出されたWP5Aからのリエゾン文書である。この文書はノートされた。

文書5B/206はWP5Bでの検討に基づき業務が開発されるか、またはSDR及びCRSの技術展開及びそれらの展開のどんな潜在的規制を計画しているかどうか、に関する質問を含むWP1Bからのリエゾン文書である。

文書5B/210は定義の検討に係るITU-T SG2からのもので、WP5Bのどんな作業にも関係しなかったためノートされた。

英国の文書5B/232には、SDRとCRSの開発が航空業務に与える可能性のある影響について説明され、業務上での設備変更の安全面をカバーすることが記述されている。ICAOの文書5B/270には航空業務におけるSDRとCRSの開発に関連するリエゾン文書が添付されている。両文書(5B/232、5B/270)は、SG5としてWP5Aへのリエゾン文書を作成するため、そしてWP1Bへの回答として使用された。リエゾン文書では、SDRのあらゆる開発について、ICAOと他の適切な安全規格を考慮する必要があると、どんな規定との関係もないと記述した。

CRSとしての成熟した技術が存在しないので、CRSの開発が規制問題に関わらず、適切な規格に従う必要がある将来の開発を決定するのは、非実用的である。

また、リエゾン文書(5A/301)は航空と同じ関心事を述べた海上業務からの入力も含んでおり、さらにSDRの課題は規制的でなく、未開発のSDRのために規制問題を決定するのは実用的でない結論づける。

WP5Aへのリエゾン文書は、WP5Aの全体会合において、WP5B議長によってプレゼンされた。

2.5 次回会合

次回WP5B会合： 2009年11月23日(月)から12月4日(金)まで、スイスジュネーブ
寄与文書の入力期限は、2009年11月16日(月)16:00(UTC)まで

表9 WP5B入力文書一覧

文書 番号 Doc.5B/	提出元	題目	担当 WG	出力文書 Doc.5B/ TEMP/
175	Chairman, WP 5B	Report of the second meeting of Working Party 5B (Geneva, 29 October - 7 November 2008)	5B1 5B2 5B3	111-114, 117, 120, 123, 128, 131, 133, 136, 142, 148, 151, 156-158, 160
176	WP5C	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Party 5A for information) - Compatibility studies between radiolocation and fixed service in the band 30-300 MHz (WRC-11 Agenda item 1.14)	5B1	
177	WP5C	Liaison statement to Working Party 5B - WRC-11 Agenda item 1.12	5B2	109
178	WP5C	Liaison statement to Working Parties 3M, 4A, 5A, 5B, 7B and 7C - Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5B1	
179	Chairman, SG 5	Note from the Chairman of Joint Task Group 5-6 - Sharing studies under Resolution 749 (WRC-07) and Resolution 224 (Rev. WRC-07)	PLEN	
180	WP5A	Liaison statement to Working Party 1B - On the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to WPs 5B and 5C)	Ad-Ho c SDR	
181	WP5A	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 5B, 5C and 5D) - Information on short-range devices related to WRC-11 Agenda item 1.22	PLEN	
182	WP5A	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WP 5C for information) - Land mobile radio use of the 138-174 MHz band related to WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	
183	WP5A	Liaison statement to Working Party 5B - Possible use of 5 GHz RLAN on board aircraft	5B2	108
184	WP5A	Liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 1B, 4C, 5B, 5D and 7C, ITU-D Study Group 2 (Question 14/2) and ITU-T Study Group 16 - The study of mobile access systems providing radiocommunications to a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas	5B1 (5B2) (5B3)	
185	ISO	Liaison statement to ITU-R from ISO ship and port security requirements for the ITU World Radiocommunication Conference 2011	5B3	
186	IMO	Liaison statement to ITU, IEC and IALA - Recommendation ITU-R M.1371-3	5B3	128, 160
187	Chairman, CPM-11	Further information for the preparation of the draft CPM Report to WRC-11	PLEN	

188	IMO	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Regulatory status of AIS frequencies for the ITU World Radiocommunication Conference (WRC) 2011	5B3	145
189	IMO	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the Maritime Manual	5B3	
190	IMO	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B, IALA, IEC TC 80 and CIRM - Automatic identification system (AIS) search and rescue transmitter (AIS-SART)	55B3	128, 160
191	IMO	Liaison statement to ITU-R Working Party 5B and CIRM - Proposed new "DSC Class H" of DSC portable radio intended primarily for distress alerting and communication	5B3	
192	Chairman, SG 5	Results of the meetings of the CVC and the RAG	PLEN	
193	Chairman, SG 5	Draft new Question ITU-R [COMPAT-VHF]/5 - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975-137 MHz	5B2	
194	WP7C	Draft liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 3L and 7A for information) - Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda Item 1.16 (Resolution 671 (WRC-07))	5B1 (5B2) (5B3)	125
195	WP7D	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WPs 3M and 4A for information) - Compatibility studies between radiolocation and radio astronomy service (WRC-11 Agenda item 1.21)	5B1	
196	WP7D	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WPs 3M and 4C for information) - WRC-11 Agenda item 1.4	5B2	
197	WP5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C - Copy to Working Party 5B for information - Use of Recommendation ITU-R F.1336-2 for the 790 862 MHz band	5B1	
198	WP5D	Liaison statement to Working Party 5B (Copy to Working Parties 5A and 6A for information) - IMT parameters in the 790-862 MHz frequency band	5B1	
199	WP7B	Liaison statement (copy to Working Parties 5A and 5B for information) - Draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.24	PLEN	
200	WP7B	Liaison statement - Aeronautical mobile applications used or planned to be used in the band 37-38 GHz	5B2	153
201	WP1A	Liaison statement - Progress of work in the WP 5B Rapporteur Group on future work related to Annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	5B1	105
202	WP1A	Liaison statement - Cooperative effort concerning freight container identification and communication as applicable ITU-R (WRC-11 Agenda item 1.10)	5B3	
203	WP1A	Liaison statement to Working Parties 5A and 5B - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF	(5B1) 5B2 (5B3)	144, 149

		and VHF bands below 80 MHz		
204	WP1A	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7C and 7D on WRC-11 Agenda item 1.22	5B1 (5B2) (5B3)	143
205	WP7B	Liaison statement - Progress on WRC-11 Agenda item 1.11 - Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55-23.15 GHz	PLEN	150
206	WP1B	Liaison statement to ITU-R Study Group 3 and Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 6A, 7C, 7D (copy to WPs 5C, 5D, 6C and 7B for information) on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	AD-H oc SDR	
207	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties	PLEN	
208	Chairman ITU-T FG ICTs & CC	Information on activities and output documents of ITU-T Focus Group ICTs & CC	PLEN	
209	ICAO	Unwanted emission characteristics in the 5 010-5 030 MHz band from the International Civil Aviation Organization (ICAO) standard microwave landing system (MLS) operating in the band 5 030-5 150 MHz	5B2	
210	ITU-T SG 2	Liaison statement on leading role of SG 2 on Service definition	Ad-Ho c SDR	
211	France等	WRC-11 Agenda item 1.9 - How to find a solution within Appendix 17 in order to introduce new digital technologies for the maritime mobile service	5B3	
212	Germany 等	Technical characteristics and operational objectives for installed Wireless Avionics Intra-Communications	5B2	
213	Director, BR	Statistics with respect to the assignments to stations of terrestrial services recorded in the Master International Frequency Register (MIFR) in the frequency bands between 4 000 kHz and 27 500 kHz allocated exclusively to the maritime mobile service	5B3	
214	Finland	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.10 - Chapter 1 - Maritime and aeronautical issues (Agenda item 1.10)	5B3	
215	Netherland s (Kingdom of the)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AM(R)S_1GHz_SHARING] AM(R)S sharing feasibility in the 960-1 164 MHz band	5B2	133
216	BR Study Group Departme nt	ITU-R Study Group 4 Question to be brought to the attention of Study Groups 5 and 7	5B1	
217	IALA	Liaison Note to ITU-R Working Party 5B - Study of future digital communication systems in conjunction with WRC-11 Agenda item 1.10	5B3	129
218	EURO CONTROL	An analysis of UAS Latency issues for voice and data communications	5B2	

219	Russian Federation	Proposals for modification of Appendix 17 of the Radio Regulation	5B3	
220	Russian Federation	Proposals for modifications of draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	
221	Russian Federation	Proposals related to draft liaison statement to Working Party 5A - Protection criteria of land mobile service, used in studies under Agenda item 1.14 of WRC-11	5B1	
222	Russian Federation	Analysis of possible protection criteria of land mobile service in accordance with WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	118
223	Russian Federation	Characteristics and protection criteria of radars operating in the frequency band 30-300 MHz	5B1	
224	Russian Federation	Proposals for modification of the working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHz SHARING] on RLS sharing feasibility in the 138-144 MHz and 154-156 MHz frequency bands	5B1	118
225	Russian Federation	Technical characteristics of the ARNS systems operating in the frequency band 960-1164 MHz	5B2	133
226	Russian Federation	Proposals for modification of the working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHz SHARING] on RLS sharing feasibility in the 138-144 MHz and 154-156 MHz frequency bands	5B1	118
227	Director, BR	Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the list of ship stations and maritime mobile service identity assignments (List V)	5B3	146, 147
228	Russian Federation	Analysis of feasibility of meeting the frequency requirements of meteorological aids service	5B1	125
229	UAE	Technical and operational criteria of HF oceanographic radars in The United Arab Emirates	5B1	139
230	WP 4A	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Parties 3M and 7D for information) - Compatibility studies between the radiolocation service and the fixed-satellite service	5B1	
231	Telenor ASA	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R M.1842	5B3	
232	UK	Response to liaison from Working Party 1B to Working Party 5B on SDR on CRS	Ad-Hoc SDR	
233	Germany (Federal Republic of)	Proposed amendments to the preliminary draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics and spectrum requirements for unmanned aircraft systems (UAS) - Proposed new Chapter 4 (UAS Application) - Proposed new Chapter 4 (UAS Application)	5B2	159
234	Germany (Federal Republic of)	Proposed amendments to the preliminary draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics and spectrum requirements for unmanned aircraft systems (UAS) - Proposed amendments to Chapter 1 and 2	5B2	159
235	JAPAN	WRC-11 Agenda item 1.15: Additional text for working document - Toward PDN Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHz SHARING] on characteristics and protection criteria of	5B1	

		systems operating in existing services in 3-50 MHz		
236	JAPAN	WRC-11 Agenda item 1.15: Additional text for working document toward PDN Report M.[RLS 3-50 MHz SHARING] on application of GRWAVE to HF oceanographic radar systems with directional antenna	5B1	
237	JAPAN	WRC-11 Agenda item 1.15: Additional text for working document toward PDN Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHz SHARING] on a method for estimating the sharing conditions between HF oceanographic radars and existing services in 3-50 MHz based on distance separation	5B1	
238	JAPAN	Proposed liaison statement to Working Parties 5A, 5C, 6A, 7B and 7D from Working Party 5B - Protection criteria of existing services in 3-50 MHz	5B1	107
239	JAPAN	Proposed liaison statement to Working Party 3L - Application of GRWAVE to HF oceanographic radar systems with directional antenna	5B1	
240	Brazil (Federative Republic of)	Technical characteristics and operational objectives for installed Wireless Avionics Intra-Communications	5B2	
241	USA	Workplan and milestones for WRC-11 Agenda item 1.3	5B2	152
242	USA	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.3	5B2	
243	USA	Frequency band study to support control links for Unmanned Aircraft Systems (UAS)	5B2	155
244	USA	WRC-11 Agenda item 1.4 - Working document towards text for the draft CPM Report-Chapter 1	5B2	
245	USA	Preliminary draft revision to Report ITU-R M.2120 initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	5B2	135
246	USA	Initial considerations on compatibility between a proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) system and both radionavigation satellite service (RNSS) operating in the 5 000-5 010 MHz band and radio astronomy in the adjacent 4 990-5 000 MHz band	5B2	
247	USA	Initial considerations on compatibility between a proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) system and radionavigation satellite service (RNSS) systems operating in the 5 010-5 030 MHz band	5B2	136
248	USA	Working document on technical characteristics and operational objectives for installed Wireless Avionics Intra-Communications (WAIC)	5B2	
249	USA	Response to Working Party 5A's liaison statement regarding possible use of 5 GHz RLANS onboard aircraft	5B2	
250	USA	Update to working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1730 - Characteristics of and protection criteria for the radiolocation service in the frequency band 15.4-17.3	5B1	122

		GHz		
251	USA	Update to working document toward a preliminary draft new Report ITU-RM.[] - Compatibility analysis and results for radiolocation systems planned to operate in the 15.4 to 17.3 GHz band and aircraft landing system operating in the 15.4-15.7 GHz band	5B1	124
252	USA	Update to WRC-11 Agenda item 1.21 - Working document towards draft CPM text	5B1	123
253	USA	Work plan and milestones for WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	138
254	USA	Prioritization of frequency bands for sharing studies linked to WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	
255	USA	WRC-11 Agenda item 1.9 - Working document towards text for the draft CPM Report-Chapter 1	5B3	
256	USA	Working document towards draft CPM text on WRC-1 Agenda item 1.15	5B1	140
257	USA	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHZ SHARING] on the feasibility of sharing sub-bands within the 3-50 MHz bandwidth with oceanographic radars	5B1	116
258	USA	Preliminary draft new ITU-R Report M.[] - WRC Agenda item 1.15 - Sharing considerations regarding the operation of oceanographic radars and HF Services within Sub-Bands in the 3 MHz to 50 MHz band	5B1	
259	USA	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	5B1	139
260	USA	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-3	5B3	128, 160
261	USA	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.493-12	5B3	127
262	USA	Working document on comments in document 5B/100 concerned with a preliminary draft new Report - Compatibility of the radionavigation-satellite service with the radiodetermination service receivers in the band 1 215-1 300 MHz	5B1	
263	USA	Working document TRWARDS a draft new Recommendation ITU-R M.[UAS-SATELLITE USE]	5B2	
264	USA	Response to Working Party 7B's request for technical characteristics of potential Aeronautical Mobile Service applications that may utilize the 37-38 GHz band	5B2	153
265	Canada	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 5A - Possible use of 5 GHz RLAN on board aircraft	5B2	

266	USA	Characteristics and spectrum requirements for Unmanned Aircraft Systems (UAS)	5B2	159
267	France	WRC-11 Agenda item 1.3 - Important elements to be considered when discussing candidate frequency bands for sharing studies	5B2	155
268	France	WRC-11 Agenda item 1.4 - Proposed amendments to the Sections 4 and 6 of the working document towards a PDNR ITU-R M.[AM(R)S_1 GHZ_SHARING]	5B2	133
269	France	Spectrum requirements of 5 GHz aeronautical mobile (R) service systems supporting surface applications at airports	5B2	135
270	France	WRC-11 Agenda item 1.4 - Proposed amendments to the CPM Report on Agenda item 1.4 - Maritime and aeronautical issues (Agenda items 1.3, 1.4, 1.9, 1.10)	5B2	
271	France	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHz SHARING] on RLS sharing feasibility in the 138-144 MHz and 154-156 MHz bands	5B1	118
272	France, UK	WRC-11 Agenda item 1.15 - Prioritisation of frequency bands for sharing studies linked to WRC-11 Agenda item 1.15	5B1	121
273	France	Preliminary draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics of unmanned aircraft systems (UAS) and spectrum requirements to support their safe operation in non segregated airspaces	5B2	159
274	ICAO	Response to liaison from Working Party 1B to Working Party 5B on SDR and CRS	Ad-Ho c SDR	
275	USA	Characteristics and spectrum requirements for sense and avoid systems use on Unmanned Aircraft Systems (UAS)	5B2	
276	France	WRC-11 Agenda item 1.9 - Proposed modification of the draft CPM text	5B3	
277	France	WRC-11 Agenda item 1.10 - Modernisation of the VHF maritime mobile service	5B3	
278	Canada	Proposed revision to Recommendation ITU-R M.493-12	5B3	
279	France	WRC-11 Agenda item 1.3 - Proposed amendments to the CPM Report on Agenda item 1.3 - Maritime and aeronautical issues (Agenda items 1.3, 1.4, 1.9, 1.10)	5B2	
280	France	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHz SHARING] on RLS sharing	5B1	121
281	France	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.15 - Chapter 2 - Radiolocation and amateur issues (Agenda items 1.14, 1.15, 1.21, 1.23)	5B1	140
282	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5B - WRC-11 Agenda item 1.4 (Resolution 413 (Rev. WRC-07)) use of the band 108-117.975 MHz by the aeronautical mobile (R) service	5B2	130

283	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Additional allocations to the maritime mobile service below 1 GHz (WRC-11 Agenda item 1.10)	5B3	
284	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5B - Compatibility between digital sound broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975-137 MHz	5B2	134
285	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Parties 5B and 5C (copy to Working Parties 5A, 7B and 7D for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5B1	119
286	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15 (copy to Working Parties 5A, 5C and 7B and 7D for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5B1	119
287	WP4C	Liaison statement to Working Party 5B - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5B2	154
288	WP 4C	REPLY Liaison statement to Working Party 5B - compatibility between aeronautical mobile (R) service systems and radionavigation-satellite service systems in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands	5B2	136, 137
289	BR Study Group Department	List of documents issued	5B1 5B2 5B3	
290	WP 5A	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5B2	
291	WP 5A	Liaison statement to Working Party 5B (copy to Working Party 5C for information) – WRC-11 Agenda item 1.14	5B1	
292	WP 5A	Liaison statement to Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5B2	
293	SG 5 Chairman	Construction of the web page for the analytical list of the Study Group 5 Recommendations	5B1 5B2 5B3	
294	BR Director	Final list of participants – Working Party 5B (Geneva, 19-28 May 2009)	5B1 5B2 5B3	
295	WP 5A	Liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to Working Parties 5B, 5C and 5D)	Ad-Hoc c SDR	

表10 WP5B出力文書一覧

出力文書 Doc. 5B/TEMP/	件名 Title	入力文書 Doc.5B/ Source	処理
105	Liaison statement to WP 1A - Progress of work in the WP 5B Rapporteur Group on future work related to Annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	201	1A/143 リエゾン承認
106	Proposed liaison statement to WP 3L - Application of GRWAVE of HF oceanographic radar systems with directional antenna	77	3L/50, 7A/29, 7C/104 リエゾン承認
107	Liaison statement to WP 5C - Protection criteria and system parameters for fixed and mobile systems operating between 3 and 30 MHz	238	5C/215 リエゾン承認
108	Draft liaison statement to Working Party 5A - Possible use of 5 GHz RLANs onboard aircraft	183	5A/302 リエゾン承認
109	Reply liaison statement to Working Party 5C - Aircraft stations deployment scenario for simulation refinements for the derivation of a PDF mask for the protection of the fixed service in the 37-38 GHz band	177, 5C/129 ANX12	5C/214 リエゾン承認
110	Draft revision of Recommendation ITU-R M.585-4 - Assignment and use of maritime mobile service identities		5/133 承認 SG5 へ
111	Preliminary draft new Report ITU-R M.[VHF-AM(R)S] - Assessment of potential interference from FM broadcasting stations operating in the band around 87 to 108 MHz into aeronautical VDL Mode 4 systems in the band 112-117.975 MHz	175 ANX13, 282	TEMP/111, TEMP/112 が 統合されて、 TEMP/130 に
112	Preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRS-VHF] - Assessment of potential interference from VDL Mode 4 transmissions in the band 112-117.975 MHz into FM broadcasting receivers in the band around 87 to 108 MHz	175 ANX15, 282	TEMP/111, TEMP/112 が 統合されて、 TEMP/130 に
113	Preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRS-RNSS-RAS] - Initial considerations on compatibility between a proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) system and both radionavigation satellite service (RNSS) operating in the 5 000-5 010 MHz band and radio astronomy in the adjacent band 4 990-5 000 MHz	175 ANX17, 196, 246, 288	5B/296 ANX 5 議長報告書に 添付
114 (Rev.1-2)	Draft new Report ITU-R M.[SAT-AIS] - Improved satellite detection of AIS	175 ANX5	5B/296 ANX 6 議長報告書に 添付
115	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RNSS-RDS] - Compatibility of the radionavigation-satellite service with the radiodetermination service receivers in the band 1 215-1 300 MHz	45 ANX7, 100, 262	5B/296 ANX 7 議長報告書に 添付

出力文書 Doc. 5B/TEMP/	件名 Title	入力文書 Doc.5B/ Source	処理
116	Working document towards a draft new Report ITU-R M.[RLS 3-50 MHz SHARING] on the feasibility of sharing sub-bands within the 3-50 MHz bandwidth oceanographic radars	257	5B/296 ANX 8 議長報告書に 添付
117	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1802 - Characteristics and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency band 30-300 MHz	175 ANX2, 223	5B/296 ANX 2 議長報告書に 添付
118	Preliminary draft new Report ITU-R M.[RLS 30-300 MHz sharing] - Radiolocation service sharing feasibility in the [142-144 MHz and] 154-156 MHz bands	222, 224, 226, 271	5B/296 ANX 9 議長報告書に 添付
119	Proposed liaison statement to WP 6A - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	285, 286	6A/200 リエゾン承認
120	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.14	175 ANX27, 220	5B/296 ANX 27 議長報告書に 添付
121	WRC-11 Agenda item 1.15 - Working document: Prioritisation of frequency bands for sharing studies linked to WRC-11 Agenda item 1.15	272, 280	5B/296 ANX 17 議長報告書に 添付
122	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1730 - Characteristics of and protection criteria for the radiolocation service in the frequency band 15.4-17.3 GHz	45 ANX1, 250	5/140 Rev.1 承認 SG5 へ
123	Working document towards text for the draft CPM Report for WRC-11 Agenda item 1.21	45 ANX16, 175 ANX 31, 252	5B/296 ANX 31 議長報告書に 添付
124	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RLS15.4-15.7GHz] - Compatibility analysis and results for the radiolocation systems planned to operate in the 15.4 to 17.3 GHz band and aircraft landing system operating in the 15.4-15.7 GHz band as well as the radio astronomy service operating in the adjacent band 15.35-15.40 GHz	251	5B/296 ANX 10 議長報告書に 添付
125 (Rev.1)	Draft reply to liaison statement from WP 7C copy to WPs 3L and 7A for information - Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16	194, 228	7C/104 リエゾン承認
126	[Draft] liaison statement to International Organization for Standardization (ISO) Technical Committee (TC) 8 - Cooperation and exchange of documentation between ITU-R Working Party 5B and ISO TC 8 (ships and marine technology)		5B/296 ANX 34 議長報告書に 添付

出力文書 Doc. 5B/TEMP/	件名 Title	入力文書 Doc.5B/ Source	処理
127	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R M.493-12	261	5/139 承認 SG5 へ
128	Liaison statement to IALA, IMO, CIRM and IEC TC 80 - Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-3	88, 175 ANX5, 186, 190, 260	5B/296 ANX 36 議長報告書に 添付
129	[Draft] liaison statement to International Association of Marine Aids and Lighthouse Authorities (IALA) and International Maritime Organization (IMO) - Spectrum requirements within future maritime systems	217	5B/296 ANX 35 議長報告書に 添付
130	Draft new Report ITU-R M.[FMBC-AM(R)S] - Assessment of potential interference between FM broadcasting stations operating in the band around 87-108 MHz and aeronautical VDL Mode 4 systems in the band 112-117.975 MHz operating in the AM(R)S	TEMP/111, TEMP/112 を統合	5/141 承認 SG5 へ
131	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[COMPAT-VHF] (Draft new Question ITU-R [COMPAT-VHF]) - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975-137 MHz	175 ANX12	5B/296 ANX 11 議長報告書に 添付
132	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[AM(R)S_1 GHz_SHARING] - AM(R)S sharing feasibility in the 960-1 164 MHz band		5B/296 ANX 12 議長報告書に 添付
133	Liaison statement to ITU-R Working Party 4C related to Agenda item 1.4, Resolution 417	175 ANX11, 215, 225, 268	4C/262 リエゾン承認
134	Reply to Liaison statement from ITU-R Working Party 6A - Compatibility between digital sound-broadcasting below 108 MHz and ARNS in the band 108-117.975 MHz and AM(R)S in the band 117.975-137 MHz	284	6A/201 リエゾン承認
135	Preliminary draft revision to Report ITU-R M.2120 - Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	245, 269	5B/296 ANX 4 議長報告書に 添付
136	Preliminary draft new Report ITU-R M.[AMRS-RNSS] - Initial considerations on compatibility between a proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) system and radionavigation satellite service (RNSS) systems operating in the 5 010-5 030 MHz band	175 ANX16, 247, 288	5B/296 ANX 13 議長報告書に 添付
137	Reply Liaison statement to ITU-R Working Party 4C - Related	288	4C/263

出力文書 Doc. 5B/TEMP/	件名 Title	入力文書 Doc.5B/ Source	処理
	to Agenda item 1.4, Resolution 420		リエゾン承認
<u>138</u>	Proposed work plan on Agenda item 1.15	128, 253	5B/296 ANX 28 議長報告書に 添付
<u>139</u>	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of oceanographic radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	229, 259	5B/296 ANX 3 議長報告書に 添付
<u>140</u>	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.15 - Chapter 2 - Radiolocation and amateur issues	256, 281	5B/296 ANX 29 議長報告書に 添付
<u>141</u>	Draft modifications to ITU-R Recommendations dealing with Radiodetermination issues	124	5/150 承認 SG5 へ
<u>142</u>	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.9 - Chapter 1: Maritime and aeronautical issues	175 ANX23	5B/296 ANX 23 議長報告書に 添付
<u>143</u>	Response liaison statement to WP 1A - On WRC-11 Agenda item 1.22	204	1A/146 リエゾン承認
<u>144</u>	Response to liaison statement from Working Party 1A - Impact of power line telecommunications systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	203	1A/147 リエゾン承認
<u>145</u>	Response liaison statement to IMO - Regulatory status of AIS frequencies for the ITU World Radiocommunication Conference (WRC) 2011	188	IMO リエゾン承認
<u>146</u>	Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the list of ship stations and maritime mobile service identity assignments (List V)	227	5B/296 ANX 33 議長報告書に 添付
<u>147</u>	Summary of studies - Implementation of Resolution 355 (WRC-07) concerning the maritime Manual	227	5B/296 ANX 32 議長報告書に 添付
<u>148</u>	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.10	175 ANX25	5B/296 ANX 25 議長報告書に 添付
<u>149</u>	Liaison statement to ITU-R WP 1A	203	1A/147

出力文書 Doc. 5B/TEMP/	件名 Title	入力文書 Doc.5B/ Source	処理
			リエゾン承認
150	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 7B - WRC-11 Agenda item 1.11	205	7B/134 リエゾン承認
151	Milestones for WRC-11 Agenda item 1.4	175 ANX20	5B/296 ANX 20 議長報告書に 添付
152	Workplan and milestones for WRC-11 Agenda item 1.3	241	5B/296 ANX 18 議長報告書に 添付
153	Response to WP 7B's request for technical characteristics of potential aeronautical mobile service applications that may utilize the 37-38 GHz band	200, 264	7B/135 リエゾン承認
154	Response to WP 4C related to Agenda item 1.25	287	4C/258 リエゾン承認
155	Frequency band study to support control links for unmanned aircraft systems (UAS) - Framework towards a draft new Report ITU-R M.[UAS-BANDS] - Frequency band study to support control links for unmanned aircraft systems (UAS)	243, 267	5B/296 ANX 14 議長報告書に 添付
156	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.3	175 ANX19	5B/296 ANX 19 議長報告書に 添付
157	Technical characteristics and operational objectives for installed wireless avionics intra-communications - Working document toward a preliminary draft new Report on technical characteristics and operational objectives for installed wireless avionics intra-communications (WAIC)	175 ANX32	5B/296 ANX 15 議長報告書に 添付
158	Working document towards text for the draft CPM Report for WRC-11 Agenda item 1.4	175 ANX21	5B/296 ANX 21 議長報告書に 添付
159 +Ann.1-5	Preliminary draft new Report ITU-R M.[UAS-SPEC] - Characteristics of unmanned aircraft systems (UAS) and spectrum requirements to support their safe operation in non segregated airspaces	233, 234, 266, 273	5B/296 ANX 16 議長報告書に 添付
160	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-3	88,175 ANX5,186, 190, 260	5B/296 ANX 1 議長報告書に 添付

第3回 Working Party 5C会合 報告書(案)

1 WP5C

WP5Cは固定無線システム、固定及び陸上移動業務用のHFを含む30MHz以下のシステムを扱う作業部会である。

1.1 会議の概要

第3回WP5C会合は、2009年5月18日(月)から5月27日(水)までの実質8日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には33カ国から119名が参加し、日本からは別紙のとおり7名が出席した。議長はこれまでのCharles Glass(米国)が病気で欠席したため、Paul Najarian(米国)が代わりに担当し、Working Partyのもとに3 Working Group (WG)、2 Ad Hoc Groupを設置(表1)して92件の寄与文書(日本からの寄与文書7件)について審議が行われた。その結果、勧告改訂案2件、勧告の見直し案3件(Editorial Updating: 2、削除: 1)(注)、WP5A/5C議長によるJoint Ad hocでの合意文書1件、WP5Cタイトル変更案1件、リエゾン文書21件、作業文書(CPMテキスト案、勧告・報告改訂暫定案、その他)18件を出力文書として承認した。

(注)件数は出力文書数を意味している。見直した勧告数はEditorial Updating 8件、削除3件。

表1 WP5Cの審議体制

グループ	担務内容	議長
WP5C	固定無線システム、固定及び陸上移動業務用のHFあるいは30MHz以下のシステム	P. Najarian(米国)
WG-1	30MHz以下の課題	G. Odium(豪)
WG-2	30MHz～18GHzの課題	M. Christensen(カナダ)
WG-3	18GHz以上の課題	J. Guyomard(仏)
Ad Hoc Plenary	3つWGに関連のない全般的な課題	C. Hsu(カナダ)
Ad Hoc Recommendations	既存勧告の見直し	荒木(日本)

2 審議の内容

2.1 WG5C-1(30MHz以下の課題)

- (1) 議長: G. Odlum(豪)
- (2) 主要メンバ: P. Najarian(米国)、M. Christensen(カナダ)、Ali Nasarat(英国)、梶原、有本、
など約30名
- (3) 入力文書: 5C/124 (WP6A)、126 (WP5A)、127R1(WP 5A)、133 (WP5B)、135 (WP5B)、142
(WP5B)、149 (WP7A)、158 (WP1A)、183 (カナダ)、209 (WP6A)、210 (WP6A)、
計11件
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/90、91、117R1 計3件

(5) 審議概要

WG5C-1は、30MHz以下の課題について審議するWGである。本WGは今会合中3回開催され、11件の入力寄与文書を審議し、3件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、電力線通信に関するWP1Aへのリエゾン文書を作成した。

2.1.1 電力線通信(PLT)

入力文書: 5C/158(WP1A)、183 (カナダ)

出力文書: 5C/TEMP/91

80MHz以下の帯域で運用される無線通信システムに対する電力線通信(PLT)の影響に関するWP1Aからのリエゾン文書(5C/158)について米国のShawから説明があり、これに対するカナダからの寄与文書(5C/183)に基づき、Drafting group(米国およびカナダが参加)を作って議論し、その結果を審議した。WP1Aに対して、PLTの干渉を評価するツール自体は、入力するパラメータ(EIRP,普及率、送信デューティサイクル)を適切なものに選定しうる点において有用であるとするリエゾン文書(5C/TEMP/91)を作成した。

2.1.2 議題1.15(短波海洋レーダ)関連

入力文書: 5C/124 (WP6A)、133、142(WP5B)、209、210(WP6A)、215(WP5B)

出力文書: 5C/TEMP/117R1

WRC-11議題1.15(3-50MHz帯の海洋レーダ応用のための無線標定への分配の考察)に関して、HF帯の放送用に用いられている周波数帯の表を含むWP6AからWP5Bへのリエゾン文書(5C/124)が入力され、WP5BからWP6Aに対して、議題1.15の共用検討レポートM.2080の内容とは異なることと、HF放送受信に対する共用検討をWP5Bで進める旨のリエゾン文書(5C/133)が入力された。また、WP5Bから5A、7D及び6Aに対するリエゾン文書(5C/142)、WP6Aから5Bに対する2つのリエゾン文書(5C/209、210)、一つはレポートM.2010

関連で、もう一つは海上の表面波レーダとの相違に関するものが入力された。英国から Military System に対する影響も考慮すべきとのコメントがあったが、これらの入力文書は情報提供を目的とするものであり、WGでの議論は無く、記録にとどめることとなった。また、WP5Bから会合中に入力された3～30MHz帯の干渉検討の手法に関するリエゾン文書(5C/215)に対して、固定業務・陸上移動業務の代表的方式パラメータの周知並びに「 $I/N=-6\text{dB}$ を干渉保護基準とする」を骨子とする返答リエゾン文書(5C/TEMP/117R1)を作成した。

2.1.3 議題1.16(20kHz以下の周波数帯)関連

入力文書: 5C/149(WP7C)

出力文書: 5C/TEMP/90

20kHz以下の周波数帯における共用検討に関して、WP7Cから5Cへのリエゾンに対して、この周波数帯を使用している業務に関する代表的なパラメータについて調査したが、現状では情報が無いこと、引き続き調査している旨のリエゾン文書(5C/TEMP/90)を作成した。

2.1.3 その他の審議事項

入力文書: 5C/126(WP5A)、127R1(WP5A)、135(WP5B)

出力文書:

議題1.23(415–526.5kHz帯のアマチュア業務への二次分配)に関して、WP5Aのワークプランに関するリエゾン(5C/126)、CPMLレポートに向けての5Aが作成した作業文書(5C/127R1)、WP5Bから5Aへのリエゾンの回答(5C/135)が入力されたが、特に対応しなかった。

2.2 WG 5C-2

- (1) 議長: M. Christensen(カナダ)
- (2) 主要メンバ: P. Najarian、D. Weinreich、D. Jansky(米国)、R. Bunch(豪)、C. Hsu(カナダ)、J. Guyomard(仏)、A. Klyucharev(ロシア)、S. Mattsson(スウェーデン)、J. Park(韓国)、梶原、橋本、辻、森崎(日)など約50名
- (3) 入力文書: 123(WP6A)、125(WP5A)、5C/129+Annexes(WP5C議長報告)、131(WP5B)、132(WP5B)、134(WP5B)、137(WP6B)、140(WP5A)、141(WP5A)、150(WP7C)、154(SG7)、155(WP7B)、156(WP7B)、168(ロシア)、169(ロシア)、170(ロシア)、172(米国)、173(米国)、174(米国)、175(米国)、177(米国)、185(カナダ)、188(韓国)、189(韓国)、190(UAE)、191(WP4A)、197(ブラジル)、204(WP4C)、205(WP4C)、207(WP6A)、208(WP6A)、212(WP6B) 32件(議長報告含む)
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/103、104、105、106、107、118、119、120、121、132、133、134
計 12件

(5) 審議概要

WG 5C-2は30MHz～18GHzの課題について審議を行うWGである。本WGは、配下に以下のSWGを設置した。

- ・ SWG 5C-2a: 議題1.5(ENG)関連 議長: Bunch(豪)
- ・ SWG 5C-2b: 議題1.14(FSとRadiolocation共存性)関連 議長: Christensen(カナダ)
- ・ SWG 5C-2c: 議題1.20(HAPS)関連 議長: Najarian(米国)

なお、上記以外の案件の審議は小グループで行った。審議結果等を表2に示す。

今会合中4回開催され、32件の入力寄与文書を審議し、12件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、ENGに関するCPMLレポートのテキスト案の更新、近隣国間での固定業務と無線標定業務との共存検討に用いる保護基準に関する関連WPへのリエゾン文書、HAPSゲートウェイ局の仕様に関する新勧告暫定案F.[HAPS Char]、HAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案を目指す作業文書等の作成が行われた。その他WP5Cが責任または関連WPであるWRC-11議題に関する関係WPへのリエゾン文書等を作成した。

2.2.1 議題 1.5 (ENG用周波数帯)関連 (SWG 5C-2a)

入力文書: 5C/123(WP6A)、129+Annex 1、4(WP5C議長報告)、137(WP6B)、190(UAE)、207(WP6A)、208(WP6A)、212(WP6B)

出力文書: 5C/TEMP/105、106、107

UAEより入力された5C/190(Proposed guidance on the feasibility of harmonization of spectrum for ENG use)に基づいて審議を行い、Work Planを次回会合でまとめることで意見が一致した。これに沿って次の通り出力文書が作成された。

- (1) 5C/TEMP/105: WP5Cにおける研究状況を報告すると共にTuning Rangesの最終入力期限は2009年11月である旨を連絡するWP6A等へのリエゾン文書
- (2) 5C/TEMP/106: 周波数共用研究に関する作業文書(5C/129A1)のアップデート
- (3) 5C/TEMP/107: CPMテキスト案の改訂文書(5C/129A4)のアップデート

2.2.2 議題1.14(30-300 MHzにおける FSとRadiolocationの共存性)関連 (SWG 5C-2b)

入力文書: 5C/131(WP5B)、132(WP5B)、134(WP5B)、141(WP5A)、169(ロシア)、185(カナダ)

出力文書: 5C/TEMP/132

本議題における固定業務と無線標定業務の共存性の検討に用いるべき固定業務のパラメータについてロシア及びカナダから入力があった。これに基づいて固定業務の保護基準として次の項目が合意され、これをWP5Bに連絡するリエゾン文書を作成した。

- a. 固定業務への干渉の影響を決定する基準として、 $I/N=-6\text{dB}$ が使用されるべきである。(勧告F.758 Annex 2, Section 4, Note 2 参照)
- b. 108-380MHz帯においては場所の50%と時間の10%に対する最大干渉電界は $12\text{dB}(\mu\text{V}/\text{m})$ 。これを超える干渉電界の場合は国際調整が必要である。

2.2.3 議題 1.20 (HAPS)関連 (SWG 5C-2c)

入力文書: 5C/125(WP5A)、129 Annex 9,10,11 (WP5C議長報告)、150(WP7C)、168(ロシア)、172(米国)、173(米国)、174(米国)、175(米国)、177(米国)、188(韓国)、189(韓国)、191(WP4A)

出力文書: 5C/TEMP/119、120、121、133

WRC-11議題1.20(HAPS gateway link)に関して、米国から共用研究に必要なHAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案に向けた作業文書(5C/168、175、177)、HAPSゲートウェイ局の技術・運用上の特性に関する新勧告暫定案に向けた作業文書(5C/188)、及び勧告F.1764の改定暫定案又は5 850-7 075 GHzにおけるHAPSゲートウェイ局と既存固定システムとの干渉評価に関する新勧告暫定案の作成を提案する作業文書(5C/173)が入力された。これらに基づいて次の出力文書を作成した。

- (1) 5C/TEMP/119: HAPSゲートウェイ局の干渉モデルに関する新勧告暫定案 F.[HAPS modelling]に向けた作業文書
- (2) 5C/TEMP/120: HAPSゲートウェイリンクと既存固定システムとの干渉に関する新勧告案へ向けての作業文書
- (3) 5C/TEMP/121: HAPSゲートウェイ局の仕様に関する新勧告暫定案 F.[HAPS Char]
- (4) 5C/TEMP/133: WP4Aに対し、今回の会合での審議の状況を報告し共用研究を促すリエゾン文書。

2.2.4 その他の審議事項

WG5C-2で扱ったその他の審議事項と結果を表2に示す。

表2 WG5C-2のその他の審議の結果

項目	取り纏め コンタクト	入力文書	出力文書の内容と扱い
議題1.22 (SRDの影響)	-	5C/140(WP5A),	なし。(noted)
議題1.24(7GHz帯の気象衛星業務の)	J. Guyomard (仏)	5C/155(WP7B), 5C/156(WP7B)	5C/TEMP/134。WP7Bにおける 固定業務とNGSO METSATとの

分配拡張)			干渉研究においてpfdマスク(RR 21)が使用されていない点及びその他の疑問点をWP7Bに確認するリエゾン文書。
SA.1275-2	-	5C/154(SG 7)	なし。(noted)
5C/129A19[Cross Border]	A. Klyucharev (ロシア)	5C/170(Russia), 5C/197(Brazil)	5C/TEMP/103。ロシアから新レポート案[Cross Border]を提案する入力があったが、アラブ等の反対で引き続き作業文書のまま議長報告書に添付される。
議題 1.18(2GHz帯の無線測位衛星(宇宙→地球)の世界共通分配)	M. Christensen (カナダ)	5C/204(WP4C)	5C/TEMP/104。WP4Cから連絡あった干渉基準に合意できる旨をWP4Cに回答するリエゾン文書。
議題1.25(移動衛星業務への追加分配)	D. Weinreich (米)	5C/205(WP4C),	5C/TEMP/118。WP4Cにおける固定業務と移動衛星業務とも共用研究について要求される帯域、干渉基準等について疑問点等が抽出された。これらをWP4Cに連絡するリエゾン文書。

2.3 WG 5C-3

- (1) 議長: J. Guyomard(仏)
- (2) 主要メンバ: P. Najarian、E.. Millar(米国)、N. Ali、L.. Roberti(英国)、M. Christensen(カナダ)、J. Park(韓国)、R. Macchi(伊)、梶原、有本、森崎、辻、橋本、荒木(日本)、など約50名
- (3) 入力文書: 136(WP5B)、5C/148(WP7D)、151(WP7C)、152(WP5D)、153(SG7)、157(WP7B)、159(WP7B)、162(WP7B)、163R1(カナダ)、167(BR)、171(米国)、178(仏)、179(仏)、181(仏)、182(カナダ)、184(カナダ)、186(カナダ)、192(WP4A)、193(WP4A)、194(英国)、198(日本)、199(日本)、206(WP4A)
計23件
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/92、93、94、95、96、97、108R2、110、109R3、111、112、113、114、115、116 計15件

(5) 審議概要

WG5C-3は18GHz以上の課題について審議を行うWGであり、今会合中5回開催され、23件の入力寄与文書を審議し、15件の出力文書を作成した。初日に入力文書の内容を確認した後、以下の議題についてはSWGを設置した。

SWG 5C-3a(議題1.8関連) : (71-238GHz帯のFSの技術・規則的検討)

議長: Ali (英国)

SWG 5C-3b(議題1.12関連) :

議長: Guyomard(仏)

SWG 5C-3c(議題1.13関連) :

議長: Hsu(カナダ)

主な審議結果として議題1.8及び議題1.12のCPMLレポートの文書案の更新、レポートF.2107改定暫定案の作成、その他WP5Cが責任または関連WPであるWRC-11議題に関する関係WPへのリエゾン文書を作成した。

2.3.1 議題1.8(71-238GHz帯における固定業務と地球探査衛星業務(受動)間の周波数共用及び共存性)関連 (SWG 5C-3a)

入力文書: 5C/148(WP7D)、178(仏)、186(カナダ)、192(WP4A)

出力文書: 5C/TEMP/113、112、114、115

電波天文との共用(co-primary)となっている周波数帯の記述とCPM文書作業に向けて運用されているシステムのパラメータが必要とのWP7Dからのリエゾン文書(5C/148)が入力された。WP4Aからも同様な周波数帯の記述と地表面におけるPFDの限界(-115dB-W/m²/MHzを42GHzから周波数の2乗でスケーリング)について記述したリエゾン文書(5C/192)が入力された。フランスから71-76GHz帯及び81-86GHz帯の固定業務が同一または隣接帯域の電波天文及びEESS(passive)と共用するための条件(86GHz以上でUnwanted emission level, -50dBW/100MHz or -41dBW~-55dBW/100MHz)に関する文書(5C/178)が入力された。カナダからは、71GHz-238GHz帯の固定業務に関するWP5Cの作業文書の加筆及び改訂(5C/186)が提案された。この中には、EIRPの最大値(+55dBWあるいは+85dBm)、普及までのシナリオ、アンテナパターン(30~60cmの口径を想定)などの技術パラメータの情報が含まれている。

これらの入力文書を審議した結果、議長報告に含まれている術的検討に関する作業文書(5C/129 Annex 6)を改訂(5C/TEMP/113)した。また、検討のフレームワークに関するスケジュール案(5C/129 Annex 5)も改訂(5C/TEMP/115)した。これらの作業文書を周知するためのWP7Dへのリエゾン文書(5C/TEMP/112)、WP4Aに対してPFD値の算出根拠を確認するためのリエゾン文書(5C/TEMP/114)を作成した。

2.3.2 議題1.11(23GHz帯における宇宙研究業務(地球から宇宙)への一次分配)関連

入力文書: 5C/157(WP7B)、159(WP7B)

出力文書: 5C/TEMP/111

議題1.11(23GHz帯における宇宙研究業務(地球から宇宙)への一次分配)に関して、23GHz帯のNon-GSO間の衛星間リンクに対するSRS用地上局からの放射に関する共用検討(5C/157、5Cはコピー)、及び22.55-23.15GHz帯における宇宙研究業務と衛星間、固定、移動業務との共用(5C/159)に関する2つのリエゾンがWP7Bから入力された。後者については、WP7Bで作業文書を9月に完成させる予定が含まれている。これに対して、地上固定局から宇宙への放射についてSRS衛星の保護やSRS地上局の数や位置の情報、SRS送信地球局とFS受信機との離隔距離に関するWP7Bへのリエゾン文書(5C/TEMP/111)を作成した。

2.3.3 議題1.12(37-38GHz帯における航空移動業務から他業務への干渉保護)関連(SWG 5C-3b)

入力文書: 5C/136(WP5B)、162(WP7B)、179、181(仏)、182(カナダ)

出力文書: 5C/TEMP/94、96、97

37-38GHz帯の航空移動業務との共用に関して、WP5Bからのリエゾン文書(5C/136)と、WP7Bから2009年2月の会合でDraft CPM文書を改訂した旨のリエゾン文書(5C/162)が入力された。フランスからは、WP7BのDraft CPM文書に対する修正案(5C/179)、固定業務に対する干渉保護に関する新レポート作業文書修正案(5C/181)が入力された。WP5Bからのリエゾンに対して、カナダから短時間の干渉保護基準に関する検討についての寄与文書(5C/182)が入力された。フランス及びカナダからの提案に基づき、新レポート作業文書を修正(5C/TEMP/94)し、WP7BのDraft CPM文書修正案(5C/179)については、修正内容をページ毎に審議して語句の修正を行った作業文書(5C/TEMP/96)を作成した。また、WP5Bに対して、新レポート作業文書を修正した旨のリエゾン文書(5C/TEMP/97)を作成した。

2.3.4 31GHz帯FSと他業務との共用基準と方式パラメータ

入力文書: 5C/151(WP7C)、194(英国)

出力文書: 5C/TEMP/92

31.5-31.8GHz帯の衛星搭載受動センサの特性表を含むWP7Cからのリエゾン文書(5C/151)では、共用検討のために、勧告ITU-R F.758-4において、該当する周波数帯のデータが無い場合隣接する31.8-33.4GHz帯のデータを用い、またFS局の配置のデータについては3916局を2,000,000km²の面積にランダムに配置する検討に対して、WP5Cからのコメントを求めている。英国から、これに対する寄与文書(5C/194)が入力された。この中で、WP7Cの

シミュレーション検討のパラメータについて確認を求めており、またFS局の分布についても、隣接する周波数帯のデータを流用しているため、(都市部に集中している)実際の配置とは異なるとコメントしている。さらにこの文書には、P-P地上FS局の特性例を示す表も含まれている。この英国提案に基づき、WP7Cに対するリエゾン文書(5C/TEMP/92)を作成した。

2.3.5 勧告F.1336(共用検討のためのP-MP方式用アンテナ放射パターン)の改定

入力文書: 5C/152(WP5D)、199(日本)

出力文書: 5C/TEMP/108R2、110

日本からのセクターアンテナパターンの計算手法に関する反方位(主軸反対方向)における誤差及び電氣的チルトについての考察に関する提案(5C/199)に対して、既存手法(前回会合出力 Annex 15 to 5C/129)は反方位の誤差が大きいとの認識の基、この状況を改善するためアンテナパターンの実測データの寄書を求める記述と日本の電氣的チルト考察提案を取込んだ作業文書(5C/TEMP/110)を作成した。

WP5Dから、IMTシステム基地局の技術検討のためにセクターアンテナパターンの計算に勧告F.1336の手法を用いることに関して、F.1336の適用周波数帯(1-70 GHz)を790-862MHz帯に拡張することの可否についてのリエゾン文書(5C/152)が入力された。これに対して、測定データは無いものの、1-3GHz帯と同様な設計に基づくセクターアンテナでは800MHz帯でも同等な軸外放射パターンが得られると考えられるとのリエゾン文書を作成し、さらにこの帯域はJTG5-6(WRC-11議題1.17)で議論が進められていることを追記したリエゾン文書(5C/TEMP/108R2)を作成した。

2.3.6 勧告F.1245(1-70GHzの見通し内P-P無線中継のアンテナパターン)の改訂

入力文書: 5C/184(カナダ)

出力文書: 5C/TEMP/93

勧告 F.1245 は 1-70GHz の干渉計算のために見通し内 P-P 無線中継のアンテナパターンの計算手法に関するものであるが、カナダから、円偏波のアンテナから直線偏波を使用している固定業務に対する干渉計算において、現状では同一偏波(円から円、あるいは直線から直線)間干渉と比較して3.0dBの異偏波改善効果を仮定しているが、この値を1.7dBにすべきとの修正案(前会期 JTG6-8-9における検討結果を引用)が提案された(5C/184)。これに対して議論した結果、更に検討することになった。また、この提案の出力文書を勧告改訂暫定案(PDRR)にするか作業文書のままにするかについて検討した結果、作業文書(5C/TEMP/93)を作成した。この検討の中で、Scopeが無いとの指摘があり、次回に処置することになった。

2.3.7 議題1.13(21.4–22GHzにおける放送衛星業務と関連するフィーダリンクの周波数利用)関連(SWG 5C–3c)

入力文書: 5C/163R1(カナダ)、167(BR)、171(USA)、206(WP4A)

出力文書: 5C/TEMP/109R3

21.4–22GHz 帯において、第 1 及び第 3 地域の放送衛星業務から第 2 地域の固定業務の受信機への干渉の可能性を扱う議題である。カナダからバンクーバーを例に第 3 地域の BSS が FS に与える影響をシミュレーションした結果(5C/163R1)が報告された。これにより、BSS 側に何らかの対策(PFD 制限等)を加えないと FS に重大な影響があることが指摘された。米国からは、21.4–22GHz 帯の利用状況と今後の共用検討の考え方についての文書(5C/171)が入力された。WP4A からは、CPM 文書に向けた作業文書についてコメント依頼のリエゾン文書(5C/206)が入力された。この中に、第 2 地域の FS の保護を重視する考え方には、まだ合意が無いとの記述がある。また、HD 衛星放送と他業務との共用検討に関する Question(283/4)についての情報文書(5C/167)が入力された。米国およびカナダの提案内容に基づいて WP4A へのリエゾン文書が検討され、米国、カナダ、英国やその他から多数の意見があり、何回かの修正を加えた後、複数意見((1)BSS に Region 2 の FS のみを対象とした PFD 制限、干渉軽減策、または調整閾値を採用する。(2)そのような規制は BSS の導入を阻害する)を併記したリエゾン文書(5C/TEMP/109R3)を作成した。

2.3.8 議題1.6(275–3000GHzの周波数利用及び空間光通信に関する検討)関連

入力文書: 5C/198(日本)

出力文書: 5C/TEMP/95

日本から、レポート ITU-R F.2106 本文にファイバとの直接結合を行う空間光通信の新しい方式に関する記述を追加するとともに、その実現例について説明した Annex を追加する修正案(5C/198)を提案した。これに対して、大きな議論も無く、日本提案を取込んだレポート改訂暫定案の修正(5C/TEMP/95)を行い、継続検討とした。

2.3.9 17GHz以上の周波数帯の固定衛星業務(宇宙から地上へ)と固定業務の共用について

入力文書: 5C/193(WP4A)

出力文書: 5C/TEMP/116

17GHz 以上の宇宙から地上の FS 受信機に対する干渉についての統計的な計算手法に関して、WP5C からのリエゾンに対する WP4A からのリエゾン文書(5C/193)が入力された。大気吸収損失、ビーム広がり損失、季節変化、評価する領域(面積)などの多くの項目について WP4A の見解が示されている。この文書について、フィンランド、英国、カナダや他のメンバーで個別に対応を検討し、I/N 閾値に関する統計的な扱いや、Non-GSO の場合には時間と共

に条件が変化することを考慮する必要があること、さらに一般に FS の稼働率目標が 99.999%と高いため、年間の最悪値が問題になることの 3 つのコメントを含む WP4A へのリエゾン文書(5C/TEMP/116)を作成した。

2.3.10 勧告ITU-R SA1276-2関連

入力文書: 5C/153(BR)

SG7 から、25.25–27.5GHz 帯の固定業務の放射から保護すべきデータ中継衛星の軌道位置に関する勧告 ITU-R SA.1276-2 についての情報文書が入力されが、特に対応しなかった(本勧告改訂に対応する WP5C action については 2.5.1 参照)。

2.4 Ad Hoc Plenary

(1)議長: C. Hsu (カナダ)

(2)主要メンバー: P. Rajarain (米国)、M. Christensen (カナダ)、梶原、橋本、森崎、辻、有本など約30名

(3)入力文書: 5C/122(WP5B)、5C/139(WP5A)、5C/145(ITU-TSG13)、5C/160(WP1B)、5C/164(ITU-T)、5C/165(Chairmen, WP5A and 5C)、5C/166(WP4B)、5C/176(米国)、5C/187(カナダ) 計9件

(4)出力文書: 5C/TEMP/89R1、98 計2件

(5)審議概要

Ad Hoc Plenaryは、WP5Cへの入力文書でどのWGにも割当てていない全般的な寄与文書を審議するAd Hocである。また、software-defined radio (SDR)/cognitive radio systems (CRS) (Agenda Item 1.19)についても扱っている。本Ad Hocは今会合中1回開催され、9件の入力文書を審議し、2件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、SDR/CRSに関してWP 5Aに対してリエゾン文書(5C/TEMP/89)を作成した。

2.4.1 SDR/CRS (Agenda Item 1.19)関連

入力文書: 5C/122 (WP5B)、139 (WP5A)、160 (WP1B)、176 (米国)、187(カナダ)

出力文書: 5C/TEMP/89R1

WP1Bが検討しているSDR/CRSに関して、SG5内ではWP5Aが取り纏めを担当している。そこで、WP1BからのSDR/CRSについてのリエゾン(WP5Cに対しては情報のみ)(5C/160)に対するWP5Aの回答において、WP5Cとしての検討内容を含めるように要請するリエゾン文書(5C/TEMP/89R1)を作成した。その内容は、米国からの入力文書(5C/176)とカナ

タからの入力文書(5C/187)をまとめ、以下の内容を含んでいる。

- ・ WP1Bの見解に示される観点において、SDR/CRSは固定方式でも有益である。
- ・ ある固定方式はソフトでその運用パラメータを替えることができるものがあり、既存の規定範囲内で開発もされている。
- ・ WP5Aの本件における作業に役立つように、適応方式と適応周波数選択に関するWRC決議、勧告、ハンドブックについての情報を提示する。

この他、WP5BからWP5Aへのリエゾン (5C/122)及びのWP5AからWP1Bへのリエゾン (5C/139)については、情報提供なので特に対応なし。

2.4.2 WP 5Cタイトルの変更

入力文書: 5C/165(Chairmen, WP5A and 5C)

出力文書: 5C/TEMP/98

SG5の決定に基づき、WP5Cは短波周波数帯(HF)における固定及び陸上移動方式について担当することが明らかになっている。RRの2.1項によると、HF方式とは3から30MHzの範囲と規定されており、3 MHz以下のMF、LF、VLF帯の陸上移動方式については担当が明確でない。しかし、WP 5A議長とWP 5C議長により、WP 5Cが30MHz以下の全陸上移動方式を担当することが了解されている (5C/165)。これは、昨年11月のSG5会合でWP5Cが勧告ITU-R M.1795 “Technical and operational characteristics of land mobile MF/HF systems”を担当することを決定していることに基づいている。そこで、このことを明確にするためにWP 5Cのタイトルを以下のように変更することを提案した。

現タイトル: Fixed wireless systems; HF systems in the fixed and land mobile services

変更タイトル: Fixed wireless systems; HF and systems below 30 MHz in the fixed and land mobile services

このタイトル変更をNoteとしてSG 5に送付した。

2.4.2 その他の審議事項

入力文書: 5C/145(ITU-T SG13)、164(Chairman ITU-T FG ICTs & CC)、166(WP4B)

出力文書:

ITU-T SG13からのFuture Networksに関する新Focus Groupについてのリエゾン (5C/145)、ITU-TからのITU-T Focus Group (ICTs and Climate Change)についてのリエゾン(5C/164)及びWP4Bからの“Integrated MSS System”と“Hybrid Satellite/Terrestrial System.”の定義についてのリエゾン(5C/166)に関しては、情報提供なので特に対応なし。

2.5 Ad Hoc Recommendations

- (1) 議長: 荒木(日)
- (2) 主要メンバー: P. Rajarain(米国)、M. Christensen(カナダ)、J. Guyomard(仏)、N. Ali、L. Roberti(英国)、R. Macchi(伊)、梶原、橋本、森崎、辻、有本など約50名
- (3) 入力文書: 5C/130(WP5A)、146R1(SG5)、147(SG5)、153(SG7)、180(仏、日)、195(日)、196(日)、200(日)、201(日)、202(CG758)、203(CG758)、211(WP4C)
計12件
- (4) 出力文書: 5C/TEMP/99、100、101、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131
計13件
- (5) 審議概要

Ad Hoc Rec.は、SG5議長要請(Doc.5C/146R1)に基づく既存勧告の見直しと提案された修正案(F.758、F.1249、F.1509等を含む)、旧WP9Dによる古い勧告の見直し、Broadband Wireless Access関連リエゾン等の寄与文書を審議するAd Hocである。本Ad Hocは、配下に以下に示す1つのDrafting Group (DG)を配置した。

DG 758: 勧告F.758-4の改訂作業 議長:荒木(日)

今会合中5回開催され、12件の入力寄与文書(5件の日本提案を含む)を審議し、13件の出力文書を作成した。

主な審議結果として、勧告F.1249-1と勧告F.1509の改訂案の作成、5/114に含まれるスコープの追加のみの4つのFシリーズ勧告の編集上の(Editorial)見直し案、5/114に含まれるスコープの追加と本文を修正した4つのFシリーズ勧告の編集上の(Editorial)見直し案、3つのFシリーズ勧告の削除案等を作成した。

2.5.1 勧告F.1249-1及びF.1509の改訂

入力文書: 5C/147(SG5)、153(BR SGD)、180(仏、日)

出力文書: 5C/TEMP/99、100、101

日本・フランス共同提案の寄書(5C/180)を基に議論した。これら2つの勧告の改訂は、本来WP7Bからの要請に基づき26GHz帯(25.25-27.5GHz)FS方式のEIRP密度を24dBW/MHz以下とすべき静止衛星軌道位置を3点追加するもので、5/114に含まれるスコープの追加、RR Article 21に既に規定済みの項目(送信EIRP及び送信アンテナ入力電力最大値)の削除、considering等における古い記述の修正も行った提案であった。しかし、さらに議場及び議場外でconsideringのほか、recognizing、recommends等に関しても注意深く見直しが行われ、最終的にF.1249-1の勧告改訂案(5C/TEMP/100)及びF.1509の勧告改訂案(5C/TEMP/101)を作成し、承認後両者ともSG5へ送付された。

また、SG7側からの要請に応じてこれら2つの勧告改訂案を作成したことを伝えるWP7Bへのリエゾン文書(5C/TEMP/99)を作成した。

2.5.2 文書5/114に含まれるFシリーズ及びSFシリーズ勧告の見直し

入力文書： 5C/146R1(SG5)、195(日)、196(日)、201(日)

出力文書： 5C/TEMP/124、125、126、130、131

(1) Fシリーズ勧告

Fシリーズの見直しに関しては、日本からの2つの寄書、すなわちWP5Cが所管している勧告に関する寄書(5C/195)とWP5A所管あるいはWP5C/WP5A共同所管している勧告に関する寄書(5C/201)を基に議論した。WP5C及びWP5Aが共同所管している勧告については5月19日に開催されたWP5C-WP5A Joint Ad Hoc会議でその分担(5C/TEMP/102)が決まり、これにしたがって5C/201についてはWP5Cが分担することになった勧告(F.1567を除く共同所管勧告)のみに対して見直しを議論した。これら見直しにあたっては2.5.1と同様に注意深く見直しが行われ、5/114に含まれるスコープ追加のほか、古い記述の修正、シリアの意見に基づきRR規定条項との関連においてconsideringとrecognizingの内容の見直し等が注意深く議論された。その結果、4つの勧告(F.748-4、F.749-2、F.1404-1、F.1671)にスコープのみを追加するEditorial updating案(5C/TEMP/124)と4つの勧告(F.635-6、F.1494、F.1498-1、F.1605)にスコープ追加と本文修正のEditorial updating案(5C/TEMP/125)とを作成し、承認後両者ともSG5へ送付された。残りの約30勧告に関する見直しについては、更なる議論が必要とのことから見直し暫定案(5C/TEMP/126)を作成し、議長報告に収録して継続審議することを合意した。

(2) SFシリーズ勧告

SFシリーズの見直しに関しては、日本からの寄書(5C/196)を基に議論した。その結果、見直し対象となった14の勧告については本文の修正箇所も多く、前述したように注意深い見直しをする観点から、議論を深めるため提案の全体を見直し暫定案とし、Attachmentにスコープ文書及びテキスト修正案を追加した見直し暫定案(5C/TEMP/131)を作成し、議長報告に収録して継続審議することを合意した。また、これらSFシリーズ勧告見直しについて共同責任グループであるWP4Aの意見を求めるためのリエゾン文書(5C/TEMP/130)を作成した。

2.5.3 旧WP 9Dにより作られたFシリーズ勧告の見直し

入力文書： 5C/200(日)

出力文書： 5C/TEMP/123、127、128、129

旧WP9Dにより作成された古いFシリーズ勧告の見直しに関しては、日本からの寄書(5C/200)を基に議論した。その結果、提案された3つの勧告(F.759、F.760-1、F.1405)の削除案(5C/TEMP/128)を作成し、承認後SG5へ送付した。また、前会合で提案された勧告F.1335についての見直しに関しては、Pシリーズ勧告に基づいて多くの数式や図を修正しており、電波伝搬の専門家の助けを借りて見直しを行う必要があることから、勧告F.1335の見直し暫定案(5C/TEMP/129)を作成して議長報告に収録して継続審議するとともに、電波伝搬の関連WPであるWP3MとWP3Jに意見を求めるためのリエゾン文書(5C/TEMP/123)を作成した。さ

らに、本課題の中間取り纏めを記載した議長報告のAnnex 16 (5C/129)に対する今会合での議論を反映した修正版(5C/TEMP/127)を作成し、勧告見直しの記録として議長報告に添付することを合意した。

2.5.4 勧告F.758(FSと他業務との共用基準と方式パラメータ)の改訂 (DG 758)

入力文書: 5C/202 (CG Report)、203 (Additional CG Report)

出力文書: 5C/TEMP/122

本改訂作業においては、CG報告書(5C/202)とイタリア等による議場での新たな提案を含めて議論した。主な合意された作業文書の内容は、以下のとおり。

- ・ 本勧告の重要な部分である方式パラメータを含んでいることが容易に分かるように、タイトルに方式パラメータの字句を追加。
- ・ 近年新たな干渉源として注目されているレーダ干渉のようなパルス的な干渉に関してAnnex 1内の§ 4に記述を追加。
- ・ Annex 1の§ 5にあるAutomatic Transmit Power Control についての記述を分かり易くするために修正。
- ・ CG活動中に提案されたAnnex 2 § 2.2(統計的な局分布に関する検討)でFig. 1を削除。
- ・ Annex 2の新テーブルにおいてpoint-to-multipointに関する同一方式の基地局と遠隔局の方式パラメータを同一テーブル内に表すようにフォーマットを変更。

これらの内容を反映した作業文書(5C/TEMP/122)を作成し、WP5C議長報告に収録して継続審議することを合意した。

また、前会合後に本作業文書に対する作業を促進するために設立されたCorrespondence Group (CG)(Coordinator: 荒木)の継続について検討され、以下の作業が提案された。

- 1) Annex 2の表における方式パラメータが記述されていない周波数帯欄についての扱い
 - ・ ITU-R勧告により定められた周波数チャンネル配置がある周波数帯でまだ方式パラメータが記述されていない欄を当座は維持するようにする。
 - ・ このような方式パラメータが未だない周波数帯の方式パラメータについて、主管庁がCGの活動や次回会合に提案するように要請する。
 - ・ 表に方式パラメータが依然ない場合は、Annex 2の表は空のまま、新しいAnnex 3の表を参照するリファレンスを付けるようにする。この新しいAnnex 3の表は、既存のITU R-F.758-4に含まれる対応周波数帯の方式パラメータを含むようにする。
- 2) Annex 2の表の“EIRP density range”における情報の追加
 - ・ 英国が表内の“EIRP density range”に記述しているように、実際の使用データで最も頻度の高い値についても提案するように主管庁に要請したい。

以上を踏まえて、CGの継続を提案して承認された。

2.5.5 その他の審議事項

入力文書： 5C/130(WP5A)、211(WP4C)

出力文書：

WP5Aからの3 400-4 200 MHz帯における固定衛星業務との共用研究に用いられるBWA特性に関するリエゾン(5C/130)及びWP4Cからの6つのMシリーズ勧告改訂案に関するリエゾン(5C/211)については、特にアクションをとる必要がないことから対応なし。

2.6 その他WP5C全体会で審議した事項

SG5議長からのJTG5-6の活動により行われている共用研究結果の勧告/報告化に関する文書(5C/138)、CPM-11議長からのWRC-11に向けたCPM報告案の準備に関する情報(5C/143)、SG5議長からの本年3月の開催されたCVC及びRAGの会合報告(5C/144)、及びCoordination Committee for Vocabulary議長からの用語の正しさや訳語の一貫性を確保するためのCVCとの協力に関するリエゾン(5C/161)については、特にアクションをとる必要がないことから対応なし。

3 今後の予定

次回WP5C関連WG会合およびCGで審議予定の主な課題は以下である。

【WG5C-1】

- ・ WP1Aへの電力線通信に対する無線通信システムの保護基準情報の提供。
- ・ 短波海洋レーダの共用検討(WRC-11議題1.15)。
- ・ 20kHz以下の周波数帯の共用検討(WRC-11議題1.16)。

【WG5C-2】

- ・ ENGの周波数調和。(議題1.5)。
- ・ 30-300 MHzにおける FSとRadiolocationの共存性の研究(議題1.14)。
- ・ HAPS gateway linkと他システムとの共用検討(WRC-11議題1.20)。
- ・ 新Report F.[CROSS-BORDER]の検討。
- ・ 2.5GHz帯での固定業務と無線標定システムとの共用検討(WRC-11議題1.18)。
- ・ 7GHz帯での固定業務と気象衛星との共用検討(WRC-11議題1.24)。
- ・ 移動衛星業務への追加配分に伴う固定業務との共用研究(議題1.25)。

【WG5C-3】

- ・ WRC-11議題1.6(275-3000GHzの周波数利用及び空間光通信に関する検討)。
- ・ WRC-11議題1.8(71-238GHz帯の固定業務の技術的・規則的な検討)。
- ・ WRC-11議題1.11(23GHz帯での固定業務と宇宙研究業務との共用検討)。
- ・ WRC-11議題1.12(37-38GHz帯での固定業務と航空移動業務との共用検討)。
- ・ WRC-11議題1.13(22GHz帯での固定業務とBSSとの共用検討)。
- ・ Report F.2106(空間光通信)改訂、日本以外の寄与は期待できないので、来年に報告改訂案を完成させるように修正案を提案する必要あり。
- ・ 勧告F.1336改定(反方位アンテナパターンの誤差の修正)。
- ・ 勧告F.1245関連(円偏波から直線偏波への干渉計算の際の偏波利得)。
- ・ 21GHz帯EESS受動センサと固定業務関連。

【Ad Hoc Plenary】

- ・ 特になし。

【Ad Hoc Recommendations】

- ・ 議論を深めるために残されたFシリーズ勧告の見直し。
- ・ 議論を深めるために残されたSFシリーズ勧告の見直し。
- ・ 勧告F.1335の見直し。
- ・ 勧告F.758改定、CGで検討。

4. 次回会合のスケジュールについて

次回のWP5C会合は、2009年11月23日-12月4日、ジュネーブ(スイス)にて開催予定(詳細は今後決定)。

表5 日本入力文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
5C/180	Preliminary draft revision to Recommendations ITU-R F.1249 and F.1509	F.1249-1 及び F.1509 の勧告改訂案として SG5 に送付。	5C/TEMP/99, 100, 101
5C/195	Review of the F-series Recommendations in Document 5/114 which are under the responsibility of Working Party 5C	4つの勧告についてスコープの追加と本文修正の Editorial updating 案として SG5 に送付。残りの勧告については 5C/201 の F シリーズとまとめて見直し暫定案として議長報告に収録	5C/TEMP/125, 126
5C/196	Review of the SF-series Recommendations contained in document 5/114	見直し暫定案として議長報告に収録	5C/TEMP/130, 131
5C/198	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 - Fixed service applications using free-space optical links	日本提案を全て取込んでレポート改訂暫定案として議長報告に収録。	5C/TEMP/95
5C/199	Consideration on the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	日本提案の電氣的フィルが追加された。また、既存のセクタアンテナの近似式は、反方位における誤差が大きく、これを修正するため、実測アンテナパターンデータの寄書を求める記述が追加された。暫定案として議長報告に収録	5C/TEMP/110
5C/200	Review of certain F-series Recommendations developed by the former Working Party 9D	3つの勧告について削除案として SG5 に送付。勧告 F.1335 については見直し暫定案として議長報告に収録。さらに本寄書 Attachment 1 の修正版を、記録として議長報告に収録。	5C/TEMP/123, 128, 129, 127
5C/201	Review of the F-series Recommendations in Document 5/114, which are under the responsibility of Working Party 5A or the joint responsibility of Working Parties 5A and 5C	4つの勧告についてスコープのみを追加する Editorial updating 案として SG5 に送付。残りの勧告については 5C/195 の F シリーズとまとめて見直し暫定案として議長報告に収録	5C/TEMP/124, 126

表6 WP5C入力文書一覧表

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/122	WP5B	Liaison statement to ITU-R Working Party 5A (and copy to WP 5C for information) on the study of Software-Defined Radio and Cognitive Radio Systems and their potential impact to the maritime mobile service including Global Maritime Distress and Safety System (GMDSS); Aeronautical mobile service and radiodetermination service	Ad hoc Plen	-
5C/123	WP6A	Liaison statement to Working Party 5C - Progress on WRC-11 Agenda item 1.5 - Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	5C/TEMP/105
5C/124	WP6A	Liaison statement to Working Party 5B - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications (WRC-11 Agenda item 1.15)	5C-1	-
5C/125	WP5A	Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz (WRC-11 Agenda item 1.20)	5C-2	5C/TEMP/119
5C/126	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A - Work plan for studies related to WRC-11 agenda item 1.23	5C-1	-
5C/127R1	WP5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 6A - Working document towards draft CPM text for WRC-11 Agenda item 1.23	5C-1	-
5C/128	BR	Final List of Participants (Geneva, 27 October - 5 November 2008)	-	-
5C/129	WP5C 議長	Report on the meeting of Working Party 5C	-	-
5C/130	WP5A	Liaison statement to Working Party 4A (copy for information to WP 5C) - BWA characteristics for use in compatibility studies with fixed-satellite service systems in the 3 400-4 200 MHz band	Ad hoc Rec	-
5C/131	WP5B	Liaison statement to Working Party 6A (copy to Working Parties 5A and 5C) - On a primary allocation to the radiolocation service in the portion of the band 30-300 MHz	5C-2	5C/TEMP/132

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/132	WP5B	Liaison statement to ITU-R Working Parties 5A and 5C (copy to Working Parties 6A and 7B) – Initial considerations on compatibility between proposed new systems in the radiolocation service in bands 138–144 MHz and 154–156 MHz and other services operating in these bands	5C-2	5C/TEMP/132
5C/133	WP5B	Liaison statement to Working Party 6A (copies to Working Party 5A, Working Party 5C, Working Party 7B and Working Party 7D for information) – Consider possible allocations in the frequency range 3–50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5C-1	–
5C/134	WP5B	Liaison statement to Working Party 7B (copy to Working Parties 5A, 5C and 6A) – Compatibility studies between radiolocation and space research service	5C-2	5C/TEMP/132
5C/135	WP5B	Reply liaison statement to Working Party 5A, copies to Working Parties 5C, 6A on studies related to WRC-11 Agenda item 1.23	5C-1	–
5C/136	WP5B	Liaison statement to Working Parties 7B, 4A and 5C – Information regarding aeronautical mobile applications used or planned in the band 37–38 GHz, including technical characteristics and protection criteria	5C-3	5C/TEMP/97
5C/137	WP6B	Liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 6A, 6C, 7B and 7D for information) – Progress on the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ENGUSER]	5C-2	5C/TEMP/105
5C/138	SG5 議長	Note from the Chairman of Joint Task Group 5-6 – Sharing studies under Resolution 749 (WRC-07) and Resolution 224 (Rev. WRC-07)	Plenary	–
5C/139	WP5A	Liaison statement to Working Party 1B – On the study of software-defined radio and cognitive radio systems (copy for information to WPs 5B and 5C)	Ad hoc Plen	–
5C/140	WP5A	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 5B, 5C and 5D) – Information on short-range devices related to WRC-11 Agenda item 1.22	5C-2	–
5C/141	WP5A	Liaison statement to Working Party 5B (copy to WP 5C for information) – Land mobile radio use of the 138–174 MHz band related to WRC-11 Agenda item 1.14	5C-2	5C/TEMP/132

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/142	WP5B	Liaison statement to Working Parties 5A, 7D and 6A (copy to Working Parties 5C and 7B for information) on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15	5C-1	-
5C/143	CPM-11議長	Further information for the preparation of the draft CPM Report to WRC-11	Plenary	-
5C/144	SG5議長	Results of the meetings of the CVC and the RAG	Plenary	-
5C/145	ITU-T SG13	Liaison statement – Establishment of Focus Group on Future Networks (FG-FN)	Ad hoc Plen	-
5C/146Rev1	SG5議長	Result of the Study Group 5 meeting in relation to Document 5/114 proposing the texts for scopes of certain Recommendations	Ad hoc Rec	5C/TEMP/124, 125, 130, 131
5C/147	SG5議長	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1249-1 – Maximum equivalent isotropically radiated power of transmitting stations in the fixed service operating in the frequency band 25.25–27.5 GHz shared with the inter-satellite service	Ad hoc Rec	5C/TEMP/100
5C/148	WP7D	Liaison statement to Working Parties 5C, 4A (copy to Working Parties 1A, 7B, 7C for information) – WRC-11 Agenda item 1.8 – Consideration of technical and regulatory issues relative to the fixed service in the bands between 71 GHz and 238 GHz	5C-3	5C/TEMP/112
5C/149	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 3L and 7A for information) – Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16 (Resolution 671 (WRC-07))	5C-1	-
5C/150	WP7C	Reply liaison statement to Working Party 5C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz	5C-2	-
5C/151	WP7C	Liaison statement to Working Party 5C – Information regarding studies under Question ITU-R 232-1/7	5C-3	5C/TEMP/92
5C/152	WP5D	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Copy to Working Party 5B for information – Use of Recommendation ITU-R F.1336-2 for the 790 862 MHz band	5C-3	5C/TEMP/108R 2
5C/153	BR SGD	ITU-R Study Group 7 Recommendation to be brought to the attention of Study Group 5	5C-3, Ad hoc Rec	5C/TEMP/100, 101
5C/154	BR SGD	ITU-R Study Group 7 Recommendation to be brought to the attention of Study Group 5	5C-2	-

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/155	WP7B	Liaison statement (copy to Working Parties 5A and 5B for information) – Draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.24	5C-2	-
5C/156	WP7B	Liaison statement to Working Party 5C – Sharing analysis between non-GSO meteorological satellite systems operating in the space-to-Earth direction and fixed service systems in the band 7 850-7 900 MHz	5C-2	5C/TEMP/134
5C/157	WP7B	Liaison statement (copy to Working Parties 3M, 5A and 5C for information) – Study of in-band sharing and adjacent band protection of HIBLEO-2 type non-GSO-to-non-GSO inter-satellite links from the emissions of SRS earth stations in the 23 GHz band	5C-3	-
5C/158	WP1A	Liaison statement – Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	5C-1	5C/TEMP/91
5C/159	WP7B	Liaison statement – Progress on WRC-11 Agenda item 1.11 – Sharing between the space research service (Earth-to-space) and the inter-satellite, fixed and mobile services in the band 22.55-23.15 GHz	5C-3	5C/TEMP/111
5C/160	WP1B	Liaison statement to ITU-R Study Group 3 and Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 6A, 7C, 7D (copy to WPs 5C, 5D, 6C and 7B for information) on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	Ad hoc Plen	5C/TEMP/89R1
5C/161	CCV議長	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties	Plenary	-
5C/162	WP7B	Liaison statement to Working Parties 4A and 5C (copy to Working Party 5A for information) – Draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.12	5C-3	5C/TEMP/97
5C/163Rev1	カナダ	Study on potential interference into fixed service receivers in Region 2 in the 21.4-22 GHz band from broadcasting-satellite service systems in Regions 1 and 3	5C-3	5C/TEMP/109R 3
5C/164	ITU-T FG ICTs & CC 議長	Information on activities and output documents of ITU-T Focus Group ICTs & CC	Ad hoc Plen	-
5C/165	WP5A, 5C 議長	Clarification of the responsibility for the work on land mobile systems below 3 MHz	Ad hoc Plen	5C/TEMP/98

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/166	WP4B	Liaison statement to Coordination Committee for Vocabulary (CCV), Working Parties 4A, 4A, 5A and 5C - Proposed definitions for "integrated MSS system" and "hybrid satellite/terrestrial system"	Ad hoc Plen	—
5C/167	BR SGD	ITU-R Study Group 4 Question to be brought to the attention of Study Groups 5 and 7	5C-3	-
5C/168	ロシア	Preliminary result of assess interference from HAPS gateway links into the FSS Plan allotments (Appendix 30B RR) in the frequency band 6725 - 7025 MHz (WRC-11 Agenda Item 1.20)	5C-2	5C/TEMP/119
5C/169	ロシア	Sharing of the Radiolocation Service with the FS in the frequency band 154-156 MHz	5C-2	5C/TEMP/132
5C/170	ロシア	Analysis of WARC-79, WRC-95 and WRC-97 decisions related to the coordination procedure of frequency assignments for a station of fixed and land mobile services	5C-2	5C/TEMP/103
5C/171	米国	Contribution to the considerations of WRC-11 Agenda item 1.13	5C-3	5C/TEMP/109R3,
5C/172	米国	Studies of the interference from proposed HAPS platform stations to Fixed Service point-to-point receivers in the 6 GHz band	5C-2	5C/TEMP/120
5C/173	米国	Proposed revisions to Document 5C/129 (Annex 11), and a preliminary draft new Recommendation for evaluation of interference from high altitude platform gateway links to fixed wireless systems in the range 5 850 to 7 025 MHz	5C-2	5C/TEMP/120
5C/174	米国	Interference modelling between HAPS gateway links and the fixed-satellite service in the 5 850-7 075 MHz band	5C-2	5C/TEMP/119
5C/175	米国	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS MODELLING] (WRC-11 Agenda item 1.20) - Earth station and geostationary orbit space station deployment in the 5 850-6 725 MHz band (WRC-11 Agenda item 1.20)	5C-2	5C/TEMP/119
5C/176	米国	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 5A (copy to ITU-R Working Party 5B for information) - On the study of Software-Defined Radio (SDR) and Cognitive Radio Systems (CRS)	Ad hoc Plen	5C/TEMP/89R1

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/177	米国	Working document towards text for the draft Conference Preparatory Meeting Report on WRC-11 Agenda item 1.20 - Potential interference from high altitude platform station (HAPS) feeder links into feeder downlinks in the Mobile-Satellite Service	5C-2	5C/TEMP/119
5C/178	フランス	WRC-11 Agenda item 1.8 - Compatibility between passive services and the fixed service in the bands 71-76 GHz and 81-86 GHz	5C-3	5C/TEMP/113
5C/179	フランス	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.12 - Agenda item 1.12 (Working Party 7B / Working Party 4A, Working Party 5B, Working Party 5C, (Working Party 5A))	5C-3	5C/TEMP/96
5C/180	フランス、 日本.	Preliminary draft revision to Recommendations ITU-R F.1249 and F.1509	Ad hoc Rec	5C/TEMP/99, 100, 101
5C/181	フランス	Working document towards a preliminary draft new Report - Sharing between the aeronautical mobile service and the fixed service in the band 37-38 GHz	5C-3	5C/TEMP/97
5C/182	カナダ	Protection criteria for sharing between the aeronautical mobile service and the fixed service in the band 37-38 GHz	5C-3	5C/TEMP/94
5C/183	カナダ	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 1A - Interference issues from power line telecommunication systems using electricity supply wiring	5C-1	5C/TEMP/91
5C/184	カナダ	Modification of Recommendation ITU-R F.1245-1	5C-3	5C/TEMP/93
5C/185	カナダ	Elements for a reply liaison to Working Party 5B - Fixed radio use of the 138-144 and 154-156 MHz bands related to WRC-11 Agenda item 1.14	5C-2	5C/TEMP/132
5C/186	カナダ	Working document on WRC-11 Agenda item 1.8 for further discussion within Working Party 5C - Fixed wireless services in the band 71 GHz to 238 GHz	5C-3	5C/TEMP/113
5C/187	カナダ	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 1B on the study of software defined and cognitive radio systems (Agenda 1.19)	Ad hoc Plen	5C/TEMP/89R1
5C/188	韓国	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS MODELLING] - Interference analysis modelling for sharing between HAPS gateway links and existing services in the range 5 850-7 075 MHz	5C-2	5C/TEMP/119

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/189	韓国	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS CHAR] – Technical and operational characteristics of gateway links in the fixed service using high altitude platform stations to be used in sharing studies in the band 5 850–7 075 MHz	5C-2	5C/TEMP/121
5C/190	UAE	Proposed guidance on the feasibility of harmonization of spectrum for ENG use	5C-2	5C/TEMP/105, 107
5C/191	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C – Gateway links for high altitude platform stations in the range from 5 850 to 7 075 MHz (WRC-11 Agenda item 1.20)	5C-2	5C/TEMP/119, 133
5C/192	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C – Consideration of technical and regulatory issues relative to the fixed service in the bands between 71 GHz and 238 GHz (WRC-11 Agenda item 1.8)	5C-3	5C/TEMP/114, 116
5C/193	WP4A	Liaison statement to Working Party 5C – Methodology for statistically calculating the interference received by the fixed service from space-to-Earth emissions for frequency bands above about 17 GHz	5C-3	5C/TEMP/116
5C/194	英国、	Information regarding studies under Question ITU-R 232-1/7	5C-3	5C/TEMP/92
5C/195	日本	Review of the F-series Recommendations in Document 5/114, which are under the responsibility of Working Party 5C	Ad hoc Rec	5C/TEMP/125
5C/196	日本	Review of the SF-series Recommendations contained in document 5/114	Ad hoc Rec	5C/TEMP/130, 131
5C/197	ブラジル	[Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[CROSS-BORDER]]	5C-2	5C/TEMP/103
5C/198	日本	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 – Fixed service applications using free-space optical links	5C-3	5C/TEMP/95
5C/199	日本	Consideration on the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-2 – Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	5C-3	5C/TEMP/110
5C/200	日本	Review of certain F-series Recommendations developed by the former Working Party 9D	Ad hoc Rec	5C/TEMP/123, 127, 128, 129

文書番号	提出元	題目	担当WG	出力文書
5C/201	日本	Review of the F-series Recommendations in Document 5/114, which are under the responsibility of Working Party 5A or the joint responsibility of Working Parties 5A and 5C	Ad hoc Rec	5C/TEMP/124
5C/202	CG Rec758 コーディネイタ	CG Report on the draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 - Draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 with the modifications made by the CG activity	Ad hoc Rec	5C/TEMP/122
5C/203	CG Rec758 コーディネイタ	Additional CG Report on the draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 - Draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 with all the modifications to the original text of the Recommendation	Ad hoc Rec	5C/TEMP/122
5C/204	WP4C	Liaison statement to Working Party 5C - WRC-11 Agenda item 1.18	5C-2	5C/TEMP/104
5C/205	WP4C	Liaison statement to Working Party 5C - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	5C-2	5C/TEMP/118
5C/206	WP4A	Liaison statement to Working Parties 5C and 6B for action and to Working Parties 3M, 4B, 5A, 6A and 7D for information on WRC-11 Agenda item 1.13	5C-3	5C/TEMP/109R 3
5C/207	WP6A	Liaison statement to Working Party 5C - Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	5C/TEMP/105
5C/208	WP6A	Liaison statement to Working Party 5C - Progress on WRC-11 Agenda item 1.5 - Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C-2	5C/TEMP/105
5C/209	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Parties 5B and 5C (copy to Working Parties 5A, 7B and 7D for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5C-1	-
5C/210	WP6A	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 5B on studies related to WRC-11 Agenda item 1.15 (copy to Working Parties 5A, 5C and 7B and 7D for information) - Consider possible allocations in the frequency range 3-50 MHz to the radiolocation service for oceanographic radar applications	5C-1	-

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
5C/211	WP4C	Liaison statement – Proposed revisions to Recommendations ITU-R M.1319-2, ITU-R M.1469-1, ITU-R M.1472, ITU-R M.1473, ITU-R M.1474 and ITU-R M.1471	Ad hoc Rec	-
5C/212	WP6B	Liaison statement to Working Party 5C (copy to WPs 4A, 4C, 5A, 6A, 6C, 7B and 7D for information) – Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ENGUSER] – User requirements for electronic news gathering	5C-2	5C/TEMP/105
5C/213	BR SGD	List of documents issued	-	-
5C/214	WP5B	Reply Liaison statement to ITU-R Working Party 5C – Aircraft stations deployment scenario for simulation refinements for the derivation of a PDF mask for the protection of the fixed service in the 37-38 GHz band	(次回審議)	
5C/215	WP5B	Liaison statement – Protection criteria and system parameters for fixed and mobile systems operating between 3 and 50 MHz	5C-1	5C/TEMP/117R 1

表7 WP5C出力文書一覧表

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 89Rev1	Ad hoc Plen	Draft liaison statement to ITU-R Working Party 5A (copy to ITU-R Working Parties 5B and 1B for information) on the study of Software-Defined Radio (SDR) and Cognitive Radio Systems (CRS)	5C/122, 139, 160, 176, 187	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 90	5C-1	Liaison statement to WP 7C (for information to WPs 3L, 5B and 7A) – Considerations relating to sharing and compatibility studies in support of WRC-11 Agenda item 1.16 (Resolution 671 [COM6/16] WRC-07))	5C/149	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 91	5C-1	Liaison statement to WP 1A – On the study of skywave interference issues from power line telecommunication systems using the electricity supply wiring	5C/158, 183	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 92	5C-3	Draft liaison statement to Working Party 7C – Information regarding studies under Question ITU-R 232-1/7	5C/151, 194	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 93	5C-3	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1245-1 – Mathematical model of average and related radiation patterns for line-of-sight point-to-point radio-relay system antennas for use in certain coordination studies and interference assessment in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	5C/184	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 94	5C-3	Working document towards a preliminary draft new Report [AMS-FS] – Sharing between the aeronautical mobile service and the fixed service in the band 37-38 GHz	5C/181, 182	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 95	5C-3	Preliminary draft revision of Report ITU-R F.2106 – Fixed service applications using free-space optical links	5C/198	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 96	5C-3	Working document towards draft CPM text on WRC-11 Agenda item 1.12 – Agenda item 1.12 (WP 7B / WP 4A, WP 5B, WP 5C, (WP 5A))	7B/121 Annex 15 5C/179	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 97	5C-3	Liaison statement to Working Parties 5B (and 7B for information) – Sharing between the aeronautical mobile and the fixed service in the band 37-38 GHz	5C/136, 162, 181	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 98	Ad hoc Plen	Note to Study Group 5 – Clarification of the responsibility for the work on land mobile systems below 30 MHz – Title of Working Party 5C	5C/165	WP5C プレナリで承認, ノートとして送付
5C/TEMP/ 99	Ad hoc Rec	Draft liaison statement to WP 7B – Revision to Recommendations ITU-R F.1249-1 and ITU-R F.1509	5C/153, 180	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 100	Ad hoc Rec	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1249-1 – Technical and operational requirements that facilitate sharing between point-to-point systems in the fixed service and the inter-satellite service in the band 25.25–27.5 GHz	5C/147, 153, 180	WP5C プレナリで承認, SG5へ送付
5C/TEMP/ 101	Ad hoc Rec	Draft revision to Recommendation ITU-R F.1509 – Technical and operational requirements that facilitate sharing between point-to-multipoint systems in the fixed service and the inter-satellite service in the band 25.25–27.5 GHz	5C/153, 180	WP5C プレナリで承認, SG5へ送付
5C/TEMP/ 102	Plenary	Agreed distribution of actions related to texts that are the joint responsibility of WP 5A and WP 5C	-	WP5C プレナリで承認
5C/TEMP/ 103	5C-2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.[CROSS-BORDER] – Guidance to administrations wishing to reach an agreement on compatibility within the fixed service and sharing between stations of fixed service with stations of other terrestrial services operating in the neighbouring countries in the frequency bands above 29.7 MHz	5C/129A19, 170, 197	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 104	5C-2	Draft liaison statement to Working Party 4C – WRC-11 Agenda item 1.18	5C/204	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 105	5C-2	Draft liaison statement to Working Parties 6A, 6B, 6C (copy to Working Parties 4A, 4C, 5A, 7B and 7D for information) – Harmonization of spectrum for use by terrestrial electronic news gathering systems	5C/123, 129A4, 137, 190, 207, 208, 212	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 106	5C-2	Update to Annex 1 to WP 5C Chairman's report – Working document – Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.5	5C/129A1	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 107	5C-2	Methods to satisfy the Agenda item (WRC-11 AI 1.5)	5C/129A4. 190	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 108Rev2	5C-3	Liaison statement to Working Parties 5D – Copy to Working Parties 5A and 5B for information – Use of Recommendation ITU-R F.1336-2 for the 790-862 MHz band	5C/152	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 109Rev3	5C-3	Draft liaison statement to Working Party 4A for action on WRC-11 Agenda item 1.13	5C/206	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 110	5C-3	Working document towards a PDR of Recommendation ITU-R F.1336-2 – Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	5C/199	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 111	5C-3	Liaison statement to Working Party 7B – WRC-11 Agenda item 1.11	5C/159	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 112	5C-3	Draft liaison statement to WP 7D (copy to WPs 1A, 4A, 7B and 7C for information) – WRC-11 Agenda item 1.8 – Consideration of technical and regulatory issues relative to the fixed service in the bands between 71 GHz and 238 GHz	5C/148	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 113	5C-3	Working document on WRC-11 Agenda item 1.8 for further discussion within Working Party 5C – Fixed wireless services in the 71 GHz to 238 GHz	5C/178, 186	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 114	5C-3	Liaison statement to WP 4A – Consideration of technical and regulatory issues relative to the fixed service in the bands between 71GHz and 238 GHz (WRC-11 Agenda item 1.8)	5C/192	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 115	5C-3	Working document – Framework for studies related to WRC-11 Agenda item 1.8	5C/129 Annex 5	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 116	5C-3	Liaison statement to Working Party 4A – Methodology for statistically calculating the interference received by the fixed service from space-to-Earth emissions for frequency bands above about 17 GHz	5C/192	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 117Rev1	5C-1	Draft liaison statement to Working Party 5B – Protection criteria and system parameters for fixed and mobile systems operating between 3 and 30 MHz	-	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 118	5C-2	Liaison statement to Working Party 4C – WRC-11 Agenda item 1.25	5C/205	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 119	5C-2	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS MODELLING] – Interference analysis modelling for sharing between HAPS gateway links and existing services in the range 5 850–7 075 MHz	5C/129A9, 125, 168, 175, 177, 188, 191	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 120	5C-2	Consideration of a preliminary draft new ITU-R Recommendation for interference between HAPS gateways and conventional FS systems	5C/129A11, 172, 173	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 121	5C-2	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS CHAR] – Technical and operational characteristics of gateway links in the fixed service using high altitude platform stations to be used in sharing studies in the band 5 850–7 075 MHz	5C/129A10, 189	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 122	Ad hoc Rec	Working document towards a preliminary draft revision to Recommendation ITU-R F.758-4	5C/202, 203	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 123	Ad hoc Rec	Draft liaison statement to Working Parties 3M and 3J - Preliminary draft updating of Recommendation ITU-R F.1335 - Technical and operational considerations in the phased transitional approach for bands shared between the mobile-satellite service and the fixed service at 2 GHz	5C/200	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 124	Ad hoc Rec	Editorial updating of certain F-series Recommendations (Addition of the Scope)	5C/146, 201	WP5C プレナリで承認, SG5へ送付
5C/TEMP/ 125	Ad hoc Rec	Editorial updating of certain F-Series Recommendations (Updating of the text and addition of the Scope)	5C/146, 195	WP5C プレナリで承認, SG5へ送付
5C/TEMP/ 126	Ad hoc Rec	Preliminary review of certain F-Series Recommendations for further consideration	5C/195, 201	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 127	Ad hoc Rec	Review of the F-series Recommendations developed by the former Working Party 9D	5C/200	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 128	Ad hoc Rec	Proposed suppression of 3 F-series Recommendations	5C/200	WP5C プレナリで承認, SG5へ送付
5C/TEMP/ 129	Ad hoc Rec	Preliminary draft updating of Recommendation ITU-R F.1335 - Technical and operational considerations in the phased transitional approach for bands shared between the mobile-satellite service and the fixed service at 2 GHz	5C/200	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 130	Ad hoc Rec	Draft liaison statement to Working Party 4A - Preliminary review of certain SF-series Recommendations	5C/146, 196	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付
5C/TEMP/ 131	Ad hoc Rec	Preliminary review of certain SF-series Recommendations (updating of the text, addition of the scope and proposed suppression)	5C/146, 196	WP5C プレナリで議長報告への収録を承認
5C/TEMP/ 132	5C-2	Liaison statement to WP 5B (copy to WP 5A for information)	5C/131, 132, 134, 141, 169, 185	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付。

文書番号	担当WG	題目	入力文書	処理
5C/TEMP/ 133	5C-2	Draft liaison statement to WP 4A on WRC-11 Agenda item 1.20	5C/191	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付。
5C/TEMP/ 134	5C-2	Liaison statement to WP 7B – Sharing analysis between non-GSO meteorological satellite systems operating in the space-to-Earth direction and fixed service systems in the band 7 850–7 900 MHz	5C/156	WP5C プレナリで承認, リエゾン送付。

(別紙)

ITU-R SG5 WP5C 第3回会合 日本代表団

梶原隆道	総務省
森崎 孝行	(独)情報通信研究機構
辻 宏之	(独)情報通信研究機構
有本 好徳	(独)情報通信研究機構
小川 博世	(社)電波産業会
橋本 明	(株)NTTドコモ
荒木 正治	ドコモ・テクノロジー(株)

ITU-R SG5 第3回会合報告書（案）

1 会議の概要

ITU-R SG5は移動業務、固定業務、無線測位及び標定業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5第3回会合は、2009年5月29日(金)にスイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には34カ国の主管庁、10の国際機関及び認められた私企業等から102名が参加した。日本からは表1に示す8名が出席した。

議長は橋本 明氏(日)であり、副議長はT.K.A. ALEGE氏(ナイジェリア)、A. CHANDRA氏(印)、J.M.COSTA氏(加、WP5A議長)、T. EWERS氏(独)、C. GLASS(米、WP5C議長)、A. JAMIESON氏(ニュージーランド)、A. KLYUCHAREV氏(露)、L. SOUSSI氏(チュニジア)、L. SUN氏(中)、K.-J. WEE氏(韓)である。

今回の会合においては30件の寄与文書について審議を行った(入力文書一覧は参考1を参照)。

勧告案については、表2に示すとおり、2件が採択、7件が郵便による採択・承認同時手続に、15件がエディトリアルな修正として承認された。また、表3に示すとおり、1件の新研究課題案が採択され、3件の新報告案と1件の改訂報告案が承認された(勧告文書の採択・承認手続きの手順については、参考資料2を参照)。

表1 SG5会合出席者一覧

氏名	所属
西室 洋介	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 システム開発係長
広瀬 毅	総務省 総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課 国際係長
橋本 明	(株)NTT ドコモ 無線標準化推進室 室長
森崎 孝行	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター
小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門標準化推進グループ
吉野 仁	ソフトバンクモバイル(株) 技術統括 研究本部 ワイヤレスシステム研究開発センター 担当部長
小山 敏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 道路交通システム部 担当部長
田北 順二	日本無線(株) 海上機器事業部 海上機器技術部 部長

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時手続 (PSAA)		通常の郵便による採択及び承認手続		決議 1-5 第 11 章に基づく編集上の修正が承認された勧告	勧告廃止承認手続 (PSAA 相当)	解決を求めるため RA-11 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新・改訂
WP5A	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0
WP5B	0	0	0	3	0	0	5	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	2	0	0	8	2	0	0	0	1
WP5D	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	0	7	0	0	15	3	0	0	0	0
	2		7		0				0		0	

表 3 SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差戻し	新	改訂	削除
WP5A	1	0	0	0	1	0	0
WP5B	0	0	0	0	1	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	0	0	0	0	1	1	0
合計	1	0	0	0	3	1	0
	1				4		

2 審議の内容

2. 1 WP5A (IMT を除く陸上移動通信)関連

(1) WP5A における審議概要

【入力文書:5/151(WP5A議長)】

WP5A 議長の Jose Costa 氏から SG5 会合の直前に開催された第 3 回 WP5A 会合の概要が Executive Report(Doc.5/151)に基づき報告された。本会合では 2 件の勧告改定案、1 件の勧告のエディトリアルな修正案、1 件の勧告削除案、1 件の新研究課題案、1 件の新報告案を SG5 に提出した。参加者数は 144 名であった。

イランからの意見により WG1 (Amateur) 議長の Paul Rinaldo の引退に際して SG5 会合議事録へも感謝の意を表する旨記載することとした。

(2) 勧告

WP5A から、以下の勧告改訂案 2 件、勧告のエディトリアルな修正案 2 件、勧告削除案 1 件の提案があった。

① M. 1677 の改訂

勧告 ITU-R M. 1677 (国際モールス符号) の改訂提案【入力文書:5/137】があり、特段の修正無く承認された。(PSAA)

② M. 1452 の改訂

勧告 ITU-R M. 1452 (ミリ波 ITS 通信) の改訂提案【入力文書:5/142】があった。WP5B 議長(John Mettrop:英国)から、本件に関してレーダ技術に関連する記述があるため次回改訂時には WP5B に照会するようとの意見があり、今後は WP5B とも情報交換することになった。特段の反対意見は無く、勧告改訂案は承認された。(PSAA)

③ 勧告のエディトリアルな修正案:

勧告 ITU-R F.1488(Frequency block arrangements for fixed wireless access systems in the range 3 400-3 800 MHz) の Scope 追加及び ITU-R F.1567 (Radio-frequency channel arrangement for digital fixed wireless systems operating in the frequency band 406.1-450 MHz) の Scope 追加並びにテキストのエディトリアルな修正が提案【入力文書:5/144(WP5A)】され、特段の意見無く承認された。(エディトリアルのため CL 等の必要なく SG5 にて承認)

④ 勧告削除案: ITU-R F. 1244(RLAN) に関して削除の提案【入力文書:5/151 (WP5A)】があり、特段の意見は無く採択された。BR により加盟国への承認のための CL に付される。

(3) 研究課題

WP5A から、以下の新研究課題案 1 件の提案があった。

① 新研究課題案: ITU-R [LMS.SAC]/5 - Mobile wireless access systems providing telecommunications for a large number of ubiquitous sensors and/or actuators scattered over wide areas in the land mobile service

「センサーネットワーク」の提案【入力文書:5/134 (WP5A)】があり、特段の議論は無く承認された。

(4) 報告

① 新報告案: ITU-R M. [LMS.VHF-ISOLATION] 「Study of the isolation between VHF land mobile radio antennas in close proximity」の提案 【入力文書:5/136(WP5A)】があり特段の議論は無く承認された。

2. 2 WP5B (GMDSS を含む海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

(1) WP5B における審議概要

【入力文書: 5/152 (WP5B議長)】

WP5B 議長の John Mettrop 氏(英)が入力文書 5/152 に基づき WP5B での審議概要、結果を報告した。今回の WP5B 会合には、40 カ国から 200 名以上が参加し、158 件の入力文書を 3

つのWGと1つのAd-hoc WGで審議したが、審議経過の情報共有のために今回BRが準備したSharepoint機能を活用することにより、電子的に効率的な文書管理ができたこと、WP5B議長よりBRに対し感謝の言葉があった。

イランより、入力文書5/152 Section 4のProgress on WRC-11 Agenda itemsの表による作業進捗の報告は、非常に分かりやすく、他の2つのWP5A, WP5Cも見習うべきとの発言があった。

(2) 勧告

WP5B議長より、次の3件の勧告改訂案と5件のMシリーズの勧告についてのエディトリアルな修正の説明があった。

① 勧告 M. 585-4 の勧告改訂

勧告 ITU-R M. 585-4 (MMSI についての割当と使用) についての勧告改訂提案【入力文書: 5/133】について WP5B 議長の説明の後、SG5 議長による改訂内容の確認があり、特にコメントもなく承認された。(PSAA)

② 勧告 M.493 の改訂案

勧告 ITU-R M.493-12 (MSS における DSC) の改訂案【入力文書:5/139】について WP5B 議長の説明の後、SG5 議長による改訂内容の確認があり、特にコメントもなく承認された。(PSAA)。

③ 勧告 M.1730 の改訂案

勧告 ITU-R M. 1730 (15.4-17.3 GHz におけるサービスの特徴と保護) の改訂案【入力文書:5/140】について WP5B 議長より説明の後、SG5 議長による改訂内容の確認があった。スウェーデンより、「タイトルの下限周波数が 15.7→15.4GHz と変更されているのに、リビジョンマークが漏れている」との指摘があり、これを修正の後に承認された。(PSAA)

④ M シリーズ勧告のエディトリアル修正

5B議長が【入力文章 5/150 (M シリーズ勧告のエディトリアル修正)】を紹介の後、SG5 議長が 5 つの各勧告 (M.1177-3, M.1179, M.1460-1, M.1461-1, M.1796) 毎に修正内容を確認し、承認された。(エディトリアルのため CL 等の必要なく SG5 にて承認)

(3) 報告

① 新報告案 : ITU-R M. [FMBC-AM(R)S] 【入力文書:5/141】

新勧告案 ITU-R M.[FMBC-AM(R)S]について WP5B 議長より概要説明があった。SG5 議長より「この内容は、関連する SG6 に報告すべきとの」注意をタイトルの脚注に入れるべきとのコメントがあり、タイトルに「本 Report は SG6 に関連する」旨脚注付加の後、内容の確認が行われ、特にコメントもなく承認された。

2. 3 WP5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

(1) WP5C における審議概要

はじめにSG5議長からWP5Cの議長Mr. Charles Glass (米国NTIA)が病欠のため今回 Mr. Paul Najarian (米国NTIA)が代行したことが報告された。

【入力文書:5/145(審議概要)】

WP5C 暫定議長から SG5 会合の直前に開催された第 3 回 WP5C 会合の概要が Executive Report(Doc.5/145)に基づき報告された。

【入力文書:5/138(WP5Cのタイトルの改訂)】

WP5C 暫定議長から WP5C のタイトルの変更の提案(5/138)の説明があった。「below 3MHz」とはどういう意味かというイランからの質問に、SG5 議長より「HF が 3M-30MHz であるためそれ以下で運用する方式も含める意味である」旨の補足説明があった。これに対してカナダより「Fixed wireless systems; HF and other systems below 3MHz in the fixed and land mobile services」にしてはどうかという意見があり、この意見を採用して了承された。

(2) 勧告

WP5C から、以下の勧告改訂案 2 件、エディトリアルな修正案 8 件、勧告削除案 3 件の提案があった。

① 勧告 F. 1249 の改訂

勧告 ITU-R F. 1249-1(26GHz 帯 P-P 固定業務と衛星間業務の共用促進のための技術上、運用上の要求条件) の改訂案【入力文書: 5/146】の説明が WP5C 暫定議長からあり、特段の修正なく承認された。(PSAA)

② 勧告 F.1509 の改訂

勧告 ITU-R F.1509(26GHz 帯 P-MP 固定業務と衛星間業務の共用促進のための技術上、運用上の要求条件)の改訂案【入力文書: 5/149】の説明が WP5C 暫定議長からあった。イランから「衛星軌道が追加(修正)されるたびに勧告の改定手続きが必要か検討する必要がある。衛星軌道情報を別の方法で表現することも考慮すべきである。」とのコメントがあった。SG5 議長から衛星軌道の追加がどの位頻繁に起きるかにもよるがいずれにしても SG7 と相談してゆきたいとの回答あった。本件は特段の修正なく承認された。(PSAA)

③ F シリーズ勧告の削除

勧告 ITU-R F. 760、F. 759 と F. 1405 の削除の提案【入力文書: 5/148】の説明が WP5C 暫定議長からあった。3 件の勧告の内、米国から F. 760 の削除に反対するとの発言あった(議題 1.13 に関連する勧告であり、削除は時期尚早であるとの理由)。この為、削除の対象から F. 760 を外し、F. 759 と F. 1405 の削除のみとし採択された。F. 759 と F. 1405 の削除については BR により加盟国への承認のための CL に付される。

なお、この米国意見に対してイランから「本勧告は議題 1.13 には直接の関連はないと削除理由が明確に述べられたおり、WP5C でも合意された。米国の削除反対はおかしい」との発言があった。このため、SG 会合としては維持を認めたわけではなく、次回までに「削除」について再度合意をとることを条件に WP5C に差し戻すこととした。

④ F シリーズ勧告のエディトリアル修正

ITU-R F シリーズの 8 つの勧告のエディトリアルな修正案【入力文書: 5/147】について WP5C 暫定議長から説明があり、特段の意見無く承認された。(エディトリアルのため CL 等の必要なく SG5 にて承認)

2. 4 WP5D(IMT)関連

(1) WP5D における審議概要

【入力文書:5/135(WP5D議長)】

WP5D 議長から 5 月に開催された第 3 回 WP5D 会合の概要が Executive Report(Doc.5/135)に基づき報告された。

その中で、コグニティブ無線システム(CRS)に関する WP5D の成果を本件責任グループの WP1B へ送付することに関して、WP1B が今秋(9 月予定)の会合で質問への回答内容を議論することから、SG5 内のリードグループである WP5A(9 月前には会合を持たない)を通して WP5D より WP1B へ回答をすることが困難であり、直接 WP5D から WP1B へリエゾンを送りたいと報告し、SG5 のガイダンスを求めた。これに対し、アラステ氏(イラン)は WP5A が CRS の focal point であることは既に SG5 内での合意事項でありこの原則は堅持する必要があるが、WP1B への回答期限に間に合わないため、解決策として、Advanced copy to WP1B として WP5A へのリエゾンの写しを先に WP1B へ送ることを提案し、了承された。

その他の報告内容については、特段の議論はなかった。

(2) 勧告

WP5D から、以下の勧告改訂案 2 件の提案があった。

① 勧告 M. 1581 の改訂

勧告 ITU-R M. 1581-2 「IMT-2000 の移動端末についての不要輻射」の改訂案【入力文書:5/130】について WP5D 議長より提案があった。

ACLR パラメータについての脚注 1 (p. 29) 「The ACLR parameters in this Annex are not intended to be a mandatory regulatory obligation, as it is up to the administrations what part of a recommendation they want to use in national regulations」について、SG5 議長より本記述は、通常の勧告では当然のことのため不要であり削除するとの方針が示された。WP5D 議長も了承し、本脚注を削除することで合意。同時に、「mandatory」との用語が勧告の他の箇所でも用いられているが、これらは本脚注のように「regulatory obligation」を意図したものではない。そこで、削除理由を明確にするために、SG5 会合サマリーレコードに「(他の箇所で一般的に用いられている) mandatory という用語は、技術的観点で記述された用語で、技術の実施上必須であるという意味である。」ということ記述することで合意した。以上を修正のうえ採択された。

② 勧告 M. 1580 の改訂

勧告 ITU-R M. 1580-2 「IMT-2000 の基地局についての不要輻射」の改訂案【入力文書:5/131】について WP5D 議長より提案があった。入力文書 5/130 と同様に、脚注を勧告改訂案から削除し、サマリーレコードに記述することで合意。以上の修正のうえ採択された。

(3) 報告

① レポート M. 2039 の改訂

レポート ITU-R M. 2039(地上系 IMT-2000 の周波数共用/干渉検討のための特性)の改訂案(5/128)が WP5D 議長から説明され、特段の議論なくそのまま承認された。

② 新レポート案[M. IMT-COEXIST]

新レポート案[M.IMT-COEXIST](CDMA-DS と OFDMA-TDD WMAN の 2.5GHz 帯での共存) (入力文書:5/129)が WP5D 議長から説明され、特段の議論なくそのまま承認された。

2. 5 SG5 のその他全体に関わる事項

(1)WRC-11 開催時期等

オープニングにて A. Klyucharev (ロシア:SG5 副議長) がラポータ(Summary Record 作成担当者)に指名された。

同じくオープニングにて BR Director より連絡があり概要は以下のとおり。

- ・ 2011 年は大きな会議が多い。WRC-11 を後ろにずらせば、他の会議との関係で予算が平均化できると思い現在 WRC-11 の時期を後ろにずらす(2012 年の開催になる)ことを検討している。
- ・ SG5の各会合は参加者が多く、会議室の調整が困難になってきている。
- ・ 今回から用いられるようになった Share point がうまく働いており、紙の削減などのコストの削減のみならず、利便性もあり有用である。

(2)他の SG からのリエゾン等

- ①【 5/143(Chairman,SG5) 】及び【 5/126(Chairman,SG5) 】、【 5/132(Chairman, CCV) 】、【125(Chairman, ITU-T FG ICT&CC)】の紹介があり、特段の議論はなかった。
- ②【5/127(ITU-T SG16)】ITU-T SG16 からのリエゾンに対し、マルチメディア関連の標準化の SG5 のコンタクト先として WP5A 議長(Jose Costa 氏(カナダ))を指名し SG16 に返信する提案があったが、WP5D 議長(Stephen Blust 氏(AT&T))より、WP5D 所掌の IMT もマルチメディア通信であることから、Costa 氏に加えて、WP5D議長もコンタクト先とすることで合意。アラステ氏(イラン)が支持を表明し両氏をコンタクト先に入れることで承認された。

(3)その他の議題

SG5 に割り当てられているクエスチョン等(【5/1(Rev.2)】及び【5/2(Rev.2)】)については、議長から今回の第3回 SG 会合の結果を反映した Rev.3 をいずれ発行するとの紹介があり、特段の議論なく終了した。

3 今後の予定

今後の関連する会議のスケジュールは以下の通り。

WP5D	2009 年 6 月 10 日～17 日
WP5D	2009 年 10 月 14 日～21 日
JTG5-6	2009 年 11 月 18 日～24 日
WP5A/5B/5C	2009 年 11 月 23 日～12 月 4 日
SG5	2009 年 12 月 7 日～8 日

参考資料 1 入力文書一覧

文書番号 (5/***)	提出者	タイトル
154	Director,BR	Final List of Participants – Study Group 5(Geneva, 29 May 2009)
153	BR Study Group Department	List of documents issued
152	Chairman,WP5B	Executive Report on the third meeting of Working Party 5B (Geneva, 19–28 May 2009)
151	Chairman,WP5A	Executive Report from Working Party 5A (Geneva, 18–27 May 2009)
150	WP5B	Note to Study Group 5 – Editorial update of 5 M-Series Recommendations
149Rev.1	WP5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1509
148	WP5C	Proposed suppression of 3 F-series Recommendations
147	WP5C	Editorial updating of certain F-series Recommendations
146	WP5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1249-1
145	Acting Chairman,WP5C	Executive Report from Working Party 5C
144	WP5A	Note to Study Group 5 – Editorial update of 2 F-series Recommendations
143	Chairman,SG 5	Construction of the web page for the analytical list of the Study Group 5 Recommendations
142Rev.1	WP5A	Draft revision to Recommendation ITU-R M.1452
141	WP5B	Draft new Report ITU-R M.[FMBC-AM(R)S]
140Rev.1	WP5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1730
139	WP5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.493-12
138	WP5C	Note to Study Group 5 – Clarification of the responsibility for the work on land mobile systems below 30 MHz – Title of Working Party 5C
137Rev.1	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1677
136	WP5A	Draft new Report ITU-R M.[LMS.VHF.ISOLATION]
135	WP5D	Executive report from Working Party 5D
134	WP5A	Draft new Question ITU-R[LMS.SAC]/5
133	WP5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.585-4
132	Chairman,CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties
131	WP5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1580-2
130	WP5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1581-2
129	WP5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT-COEXIST]
128	WP5D	Draft revision of Report ITU-R M.2039
127	ITU-T SG16	Liaison statement to all ITU-T, ITU-R and ITU-D SGs on request for multimedia contact person
126	Chairman,SG5	Results of the meetings of the CVC and the RAG
125	Chairman, ITU-T FG ICT & CC	Liaison statement – Questionnaire from ITU-T Focus Group on ICT and Climate Change

参考資料2 勧告文書の承認プロセス

